

GV-CMS シリーズ ユーザーズマニュアル V8.3.2



© 2009 GeoVision, Inc. 著作権所有。

著作権法により、本マニュアルの全部あるいは一部を、GeoVision 社の書面による承 諾を得ることなく複製することは禁止されています。

本マニュアルに記載の情報の正確さにつきましては万全を期していますが、GeoVision 社は、印刷ミスあるいは誤記に関して一切責任を負わないものとします。

GeoVision, Inc. 台湾台北市内湖区内湖路一段 246 号 9 階 電話: +886-2-8797-8377 FAX: +886-2-8797-8335 http://www.geovision.com.tw

当マニュアルにて使用されている商標:GeoVision、GeoVisionロゴおよびGVシリーズ 製品は、GeoVision, Inc.の登録商標であり、Windows および Windows XPは、マ イクロソフト社の登録商標です。

2009年11月

セントラルモニタリングステーション ユーザーマニュアル

CMS(セントラルモニタリングステーション)のユーザーマニュアルにようこそ。 このマニュアルでは、CMS インストールと管理用に以下のソリューションを用意し ています。

- GV-CenterV2
- GV-Dispatch Server
- GV-VSM(バイタルサインモニター)
- GV-Control Center

これらのソリューションの簡単な比較:

アプリケーション	機能
GV-CenterV2	ライブビデオとテキスト警告、
	最大 42の画面分割の表示、
	最大 500 の加入者と 800 のチャンネルを処理、
	リモート再生。
GV-Dispatch	加入者のモニタリング要求を他の GV-CenterV2 に
Server	分散することで、GV-CenterV2サーバーのネットワー
	ク負荷の問題を解決します。
	リモート再生。
GV-VSM(バイタル	ライブテキスト警告とビデオ再生、低い帯域幅ネット
サインモニター)	ワークに最適、ビデオのログストレージとハードディスク
	スペースを通知、最大 1,000の加入者を処理。
GV-Control	加入者のシステムとデスクトップにリモートでアクセス、
Center	最大 96の画面分割の表示 x 8 モニター、リモート再
	生、
	I/O 操作パネル。

内谷	内	容
----	---	---

第1章	GV-CenterV2	1
1.1	システム要件	2
1.2	GV-CenterV2 をインストールする	3
1.3	GV-CenterV2 のウィンドウ	4
1.4	加入者アカウントを作成する	8
	加入者を作成する	9
	加入者設定	11
	付加ファイルモード設定	13
	チャンネル名の色を変更する	15
1.5	GV-CenterV2 に接続する	16
	通常モードを設定する	18
	パニックボタンを設定する	27
	インプットステータスを検出する	
1.6	インスタント録画と再生	29
	ライブ表示を有効にする	29
	録画と再生	
	EZ プレーヤーで再生する	
1.7	加入者のモニタリングと管理	32
	I/Oステータスを表示する	32
	I/O デバイスを制御する	
	カメラ/音声 コントロール ウィンドウ	34
	簡易音声・マイクパネル	
	カメラモニタリング	
	加入者情報を表示する	
	加入者コントロール	
1.8	加入者スケジュール	40
	スケジュールを設定する	40
	警告通知スケジュールを設定する	
1.9	通報レポート	43
	アラームレポートの作成	43

	アラームレポートカテゴリの編集	44
	アラームレポートの印刷	45
1.10	フラグによる識別	46
	イベントを色付フラグでマーキングする	46
	色付フラグの編集	47
1.11	イベントログブラウザ	48
	イベントログを開く	49
	イベントログのフィルター処理をかける	50
	イベントログのバックアップを作成する	51
	イベントログを設定する	53
	印刷結果設定	54
1.12	システム設定	55
	[全般]	55
	レイアウトの設定	57
	ネットワークの設定	58
	録画設定	59
	GV-Dispatch Server の設定	60
1.13	通知設定	61
1.14	アウトプット通報	63
	GV-CenterV2の接点出力を操作する	63
	加入者の接点出力を制御する	63
1.15	SMS通報	64
	SMSサーバーを設定する	64
	SMSサーバーに接続する	66
	SMSを送信する	66
1.16	電子メール通報	67
	メールボックスを設定する	67
	電子メールを送信する	68
1.17	E-Map警告	69
1.18	バックアップサーバー	70
1.19	別の GV-CenterV2 に加入者を割り当てる GV-CenterV2	72
第2章	GV-Dispatch Server	73
21	システム要件	74

2.2	GV-Dispatch Serverをインストールする	75
2.3	GV-Dispatch Serverウィンドウ	76
2.4	加入者アカウントを作成する	77
2.5	GV-Dispatch Serverを起動する	79
2.6	GV-Dispatch ServerにGV-CenterV2 を接続する	79
2.7	GV-SystemをGV-Dispatch Serverに接続する	80
2.8	イベント照会	81
2.9	イベントリスト	82
	フラグの色	84
2.10	加入者スケジュール	85
2.11	ライブビデオのカラフルモード	85
2.12	ログブラウザ	86
	ディスパッチログブラウザ	
	イベントログブラウザ	87
2.13	システム設定	88
2.14	SMS警告	91
2.15	電子メール通報	91
2.16	バックアップサーバー(自動冗長化)	92
第3章	GV-VSM(Vital Sign Monitor)	95
3.1	システム要件	96
3.2	GV-VSMのインストール	
3.3	GV-VSM ウィンドウ	
3.4	加入者アカウントを作成する	
3.5	GV-VSMを起動する	
3.6	GV-VSMに接続する	
	詳細設定	
	インプットステータスを検出する	
3.7	加入者のモニタリング	110
	加入者ステータスを表示する	110
	ストレージ情報を表示する	111
	加入者コントロール	112
3.8	加入者スケジュール	113
3.9	アラームレポート	113

3.10	リモート再生	114
3.11	イベントログブラウザ	115
3.12	システム設定	116
	システム設定	116
	パスワード設定	118
	イベントログ設定	118
	通報設定	118
	警告間隔設定	119
3.13	アウトプット警告	
	GV-VSM の接点出力を制御する	
	加入者の接点出力を制御する	
3.14	SMS 警告	
	SMS サーバーを設定する	
	SMS を送信する	
	警告メッセージに ID とカメラ名を挿入する	
3.15	電子メール通報	
	メールボックスを設定する	
	電子メールを送信する	
	警告メッセージに ID とカメラ名を挿入する	
3.16	バックアップサーバー	

第	4章	Control Center	127
	4.1	システム要件	128
	4.2	Control Center をインストール	129
	4.3	Control Center ツールバー	130
		編集ツールバー	130
		サービスツールバー	132
	4.4	ホストとグループを作成	133
		ホストを作成	134
		グループを作成	135
	4.5	Control Center に接続する	136
		Control Center Server ウィンドウ	136
		CCS サーバーを設定する	138

4.6	ライブ表示	
4.7	リモート DVR	
4.8	リモートデスクトップ	
	リモートデスクトップを実行する	
	ファイル転送	
4.9	リモート ViewLog	
	リモート ViewLog を実行する	
4.10	マトリックス表示	147
	マトリックス表示を実行する	147
	マトリックス表示を設定する	
	2 方向音声	
	簡易再生	
	Qview を使って別モニターでチャンネルを表示する	154
4.11	IP マトリックス	
	IP マトリックスの実行	
	ウィンドウのコントロール	
4.12	VMD システム	
	VMD を実行する	
	ウィンドウのコントロール	
	別の画面にカメラをポップアップ表示させる	
4.13	簡易再生	
4.14	PIPとPAP 表示	
4.15	パノラマ表示	
	パノラマ表示を作成する	
	パノラマ表示へのアクセス	
	パノラマ表示コントロール	
4.16	I/O 操作パネル	
	I/O 操作パネルを実行する	
	I/O 操作パネル	
	カスケードトリガーに対してグループを作成する	
	I/O 操作パネルを設定する	
	接続ログを表示する	
	モードスケジュールを作成する	
	クイックリンク	

	アウトプットを制御する	
	I/O デバイスのグループを管理する	
	I/O デバイスを制御する	
	インプットトリガーの後にライブビデオをポップアップさせる	
4.1	7 リモート E-Map	
4.1	8 ライブビデオのカラフルモード	
4.1	9 インターフェーススタイルの変更	
	標準ウィンドウ	
4.2	0 システム設定	
	全般	
	ネットワーク設定	
	リモート DVR(遠隔監視)設定	193
	リモート ViewLog(遠隔再生)設定	
	I/O 操作パネル設定	195
	マトリックス設定	
	リモートデスクトップ設定	
	IP マトリックス設定	
	VMD システム設定	200
	リモート E-Map	201
付録		203
Α.	ドングルについて	
	Center V2 のドングルオプション	204
	Dispatch Server のドングルオプション	204
	VSM のドングルオプション	205
	Control Center のドングルオプション	205
В.	高速バックアップと復元	
	FBR プログラムのインストール	206
	スキンを選択する	
	設定のバックアップと復元	
C.	GV-Joystick を使った PTZ コントロール	210
D.	GV-Keyboard を使ったマトリックスコントロール	

	Center V2	
	Control Center	
F.	仕様	
	Center V2	
	Dispatch Server	
	VSMとCenter V2 Proの比較	
	Control Center	

第1章 CenterV2

CenterV2 を用いることにより、中央監視室: CMS (セントラル モニタリング ステーション)を直ちに構築できます。複数の GV システムをひとつの端末上へ統合することにより、管理オペレータは複数台の GV システムを管理できるようになります。 CenterV2 は基本機能として、ライブ映像の表示、アラーム警告などの発生状況をロ グ情報として記録することができます。また、アラーム警告などの発生時、その時点の 映像情報を受信することもできます。これにより、遠隔地の管理オペレータはアラーム 警告の性質(誤報・真報)を容易に判断できます。



1.1 システム要件

CenterV2 には 2 つのバージョンがあります。 システムソフトウェアに付属した標準バージョンでは、最大 5 加入者、80 チャンネルにサービスを提供することが可能です。 CenterV2 Pro は最大 500 加入者、800 チャンネルにサービスを提供することが可能です。 です。

インストールする前に、お使いのコンピュータが次の最低条件を満たしていることを確認 してください。

標準パージョン

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista	
CPU	Pentium Dual-Core 2.4 GHz		
メモリ	2 × 256 MB デュアルチャンネル	2 × 512 MB デュアルチャンネル	
ハードディスク	CenterV2(標準バージョン)を導入するには1GB 以上のスペースが		
	必要です		
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650		
ネットワーク	9.0c		

Pro

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista	
CPU	Core 2Duo, 2.4 GHz		
メモリ	2 × 1 GB デュアルチャンネル		
ハードディスク	CenterV2(Pro バージョン)を導入するには1GB 以上のスペースが		
	必要です		
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650		
ネットワーク	9.0c		

注: 現在、64 ビット Windows OS はサポートしていません。



1.2 CenterV2 をインストールする

- 1. CMS ソフトウェア DVD をコンピュータに挿入します。インストールメニューが表示 されます。
- GeoVision V8.3.2.0 集中監視システムインストールのアイテムを選択します。
- 3. CenterV2 システムをクリックし、画面の指示に従います。

注: CenterV2 Pro アプリケーションには USB ドングルが付属しています。ドング ルがコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。



1.3 CenterV2 のウィンドウ



図 1-1

CenterV2 ウィンドウの機能

番号	名前	説明
1	監視ウィンドウ	ライブ画像を表示します。
2	ステータスパネル	日付、時刻、ディスクの残り容量、オンラインチャンネル数、 接続可能なチャンネル総数を表示します。
3	加入者の検索	加入者の検索フィールドに目的の加入者 ID を入力し、この ボタンをクリックして検索します。

1 GV-Center V2

加入者リスト	加入者の ID 名と接続状態を表示します。 青アイコン: 加入者がオンラインであることを示します。
	灰色アイコン : 加入者がオフラインであることを示します。
	アラーム警告アイコン : 加入者サイトで、現在動作が検出 されている、あるいは I/O が検知されていることを示します。
ツール	イベントログ、イベントリスト、音声とマイクコントロール、SMS サーバー設定、SMS 通報にアクセスします。
ホスト情報	加入者の接続状態を表示します。
アカウント	加入者のアカウント情報を追加、削除、変更します。
	次のオプションがあります。システム設定、イベントログ設定、
お好み設定	通知、パスワード設定、電子メール設定、アラームレポートの
	カスタマイズ、SMS 設定、I/O デバイス、自動フェイルオーバー
	サポート、およびバージョン情報。
前のページ	カメラ表示を前のページへ切り替えます。
次のページ	カメラ表示を次のページへ切り替えます。
チャンネル更新	接続状態を更新します。
分割モード	1024 x 768 解像度で、単一モニターの場合は 6、15、24 の 画面分割を、デュアルモニターの場合は 9、25、36 の画面分 割を選択します。 1280 x 1024 解像度で、単一モニターの場合は 6、12、24 の画面分割を、デュアルモニターの場合は 9、20、42 の画面 分割を選択します。 1600 x 1200 解像度で、単一モニターの場合は 6、12、24 の画面分割を、デュアルモニターの場合は 9、20、42 の画面 分割を選択します。 1680 x 1050 解像度で、単一モニターの場合は 6、15、28 の画面分割を、デュアルモニターの場合は 9、20、42 の画面 分割を選択します。 1680 x 1050、1920 x 1200、または 1440 x 900 の解像度 で、単一モニターの場合は 6、15、28 の画面分割を、デュア ルモニターの場合は 6、15、28 の画面分割を、デュア ルモニターの場合は 9、20、42 の画面 分割を選択します。 1920 x 1200 解像度で、単一モニターの場合は 6、15、28 の画面分割を、デュアルモニターの場合は 6、15、28
	加入者リスト ツール ホスト情報 アカウント お好み設定 前のページ チャンネル更新 分割モード



分割を選択します。

1920 × 1080 解像度で、単一モニターの場合は 6、15、28 の画面分割を、デュアルモニターの場合は 6、20、35 の画面 分割を選択します。 1280 × 800 解像度で、単一モニターの場合は 6、12、24 の 画面分割を、デュアルモニターの場合は 9、16、30 の画面分 割を選択します。

解像度については、本章で後述する*レイアウト設定*を参照 してください。

13	終了	CenterV2を終了、最小化します。
14	フラグ	後で参照できるようにイベントにフラグを立てます。
15	アラーム管理	アラーム管理ウィンドウを表示します。
		イベントに映像ファイルが添付されていることを示します。
16	クリップ	イベントをダブルクリックすると、添付された映像が再生されま
		す。
17	חו	加入者のIDを示します
	U	加入省の「ひを示しなす。
10		アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、シ
18	イベントタイプ	アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、シ ステム、トリガーの分類を示します。
18 19	イベントタイプ メッセージ	 アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、シ ステム、トリガーの分類を示します。 各イベントタイプに関連付けられた情報を示します。
18 19 20	イベントタイプ メッセージ 受信時刻	 アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、システム、トリガーの分類を示します。 各イベントタイプに関連付けられた情報を示します。 CenterV2 がイベントを受信した時間を示します。
18 19 20 21	nD イベントタイプ メッセージ 受信時刻 開始時刻	 アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、シ ステム、トリガーの分類を示します。 各イベントタイプに関連付けられた情報を示します。 CenterV2 がイベントを受信した時間を示します。 イベントが加入者側で発生した時間を示します。

タイプとメッセージのリストは、CenterV2 に表示されます。

タイプ	メッセージ
動作	xx 動作検知。
トリガー	I/O モジュール XX - XX 作動検知
	カメラ xx 画像ロス; XX I/O モジュール異常; ネットワーク接続が切断
	されました; カメラxxビデオ信号復帰;ディスパッチサーバーにログインで
拉 结	きませんでした;ディスパッチサーバーがシャットダウンします;I/O モジュー
女സ	ル xx は稼動状態に復帰;SMS サーバーにログインできませんでした;
	ショートメッセージを送信できませんでした;SMS サーバーがシャットダウ
	ンします。
	ディスクが一杯です;再起動できませんでした;;録画用の空き容量があ
	りません; 監視システム終了;予想外エラーが発生しました。(エラーコ
アラーム	ード:1または2);カメラ xx 不審物検出;オブジェクトが見つかりません;
	カメラ xx 重要物移動検出;POS 警告メッセージ
	カメラ xx カメラ撮影位置変化
	起動/終了サービス; IP 変更; 録画に失敗しました; モニタリングカメラ
	のステータス変更。オン: xx オフ: xx; 全カメラ録画開始/停止; I/O モ
シュテレ	ニタリング開始/停止。; スケジュール開始/停止。モニタリングデバイス
	もすべて停止します。;加入者セッションが確立していません。待ち時
	間の期限切れ; 接続セッション確立前のログアウト。USBプロテクトキ
	ーが見つかりません。
添付	カメラ xx の録画ファイル。

注: エラーコード1はコーデックエラーを示しています。エラーコード2はハードディスク障 害またはユーザー権限によりデータを書き込んだり録画できないことを示しています。



1.4 加入者アカウントを作成する

CenterV2 サービスを起動する前に加入者を少なくとも1つ作成する必要があります。 CenterV2 ウィンドウで、**アカウント**ボタンをクリックします((図 1-1 ⑦)。アドレス帳ウィ ンドウが表示されます。

00000	60	₿				
S Add ess Book						
😫 💁 🔝 🗙 🏂) 🖄 📴	• 💼				
Search Address Book	ID	Name	Telephone (H)	Telephone (O)	Mobile Phone	E-mail
🖻 🕺 London	1					
	admin	GeoVision	2-87978377			geo@geovisio
admin						
New York						
	<					>
Ready					Group: 3 Sub	iscriber: 2 🔰 🛒

团 1-2

番号	名前	説明			
1	新規グループの追加	グループを追加します。			
2	新規加入者の追加	加入者を追加します			
2	加入者のアドレス帳の	加入者を選択しこのボタンをクリックすると、アドレス帳を			
3	表示/編集	編集可能な状態で表示します。			
	卢山,	グループまたは加入者を選択し、このボタンをクリックして			
4	グルーノ加入省の削除	削除します。			
5	加入者検索	加入者アカウントを検索します。			
<u> </u>	アドレス帳のインポート/	アドレス帳をインポートまたはエクスポートします。			
6	エクスポート				
7	ᇷᇺᆇᇌᅌ	加入者を選択しこのボタンをクリックすると、録画映像の			
	加入有設定	設定と警告形式を設定できます。			
8	加入者のスケジュール	加入者スケジュールを設定します。			

アドレス帳のボタン:



加入者を作成する

- 1. 新規グループの追加ボタンをクリックし(図 1-2 ①)グループを作成します。
- 新規加入者の追加ボタンをクリックします(図 1-2 ②)。加入者アドレス帳ダイア ログボックスが表示されます。

加入者アドレ	ス幅		×
ログインID:	0		ОК
パスワード:	*	$\langle \rangle$	キャンセル
名前:	GeoVision		
アドレス:	Taipei, Taiwan		
電子メール:	geovision@geovision.com.tw		
国番号:	886		
(н) 🌾	(D)		
ポケットベル:			
	12345679		
備考			
			~

团 1-3

3. ログイン ID とパスワードを入力します(必須)。これらは加入者が CenterV2 にロ グインするための ID とパスワードです。



- 4. 残りの入力欄に加入者の連絡先情報を入力してください(オプション)。
 - この加入者に電子メールで警告を送信する場合、電子メールアドレスを 入力します。電子メールの設定については、本章で後述する 電子メール 通報 を参照してください。
 - この加入者にSMS 警告を送信する場合、国コードと携帯電話番号を入 カします。SMS サーバー設定については、本章で後述する SMS 通報 を 参照してください。
- 5. [OK] をクリックして上の設定を保存します。次のダイアログボックスが表示され ます。

加入者設定 - Wii
┌ 監視オプション
画像サイズ: 標準 💌 🛄
✔ 自動的録画
緑画モード
○ ライブモード 設定
○付加モード 設定
●両方 (5イブ8附加)
┌備考
プロパティを変更すると、次のトリガーで適用します。
- チャンネル名 文字色
OK ++>セル

团 1-4

ダイアログボックスのオプションを以下で説明します。ここでデフォルトの設定を受け入れるか、ツールバーの加入者設定ボタンをクリックして後で編集することができます(図 1-2 ⑥)。[OK]をクリックすると、加入者アカウントが作成されます。

加入者設定

[監視オプション]

■ 画像サイズ: 加入者からのビデオサイズを設定します。次の表は、CenterV2 で加入者が異なる設定に対応するときに、画像サイズを設定する方法を示し ています。例えば、加入者からのビデオストリームが 720 x 576 で、CenterV2 オペレータが中を選択している場合、CenterV2 で表示される画像のサイズは 720 x 288 になります。

加入者 CenterV2	320 x 240	360 x 240	360 x 288	640 x 240	640 x 480	720 x 240	720 x 480	720 x 576	1280x960
標準	320 x 240	360 x 240	320 x 240	320 x 240	320 x 240	360 x 240	360 x 240	360 x 288	320 x 240
中	320 x 240	360 x 240	320 x 240	640 x 240	640 x 240	720 x 240	720 x 240	720 x 288	640 x 240
×	320 x 240	360 x 240	320 x 240	640 x 240	640 x 480	720 x 240	720 x 480	720 x 576	640 x 480
実際のサイズ	320 x 240	360 x 240	360 x 288	640 x 240	640 x 480	720 x 240	720 x 480	720 x 576	1280x960

CenterV2 はメガピクセル解像度をサポートしています。加入者が解像度をメガピクセルに設定し、CenterV2 オペレータが同じサイズでビデオを表示させたい場合、 CenterV2 オペレータは実際のサイズを選択できます。この設定には多くの帯域が必要になることにご注意下さい。

LAN 環境でオプションを選択されることを推奨します。

注: クライアント GV-System については、**ハードウェア圧縮データFIFOを有効化** (FIFO) 機能をオンにして、CenterV2 がメガピクセルデータを受信できるようにして おく必要があります。 詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザー マニュアル の第 2 章、*高度な設定* を参照してください。

■ 自動的録画: CenterV2 は次の録画モードに基づいてイベントを自動的に録 画します。



[録画モード]

- ライブモード: ライブビデオを CenterV2 に配信します。ビデオをライブで 受信するのに十分な帯域幅があることを確認してください。CenterV2 に記録 されるビデオファイルの最大持続時間を設定するには、設定 ボタンをクリックします。
- 付加モード: CenterV2 に送信される前に、イベントで定義された時間で 記録されます。加入者が CenterV2 に接続されると、添付ファイルは直ちに 送信されます。添付ファイルモードは、添付ファイルに関連付けられたいくつ かのオプションも使用します。設定ボタンをクリックすると、付加モード – 録 画設定 ダイアログボックスが表示されます。詳細なセットアップについては、 以下の*添付ファイルモード設定*を参照してください。
- **両方(ライブと付加)**: ライブビデオと付加ファイルを両方とも送信します。

[チャンネル名 文字色]

チャンネル名 文字色の変更をします。詳細な設定については、この章のチャンネ ル名 文字色を変更する を参照してください。



付加ファイルモード設定

[加入者設定]ダイアログボックス(図 1-4 を参照してください)で、付加モードを選択し、 その右側の設定ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

付加モード - 録画設定
┌録画オブション(カメラごと)――――
プリレコード トータルフレーム数: 🔟 📚 🛄
プリレコード フレーム/秒 制限: 🛛 2 📚 惧
フレーム/秒制限: 5 🔹 👖
绿画品質: 通常
付加オプション (動作検知録画)
最大 ビデオクリップ: 30 💠 秒
ポスト録画: 5 📚 秒
通報間隔: 10 🛟 分
┌付加オプション (1/0トリガー(こよる録画)
最大 ビデオクリップ: 60 📚 秒
ポスト録画: 10 🔿 秒
通報問題: 10 🔷 分
デフォルト OK キャンセル

図 1-5

[録画オプション(カメラごと)]

- プリレコード トータルフレーム数:添付する映像ファイルのプリ録画する合計フレ ーム数を指定します。
- プリレコード フレーム/秒制限:プリ録画する期間のフレームレートを指定します。

注: プリレコードフレーム/秒 制限でプリレコード トータルフレーム数を割ると、ビデオ添付ファイルの合計時間が得られます。



- フレーム/秒制限: 添付ファイルとして送信するビデオのフレームレートを決定します。
- 録画品質: スライダバーを使用して、ビデオ品質を3つのレベルで調整します。

[付加オプション(動作検知録画)] 動作検知で配信されたビデオ添付ファイルの期間を定義します。

- 最大ビデオクリップ: ビデオ添付ファイルの録画時間を設定します。
- ポスト録画: 動作検出終了後、ビデオを何秒録画するのかを決定します。
- 通報間隔: 動作イベントを送信する間隔を設定します。

[付加オプション (I/O トリガーによる録画)] I/O トリガーで配信されたビデオ添 付ファイルの期間を設定します。

チャンネル名の色を変更する

識別しやすくするため、チャンネル名の色を自由に変更することができます。また、ここで はチャンネル名の色やフォントのほかに、背景色もカスタマイズすることができます。

- CenterV2 ウィンドウで、アカウントボタン(図 1-1 ⑦)をクリックして、アドレス帳ウ ィンドウを表示します。1つの加入者を選択して、ツールバーの加入者設定ボタン をクリックします。加入者設定ダイアログボックスが表示されます(図 1-4)。
- チャンネル名 文字色ボタンをクリックすると、色の設定ダイアログボックスが表示されます。
- ご使用になりたい色を選択し、OK をクリックします。チャンネル名 文字色ボタン が選択した色になります。
- CenterV2 ウィンドウで、詳細設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、システム設定 を選択すると、詳細設定ダイアログボックスが表示されます(図 1-38)。
- 全般タブをクリックし、アカウント背景色設定オプションにチェックを入れます。チャンネルタイトルの背景色が選択された色になりました。



図 1-6



1.5 CenterV2 に接続する

単一の DVR は、中央モニタリング用に最高 2 つの CenterV2 センターに同時接続可 能です。GV-Systemを設定しネットワーク接続を通して CenterV2 にリモートでアクセ スするには、以下のステップに従ってください。

メインシステムで、ネットワークボタンをクリックし、CenterV2への接続を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

ログイン情報
Center IP:
ユーザ ID:
パスワード:
ポート: 5547 デフォルト
□ パスワード保存
OK キャンセル

团 1-7

 Center IP アドレス、ユーザーID、最初の CenterV2 のパスワードを入力します。 必要に応じてデフォルトポートを変更し OK をクリックします。このダイアログボック スが表示されます。

CenterV2 に接続					
接続 終了 🔶					
モード: 通常 💽 設定					
□ 30 秒後にログイン					
☞ 全イベント監視					
CenterV2 IP 状態					
127.0.0.1 -					
192.108.0.110 -					
★ × /					

🗷 1-8



- 3. 2 台目の CenterV2 への接続を確立するには、 🗣 ボタンをクリックします。
- CenterV2 との間に確立したログイン情報を変更したい場合、ダイアログボックス で必要な CenterV2 を選択し、 ダボタンをクリックします。
- CenterV2 との間に確立したログイン情報を削除したい場合、ダイアログボックス で必要な CenterV2 を選択し、メボタンをクリックします。
- 6. 設定終了後、接続ボタンをクリックして開始します。接続が確立されると、 CenterV2 は加入者からビデオまたは添付ファイルの受信を開始します。



通常モードを設定する

加入者と CenterV2 間の通信状態を詳細に定義するには、[CenterV2 への接続]ダ イアログボックス(図 1-8)で通常モード を選択し、設定 ボタンをクリックしてセットア ップを行います。メニューには全般と詳細設定のオプションが含まれます。詳細設定ダイ アログボックスには、以下のタブが含まれます:(1) カメラ、(2) その他、(3) I/O デバイス

全般と詳細設定

この設定は GV-System と CenterV2 間の再試行設定と通信ポートを定義します。

全般設定		
接続切断	┌ コーデック	
最大リトライ回数: 3 三	C Geo Mpeg4	
再試行間隔: 5 🕂 秒	💿 Geo Mpeg4 (ASP)	
☑ 接続されるまで再試行	C Geo H264	
🔲 バックグラントでリトライ		
┌接続 ポート 🝺		
コマンド ポート: 5548 デフォル	ト 5543 デフォルト	
データポート: 5549 デフォル	ト 5544 デフォルト	
接続 ポート: 5545 デフォル	<u>۲</u>	
「テンポラリ フォルダーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
パス: [C#GV1240¥°CCTemp]		
	OK キャンセル	

図 1-9



[接続切断]

- 最大リトライ回数: 接続が確立できない場合の、試行回数を設定します。
- 再試行間隔: 再試行(リトライ)の間隔を設定します。
- 接続されるまで再試行: CenterV2 に接続されるまで GV-System から接続 を試み続けます。
- バックグラウンドでリトライ: 再試行(リトライ)をバックグラウンドで行い、接続画 面が表示されません。

[コーデック] CenterV2 に送信するビデオの圧縮方式として Geo Mpeg 4(デフォルト)、Geo Mpeg 4 (ASP) または Geo H264 を選択します。

[接続 ポート] 通信で使用するポートを設定・表示します。特に必要がない限り、 デフォルトの設定をお勧めします。

2 台の CenterV2 センターに接続することを希望するユーザーのために 2 セットのコマン ドポートとデータポートがあります。

UPnP テクノロジでルータにこれらのポートを自動的に設定するには、**矢印**ボタンをクリ ックします。詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアル の第 8 章、UPnP 設定 を参照してください。

[テンポラリ フォルダ] 添付ファイルを CenterV2 へ送信するまでの間、このフォルダに 一時的に保管します。接続状態が切断された場合、CenterV2 に送信される予定の 添付ファイルがここに保管されます。接続が正常に戻ると、テンポラリ フォルダに保存さ れたイベントは直ちに送信されます。



詳細設定

[カメラ]

この設定は、CenterV2 に通知するカメラ状態を設定します。イベントタイプを設定する には、まず図 1-8 で**全イベント監視**オプションを無効にします。

325 その他 カメラー 技え5 1
hy5 [5x51] [2] [2]
jbx51 [2]
▼ 動作検出時 CenterV2 へ送る…
イベントタイプ: 緊急モード
□ CenterV2 のライブ表示を許可する
イベントタイプ: 緊急モード 💌
■ CenterV2 からのPTZ操作を許可する
✓ イベント発生時 CenterV2 へ通報する (物体の移動認識 - 失動検知(出現検知 カメラ撮影(防震変化))
イベントタイプ: 緊急モード 💌

🗷 1-10

- カメラリスト: ドロップダウンリストをクリックして、構成するカメラを選択します。 または、指ボタンをクリックしてすべてのカメラに設定を適用します。
- 動作検出時 CenterV2 へ送る: 動作が検出されたとき、CenterV2 にビデ オを送信します。

イベントタイプ: 加入者が CenterV2 で動作検出を常に通知することを希望 する場合、緊急モードを選択します。加入者が CenterV2 でインプットがトリガ ーされたときにのみ動作検出の通知を希望する場合、通常モードを選択しま す。



- CenterV2へのライブ表示を許可する: CenterV2にいつでもカメラを表示す る権限を与えます。
- CenterV2からのPTZ操作を許可する: CenterV2にPTZカメラをコントロールする権限を与えます。まず、カメラのマッピングが正しく行われていることを確認してください。監視システムソフトウェア DVDのユーザーマニュアルの第1章、 PTZカメラマッピングを参照してください。
- イベント発生時 CenterV2 へ通報する: これらの警告イベントの何れかが発生したときに CenterV2 に通知する。物体の移動認識、失踪検知/出現検知、 カメラ撮影位置変化。

イベントタイプ: 加入者が CenterV2 でこれらの警告イベントを常に通知する ことを希望する場合、緊急モードを選択します。加入者が CenterV2 で、イン プットがトリガーされたときにのみこれらの警告イベントの通知を希望する場合、 通常モードを選択します。

注:通常モード イベントの通知に対してインプットトリガーを設定するには、本章 で後述する*セキュリティサービス、[I/O デバイス]* を参照してください。



[その他]

GV-SystemとCenterV2間で他の通信状態を定義します。



🗷 1-11

[音声] これらのオプションを適用するとプライバシーの問題が生じることがあります。 選択時にはプライバシーに関して考慮してください。

- CenterV2が音声出力を得ることを許可する: CenterV2からGV-System で取得した音声を聞けるようにします。
- CenterV2 からの音声を受け付ける: 緊急事態が発生したときに、 CenterV2 が応答機能を使用できるようにします。



[その他]

- CenterV2 がシステム情報を得ることを許可する: CenterV2 から GV-System のシステム情報を取得できるようにします。
- CenterV2 に POS 損害防止メッセージを送信します: POS 損害防止のイ ペントについて CenterV2 に通知します。
- CenterV2の時刻と同期する: 加入者サイトで生じた時刻の誤差を CenterV2の時刻に一致させることができます。
- 空き容量が不足した場合、CenterV2へ通知: 加入者の保存領域が十分 でない場合に、CenterV2に通知させることができます。

注: Time synchronization with Vital Sign Monitor (Vital Sign Monitor の時間と同期する) オプションが選択されている場合、Center V2 が起動されると同 時に時間同期の機能が発動され、12 時間ごとに繰り返し発動されます。



[1/0 デバイス]

CenterV2 に通知する I/O 状態を定義します。これらの設定を全て行うには、 図 1-8 で全イベント監視オプションを無効にします。

詳細設定	
カメラ その他 1/0 デバイス 1/0 デバイス モジュール 1 ・ Center V2 による1/0換作の有効	
 ✓ CenterV2 へ I/O 検知を送る □ カメラと共に カメラ セット 	
イベントタイプ: 緊急モード ・ マ アウトプットモージュル・ Mod 1 ・ Pin. 1	
イベントタイプ: 緊急モード ▼ 「 Center)の が信号テフトを使用することを注応すする	–ምዕኑታット 1 🚺 🛃 –
 ヘノパョラホ行続空刹師モート ✓ 指定したピンがドガーされた場合に監視起動 ✓ 指定したピンがドガーされた場合に監視停止 	Mod. 1 💌 Pin. 1 💌 Mod. 1 💌 Pin. 1 💌
○ 入力信号持続型制御モード 指定したとつがONの場合-監視起動。 指定したとつがOFFの場合-監視停止。	Mod. 1 💌 Pin. 1 💌
	OK キャンセル

🗷 1-12

[**I/O デバイス**] I/O デバイスに I/O 検知(アラーム入力)があったときに CenterV2 に 通知します。 **矢印**ボタンを使用してそれぞれの I/O デバイスを設定するか、**指ボタン**をク リックしてすべての I/O デバイスに適用します。

CenterV2 による I/O 操作の有効・無効: CenterV2 がモニタリングを中断せずに、加入者のサイトですべての I/O デバイスを手動でアラーム解除できるようにします。

例えば、アラーム入力が加入者のサイトで検出されると、CenterV2オペレータ はサイトに到達する前にリモートでオフにできます。一方、GV-System は引き続 きモニタリングを続けます。



 CenterV2 へ I/O 検知を送る: 選択したインプットにアラーム入力が発生した とき CenterV2 に通知します。

CenterV2

カメラと共に: 選択されたインプットにアラーム入力があったとき、カメラ映像を CenterV2に送信します。カメラセットボタンをクリックして、このインプットに連動す るカメラを設定します。

イベントタイプ: CenterV2 ヘアラーム入力の通知を常に行う場合、緊急モードを選択します。CenterV2 で I/O 有効設定を行ったインプットに対してのみアラーム入力の通知を行う場合、通常モードを選択します。

右矢印ボタン: アラーム入力を CenterV2 に通知する遅延時間を設定します。 この機能は、イベントタイプに通常モードが選択されているときにのみ選択できま す。

- 夏延 終了(退去): このインプットに対して CenterV2 側が有効とした ときに、GV-System 側の I/O 検知の開始を遅延させます。設定した期 間このインプットに関して検知の通報を行わなくなります。遅延 終了の 期間が終了すると、このインプットは通常の検知動作を開始します。この 機能は、業務終了時など出ロ/入りロドアのアラームなどの検知を遅ら せたい場合などにご利用いただけます。
- 運延開始(入場): このインプットに対して CenterV2 側が有効としたときに、GV-System 側の I/O 検知の通報を遅延させます。この機能は加入者が施設に入るまでの時間間隔を設定します。設定した期間このインプットに関して検知の通報を行わなくなります。遅延開始の期間内に警戒状態を解除しない場合、CenterV2 へ通報します。この機能は、業務開始時など出ロ/入りロドアのアラームなどの検知通報を遅らせたい場合にご利用いただけます。

アウトプットモジュール: 選択されたインプットが検知したとき、設定したアウトプットモジュールを有効にします。

例えば、I/O デバイス(モジュール 1、インプット 4)で検知したとき、アウトプット(モ ジュール 1、ピン 3)へ出力します。

右矢印ボタン: 設定したアウトプットモジュールへ出力する時間を遅らせる設 定をします。

イベントタイプ: CenterV2 ヘアウトプットの状態を常に通知する場合、緊急モードを選択します。CenterV2 で有効にしたインプットが検知された場合にアウト プットの状態を通知する場合、通常モードを選択します。



注:

- 1. 通常イベントの通知に対してインプット検知を設定するには、以下の[セキュリティサービス] を参照してください。
- CenterV2 へ I/O 検知を送るの遅延設定とアウトプットモジュールにより、施設 に入りアクティブになる前にアウトプットインプットモジュールを無効にできます。 ペアの I/O 設定を無効にするには、加入者が CenterV2 への接続から退出する か、図 1-12 の指定したピンがトリガーされた場合に監視停止機能を使用しま す。
- CenterV2 が信号テストを使用することを許可する: CenterV2 が GV-System 側のアウトプットデバイスを手動で操作できるようにします。

[セキュリティサービス] 2 つのタイプのアクセスコントロールシステムをサポートする: 非持続型制御モードと持続型制御モード。

- 入力信号非持続型制御モード: ボタンを押している間だけ 開閉するプッシュ ボタンスイッチなど、瞬間的に入力が検知されるスイッチにより制御を行う場合使 用します。複数の場所からオンまたはオフの制御を行うことができます。 例えば、ある施設に1つの指定された入りロ/出ロドアがあるとします。スタッフ が入りロドアから入るとき、システムは監視を開始します。スタッフが出ロドアから 出るとき、システムは監視を停止します。
- 入力信号持続型制御モード: トグルスイッチなど入力の検知状態が持続す るスイッチにより制御を行う場合使用します。一箇所のスイッチによりオンまたはオ フの制御を行うことができます。 例えば、ドアが開いている業務時間中、システムは監視を停止します。ドアが閉 じている業務外時間になると、システムはモニタリングを開始します。
パニックボタンを設定する

GV-System でパニックボタンの設定を行えます。緊急時にボタンを押すと、関連のビデオを CenterV2 にすばやく送信します。

パニックアラームをセットアップするには、CenterV2 に接続ダイアログボックス(図 1-8 を 参照)でパニックを選択し、[設定]ボタンをクリックし、詳細設定を選択します。次のダ イアログボックスが表示されます。

I	エマージェンシー設定				
Γ	- エマージェント キー				
	1/0 検知:	Mod. 1 💌	Pin. 1	▼	_
L	I▼ <u>1</u> 77779	トモージュル	Mod. 3	r Pin. 4	-
٢	どのカメラの画	j像を Center	V2 へ伝送す	るか	
	1	5	9	13	
	2	6	10	14	
	3	7	11	15	
	4	8	12	16	
 OK キャンセル 					

図 1-13

[エマージェント キー] インプットデバイスをエマージェント キーに割り当てます。

- I/O 検知: インプットモジュールとピン番号を割り当てます。
- アウトプットモジュール: エマージェント キーを押しているとき、割り当てられた アウトプットモジュールを有効にします。 この例の場合、エマージェント キー(モジュール 1、ピン 1)を押すと、アウトプット モジュール(モジュール 3、ピン 4)が同時に有効となります。

[どのカメラの画像を Center V2 へ伝送するか..] エマージェント キーを押しているとき、Center V2 に送信されるカメラを選択します。



インプットステータスを検出する

この機能は、加入者が CenterV2 を通じてライブモニタリングを開始すると、すべてのイ ンプットの状態変更を監視するように設計されています。前に定義した状態(N/O から N/C または N/C から N/O)から変化されると、アラーム状態を有効にします検知状態と なります。

Ch

CenterV2に接続ダイアログボックスの どう をクリックします(図1-8を参照してください)。詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアル、第6章、 インプットステータスを検出する を参照してください。



1.6 インスタント録画と再生

カメラのライブ映像に簡単にアクセスし、録画を開始・停止したり、添付されたビデオフ アイルを再生することができる機能です。

ライブ表示を有効にする

 加入者リストで任意のカメラを右クリックして、ライブ映像表示を選択するとライブ 表示が有効になります。



図 1-14

特定の加入者に注意をする場合、その加入者の全カメラのライブ表示を有効に することが出来ます。リストから特定の加入者をクリックし、焦点はこのユーザーの み有効を選択します。特定の加入者に焦点が当てられた状態になったとき、加 入者を再びクリックし、全カメラ ライブ映像表示を選択します。焦点が当てられ ている特定の加入者の全カメラをライブ表示します。



🗷 1-15

注: ライブ画像の色あいを調整することができます。General Setting (全般)ダイアロ グボックスの Diredraw 使用を参照してください(図 1-38)。



録画と再生

- カメラのライブ表示が有効なとき、チャンネルタイトル上の「ビボタンをクリックすると、 録画を開始/停止させることができます。
- 録画を停止すると、イベントリストに添付イベントが表示されるので、これをダブル クリックすると、すぐに画像を再生させることができます。

EZプレーヤーで再生する

イベントの添付ファイルをクリックすると、再生操作を行うために EZ プレイヤーが表示されます。



- - -

図 1	1-16
-----	------

No.	名前	説明
1	ツール	明るさ、コントラスト、スムース、シャープ、グレースケール、 取り消しなど、画像への効果を追加します。他にも、コピ ー、名前をつけて保存(画像または avi ファイル)、印刷、セ ットアップがあります。
2	ズームイン	ビデオをズームインします。
3	ズームアウト	ビデオをズームアウトします。



4	移動	このボタンをクリックしてホールドすると、EZ プレーヤーウィン ドウを移動させます。
5	再生	ビデオファイルを再生します。
6	一時停止	ビデオファイルを一時停止します。
7	停止	ビデオファイルを停止します。
8	前のフレーム	ビデオファイルの前のフレームに移動します。
9	次のフレーム	ビデオファイルの次のフレームに移動します。
10	トップフレーム	ビデオファイルの最初に移動します。
11	終了フレーム	ビデオファイルの最後に移動します。
12	スピードコントロール	再生スピードをコントロールします。

再生モードを変更する

ビデオの再生は同じプレーヤーで1つずつ再生させるか、または複数のプレーヤーを使っ て同時に再生させることができます。

 EZ プレーヤーにあるツールボタン(No.1,図1-16)をクリックし、ポップアップメニュ ーから設定をクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

設定 🔀
 表示 ● 映像ことにウインドウを開きます。 ○ 1つのウインドウに映像を表示します。
OK キャンセル

図 1-17

- 2. 同じプレーヤーでビデオを1つずつ再生する場合は、1つのウィンドウに映像を表示しますを選択します。
- 3. 複数のビデオを別のプレーヤーを使って同時に再生させる場合は、映像ごとにウ ィンドウを開きますを選択します。



1.7 加入者のモニタリングと管理

このセクションでは、以下の各部分に分けて加入者をモニターし管理する方法を説明 します: (1) I/O ステータスを表示する、(2) I/O デバイスを制御する (3) カメラ/音声コ ントロール、(4) 簡易音声・マイクパネル (5) カメラモニタリング(5) 加入者情報を表 示する (6) 加入サービスのコントロール (7)。

I/Oステータスを表示する

加入者サイトでインプットデバイスのステータスを表示したり、アウトプットを強制すること ができます。

加入者リスト(図 1-1 ④)で、1 つのオンライン加入者を右クリックし、**I/O ステータス**を 選択し、次のウィンドウを表示します。

I/O Status - 1			
モジュール:	1 🔽		
🖾 インプット1	🗲 インプット 2	🗖 インプット 3	🖾 インプット 4
🖾 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A
🗖 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A
🗖 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A	🗖 N/A
Status			
@ 通常	🗲 トリガー		
	· · · · ·		J
四月			
ピン: アウトブット	·1 🔽	(19) 信号:	ታスト
L			
			キャンセル

🗷 1-18



[モジュール] ドロップダウンリストからモジュールを選択します。

[入力] 選択されたモジュールのインプットデバイスの状態を示します。 青いアイコンはインプットが非アクティブになっていることを意味し、赤い稲妻アイコンはイ ンプットがアクティブ(検知状態)になっていることを意味します。

[出力] GV-System 側にアウトプットの信号テストを行うには、ドロップダウンリストか ら目的のアウトプットピンを選択し、**信号テスト**ボタンをクリックします。

この場合、加入者はまず CenterV2 に権限を与える必要があります。図 1-12 の CenterV2 が信号テストを使用することを許可するオプションを参照してください。

I/Oデバイスを制御する

CenterV2 オペレータはモニタリングを中断することなく加入者の物理 I/O デバイスを手動でアラーム発報またはアラーム解除することができます。この場合、加入者にまず権限を与える必要があります。図 1-12の CenterV2 による I/O 操作の有効・無効オプション参照。

注: この機能は、以下のファームウェアバージョンの GV IP デバイスもサポートしています。
 GV コンパクト DVR: ファームウェア V1.43 以降
 GV-IP カメラ: ファームウェア V1.05 以降
 GV ビデオサーバー: ファームウェア V1.45 以降

I/O デバイスをアラーム発報/アラーム解除する

- 加入者リスト(図 1-1 ④)で、1 つのオンライン加入者を右クリックし、I/O 有効設 定を選択します。
- I/O デバイスをトリガーするには、必要なデバイスを選択します。I/O デバイスをア ラーム解除するには、選択のチェックボックスをオフにします、またはオプションを空 白にします。



カメラ/音声 コントロール ウィンドウ

この機能により、CenterV2と加入者、および PTZ コントロール間の双方向音声通信が可能になります。

加入者リスト(図 1-1④)で、1 つのオンライン加入者を右クリックし、カメラ/音声 コント ロールを選択しこのウィンドウを表示します。



図 1-19

カメラ/音声コントロールの機能:

番号	├ 名前	説明
1	カメラの変更	同じ加入者の別のカメラに切替えます。
2	サイズ変更	ライブ表示のサイズを変更します。サイズの選択は、 CenterV2のオペレータが加入者用に定義したサイズに依
		存します(加入者設定の画像サイズを参照)。
3	音声	加入者からの音声を出力します。
4	マイク	加入者に話しかけられるようにします。
5	設定	音声とビデオの設定を変更します。
6	PT7	PTZ パネルまたは PTZ オートメーションを選択することによ
•		って PTZ コントロールをアクティブにします。
7	スナップショット	表示されたライブビデオのスナップショットを撮影します。
8	ズーム	1.0x、2.0x、または 3.0x を選択して、ビデオを拡大します。



GV-Center V2

注: 加入者が GV-System バージョン 8.2 またはそれ以前のものを使用している 場合、旧式のデザインのカメラ/音声画面が表示されます。GV-System バージョン 8.3 またはそれ以降のものが使用されている場合は、新しい画面が表示されます。



V8.2 以前のバージョンの画面



V8.3 以降のバージョンの画面

🗷 1-20



簡易音声・マイクパネル

簡易音声・マイクパネルにより、ライブビデオを使用しなくても、CenterV2と加入者間 の2方向の音声通信を利用することができます。ここでは、ライブビデオのカメラ/音声コ ントロール使用する必要はありません。この機能が動作するには、加入者が GV-System V8.0 以降を使用している必要があります。

 接続された加入者に話しかけるには、加入者リストにある加入者を右クリックし ます。またはウィンドウのチャンネルの1つを右クリックしてマイクを選択します。次のパネルが表示されます。



図 1-21

 接続されたカメラから音声にアクセスするには、加入者リストにあるカメラ、または ウィンドウを右クリックして音声を選択します。次のパネルが表示されます。



図 1-22

 別の加入者に切り替える場合、パネル内の加入者アイコンを 2010 アカウント検索ダイアログボックス内にその ID を入力してから GO をクリックします。

注: この2方向通信を有効にするには、まず加入者側で許可を与える必要があります。図1-11の CenterV2が音声出力を得ることを許可すると CenterV2からの音 声を受け付けるオプションを参照してください。



カメラモニタリング

カメラモニタリングウィンドウを使用して以下の項目を設定します:

- ライブディスプレイの有効と無効
 (加入者はまず権限を与える必要があります。図 1-10の CenterV2 へのライブ 表示を許可するオプションを参照してください
- 動作検出とビデオロストによってトリガーされた着信イベント間の間隔を定義します
- 1. 加入者リスト(図 1-1 ④)で、1つのオンライン加入者を右クリックし、カメラモニタ リングを選択します。
- 2. カメラモニタリングウィンドウが表示されます。

カメラ モニタリング				X
カメラ名	ライブ	モーション	ビデオロス	ステータス
カメラ 1	再生	0	0	-
カメラ 2	停止	Ō	Ō	-
カメラ 3	停止	0	0	-
カメラ 4	N/A	N/A	0	-
カメラ 5	N/A	N / A	0	-
カメラ 6	N/A	N/A	0	-
カメラ 7	N/A	N / A	0	-
カメラ 8	N/A	N / A	0	-
カメラ 9	N/A	N/A	0	-
カメラ 10	N/A	NZA	0	-
カメラ 11	N/A	NZA	0	-
カメラ 12	N/A	N/A	0	-
カメラ 13	N/A	N/A	U	-
カメラ 14	NZA	NZA	U	-
カメラ 15	NZA	N/A	U	-
דעת 16	N / A	N/A	U	-
לאל 🚽 🚽				
ライブ: 再生 🖌 🚺	2			
モーションモニタリングー時停止: 0 分 🜈 OK			ОК	
ビデオロストモニタリング一時	静止:	0 分		キャンセル

🗷 1-23



- ライブ: 1 つのカメラを選択し、再生(ライブディスプレイの有効)または停止(ライブデスプレイの無効)を選択します。
- モーションモニタリングー時停止: 1つのカメラを選択し、動作検出によってトリ ガーされた着信イベント間の間隔を設定します。または、モニタリングウィンドウの 1つのライブカメラチャンネルを右クリックし、同じ設定に対して一時停止を選択し ます。
- ビデオロストモニタリングー時停止: 1つのカメラを選択し、ビデオロストによって トリガーされた着信イベント間の間隔を設定します。
- ステータス列: カメラまたはビデオロストの状態を表示します。
- 3. [OK]をクリックして設定を適用します。

カメラがライブ表示に対して有効になっている場合、そのモニタリングウィンドウの右上隅 に の が表示されます。それ以外の場合は、 が表示されます。

加入者情報を表示する

加入者についての一般情報を表示するには、ホスト情報を表示する CenterV2 ウィン ドウでホスト情報ボタン(図 1-1 ⑥)をクリックします。リストから加入者を選択し、情報 の表示ボタンをクリックしてその関連する情報を表示します。

ホスト情報		×
後日初代 ● 第1 ● 2 第1 日 第2 第1 日 第3 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Berver Info] Server Info] Server Update Imme-2009/02/20 15:43:01 Gamme A Orti 02 Gamme A Orti 02 Gamme A Orti 02 Gamme A Orti 03 04 05:00 07:08 Gamme A Server Locit-Nome ModuleD1 Sout A Harm P Pr02 Pr02 Pr03 Pr04 Event001-2009/02/20 15:53:00 ModuleD1 Pr07 Pr02 Pr03 Pr04 Event001-2009/02/20 15:53:01 ModuleD1 Pr07 Pr02 Pr03 Pr04 Event001-2009/02/20 15:53:01 ModuleD1 Pr07 Pr02 Pr03 Pr04 Event005=2009/02/20 15:53:01 ModuleD1 Pr07 Pr02 Pr03 Pr04 Event005=2009/02/20 15:53:01 ModuleD1 Pr07 Pr02 Pr03 Pr04	1s. (2)

🗷 1-24

この機能を使用するには、加入者側が Center V2 に権限を与える必要があります。 図 1-11の CenterV2 がシステム情報を得ることを許可するオプションを参照してください。

加入者コントロール

加入者の期限が切れたとき、CenterV2オペレータは個別加入者に対するそのサービスを無効にできます。

アドレス帳(図 1-2)で、1 つの加入者を右クリックし無効を選択します。加入者を復元するには、その加入者を再び右クリックし**有効**を選択します。



1.8 加入者スケジュール

CenterV2 オペレータは加入者状態を監視するスケジュールを作成します。加入者が 設定された時間に CenterV2 にログインしないとき、オペレータと加入者に通知しま す。

 加入者が時間通りに CenterV2 にログインされないとき、次のメッセージがイベン トリストに表示されます。
 サービス時間が開始しました。加入者のログインを待機中です。
 サービス時間の間に加入者が突然ログアウトすると、次のメッセージが表示されます。

接続セッションが確立される前に異常ログアウト。

 コンピュータを起動し、アラームを出力してオペレータに通知し、同時に加入者に SMS および電子メールメッセージを送信するには、通知機能を使用します。詳 細については、本章で後述する通知設定を参照してください。

スケジュールを設定する

- CenterV2 ウィンドウで、アカウントボタンをクリックして(図 1-1 ⑦)、アドレス帳ウ ィンドウを表示します。アドレス帳ウィンドウが表示されます。
- 1 つの加入者を選択し、スケジュール(図 1-2 ⑦)を表示します。[スケジュール] ウィンドウが表示されます。



🗷 1-25



- 3. スケジュールウィンドウメニューで、**スケジュール**をクリックし、**編集ウィザード**を選択 してウィザードの指示に従います。
- 指示の途中で次のダイアログボックスが表示されたら、ログイン時刻表の上にマウスをドラッグして開始時間と終了時間を設定します。



🗷 1-26

セットアップウィザードのコントロール:

番号	名前	説明
1	組込	タスク時間を表示します。
2	除外	非タスク時間を表示します。
3	追加	タスク時間を表示します。
4	消去	タスク時間を消去します。
5	古由乳中	警告通知の方法を選択します。後述の <i>警告通知</i>
5	同反設足	<i>スケジュールを設定する</i> を参照。
6	タイムライン	時間の長さを設定します。
7	ログイン	ログイン時刻を表示します。
8	通知 (Notification)	電子メールと SMS 送信時刻を表示します。

 スケジュール設定を終了したら、次へをクリックします。[セットアップウィザード]ダイ アログボックスが再び表示されたら、Finish (完了)を押して終了します。



警告通知スケジュールを設定する

この設定によって、電子メールや SMS メッセージは設定した時間内に送信されます。 スケジュールは、あらゆる警告状態に応じた電子メールや SMS 設定と連動することが できます。警告状態を設定するには、本章で後述する**通知設定を参照してください。**

注: スケジュール機能を有効にすると、スケジュール設定した時間外に発生したイベントは通知されません。

- スケジュールウィンドウで、確定プランをダブルクリックします。図 1-26 と似ているプ ランダイアログボックスが表示されます。
- 高度設定ボタン(図 1-26 ⑤)をクリックします。高度設定ダイアログボックスが表示されます。
- 通知 Notification フォルダを開き、スケジュール設定する SMS(SMS)または電 子メール(E-Mail) を選択します。
- プランダイアログボックスで、通知ボタン (図 1-26 ⑧)をクリックし、SMS または 電子メール、あるいはその両方のタイムラインにマウスをドラッグし、警告通知を送 信する開始時間と終了時間を定義します。



1.9 通報レポート

各イベントに対して、CenterV2オペレータは特定の状態を評価するためのレポートを 作成することができます。

アラームレポートの作成

 イベントリストウィンドウで、イベントを選択してレポート列をクリックします。次のダ イアログボックスが表示されます。

アラーム管理 [20070703-000137]	
ID: 1 時間: 2007/07/03 142218 メッセージ: カメラ 15 の映画ファイル。[5イブ]	•
報告者:	開始報告終了保存開じる
イベント形式 1 手続き 1 単和 通知 受信 1 小ヤージ	#股估5時間 U
<	
	4

🗷 1-27

- 2. 報告者項目に氏名を入力し、開始をクリックしてレポート作成を開始します。
- レポートには6つのカテゴリがあります。レポートするために必要なカテゴリタブをク リックします。
 - イベント形式: イベントを分類するため、イベント形式を選択します。
 - 説明: イベントの説明を選択します。
 - 通知: 通知された公的機関を選択し、通知した時刻を入力します。

GeoUision

- 受信: 通知された公的機関を選択すると、このボタンが有効になります。公的機関の到着時刻を入力します。
- 処置: イベント処理のために採用された処置を選択します。
- メッセージ: このボタンは、電子メールあるいは SMS 警告またはその両 方が設定されている場合にのみ有効になります。
- レポートを終了し、内容を変更する必要がない場合、報告終了をクリックします。
 または、後で編集する必要がある場合は、保存をクリックします。

アラームレポートカテゴリの編集

アラームレポートの各カテゴリにある項目は、必要に応じてカスタマイズや編集すること が出来ます。ここで行われる変更は各レポートで利用可能です。

 CenterV2 ウィンドウで、お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、通報レポー ト編集を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

通報レポート編集
<u>道加</u> 編集 削除 OK キャンセル
イベント形式 説明 計測実施 Patrol
1295万つ15週4版 通時版 誤時版 非常/演報版
アクシュテント通事際央像 2通事部映像

🗷 1-28



- カテゴリタブ(イペント形式、説明、計測実施、Patrol)を選択してクリックし、必要な変更を行います。
- 3. [OK]をクリックして設定を保存します。

アラームレポートの印刷

フィルタをかけたログと共に、アラームレポートを印刷することが可能です。

- アラームレポートのログをフィルタ処理するには、ツールボタン(図 1.1 ⑤)をクリックして イベントログ表示を選択し、フィルタボタンをクリックします。フィルタウィンドウが表示されます。
- クリップボードアイコンをクリックし、ドロップダウンリストからアラームレポートのタイプ を選択します。詳細については、1.11 イベントログブラウザのイベントログのフィ ルタ処理 を参照してください。
- [OK] をクリックします。検索結果はイベントログブラウザウィンドウに表示されます。
- アラームレポートを検索結果と一緒に印刷するには、ページレイアウト設定ボタン
 (図 1-31 ⑦)をクリックし、発報レポート印刷にチェックを入れ、[OK] をクリックし ます。
- 印刷ボタン(図 1-31 ⑧)をクリックします。アラームレポートはプリントアウトの最後の部分です。
- 1.11 イベントログブラウザの印刷結果設定も参照してください。



1.10 フラグによる識別

さまざまなイベントを識別するため、カラフルなフラグをご用意しています。このようなフラ グは、イベントリストを参照するときや、必要なイベントを検索するときにフィルタ機能を 利用する際に、とても便利です。

Ŕ	0	ID	タイプ	メッセージ
	🍸 フラグ 赤		動作	カメラ 12 モーション検知。
	🍸 フラグ 春		動作	カメラ 13 モーション検知。
8	♥ フラグ 董		動作	カメラ 14 モーション検知。
Ÿ	▼ フラグ 緑		動作	カメラ 15 モーション検知。
8	▼ フラガ 榕		動作	カメラ 16 モーション検知。
8	マッシン 位		動作	カメラ 9 モーション検知。
	1 777 #		接続	カメラ1 画像ロス
	🖌 完了 フラグ		接続	カメラ 2 画像ロス
8	고드 8 6년 교		接続	カメラ 3 画像ロス
	ノフク・クリア		接続	カメラ 4 画像ロス
8	設定		接続	カメラ 5 画像ロス
		1	接続	カメラ 6 画像ロス
		1	接続	カメラ 7 画像ロス

図 1-29

イベントを色付フラグでマーキングする

後々の参照用として、イベントリスト内でイベントにフラグを付ける事ができます。ここでは、イベントの識別用として6種類のフラグとチェックマーク1種類があります。

- イベントリストウィンドウで、イベントを選択してフラグ列で右クリックします。6 種類 のフラグ(フラグ赤、フラグ青、フラグ黄、フラグ緑、フラグ橙、フラグ紫)とチェックマ ーク(完了フラグ)のほか、設定オプション2 種類が表示されます。
- 2. このイベントに必要なフラグまたはチェックマークを選択します。

イベントについたフラグマークを解除するには、フラグアイコンをクリックします。または、フラ グアイコンを右クリックし、**フラグ クリア**を選択します。

色付フラグの編集

各色のフラグは、設定済みのテキストを名前とすることもできますが、必要に応じてテキ ストを変更させることも可能です。

- イベントリストウィンドウで、イベントを選択してフラグ列で右クリックします。フラグリ スト(図 1-29 参照)が表示されます。
- 2. 設定を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

設定
テキスト編集 初期設定を適用 OK キャンセル
🚩 フラグ 赤 (デフォルト)
🕅 フラグ 春
🦞 フラグ 黄
👻 フラグ 緑
👻 フラグ 橙
👻 フラグ 紫
✓ 完了 フラグ

🗷 1-30

- フラグを選択して、テキスト編集ボタンをクリックします。テキストオプションリストが 表示されます。
- 4. 該当するテキスト(保留、処理中、前進あり、解決、拒否)を選択、またはカス タムを選択すると、自由にフラグ用文字列をカスタマイズできます。



1.11 イベントログブラウザ

CenterV2 ウィンドウで、**ツール**ボタン(図 1-1 ⑤)をクリックし、イベントログを表示を選択して次のウィンドウを表示します。

ヒント: すべてのイベントにフィルタをかける代わりに、特定の加入者に関するイベント ログに素早くアクセスできます。加入者リストの加入者を1つ選択し右クリックします(図 1-1 ④)、**イベントログ**を選択し目的のログタイプをクリックします。

00000000000

2007/07/0	4 05 2007/	07/04 の イベン	ログ - EventLog 参照		
ファイル ツキル	E1-	1 1			
کې 🍋	4 📍	Ö 🕹 🛙	🗉 🖕 🧧		
9 🖸 9	ID	タイナ	メッセージ	受信時刻 🔺 開始時刻	^
	システム	システム	サービス開始	2007/07/04 9:3	3
	1	ロダイン/ロダア	ログイン	2007/07/04 9:3	
	1	システム	全イベント監視開始	2007/07/04 9:3 2007/07/04 9:3	
	1	システム	1/0 モリタリング開始	2007/07/04 9:3 2007/07/04 9:3	
	1	システム	全カメラ録画開始	2007/07/04 9:3 2007/07/04 9:3	
	1	トリガー	モジュール 2 - インプット 2 作動検知	2007/07/04 9:35:34 2007/07/04 9:35:34	
	1	同所一	モジュール 2 - インプット 4 作動検知	2007/07/04 9:35:34 2007/07/04 9:35:34	~
準備完了				全イベントログ: 249	NUM

🗷 1-31

イベントログブラウザのボタン:

番号	名前	説明
1	開く	イベントログを開きます。
2	再読み込み	イベントログを手動で更新します
3	イベントログ同期 開始/停止	イベントログを自動で更新します。
4	フィルタ	検索基準を設定します。
5	フィルタ結果の更新	フィルタ結果を更新します。
6	バックアップ	現在のイベントリストとビデオファイルをエクスポート します。
7	ページレイアウト設定	イベントログの印刷結果にヘッダとフッタを作成しま す。
8	印刷	現在のイベントリストを印刷します。
9	終了	ブラウザを終了します。

イベントログを開く

開くボタン(図 1-31 ①)をクリックして次のデータベースを開くダイアログボックスを起動 します。

時間帯を定義して、データベースの種類を選択します。システムが作成したログ記録を 開きたい場合は、システムログを選択します。ローカルドライブまたは CD/DVD に保存 したバックアップのログ記録を開きたい場合は、バックアップログを選択します。次に、ロ グパスを割り当てます。[OK] をクリックすると、検索基準に一致するイベントがイベント ログブラウザウィンドウにロードされます。

データベース開く 🔀
データベースの開く期間を選択
2006/03/16 🗸 ~ 2006/03/16 🗸
設定は1~62日間
ログタイプオプション
• システムログ C バックアップログ
パス E:\Data-E\

🗷 1-32

注: 既定により、データはで1日分表示され、データベースのタイプはシステムログ、ログ パスは: ¥Center V2¥EventLog です。既定の表示期間やログパスはイベントログ設 定(Event Log Settings)を使って変更可能です(図 1-36)。

ログのバックアップの詳細については、本章で後述するイベントログのバックアップを作成 するを参照してください。



イベントログのフィルタ処理

定義した基準に従って、ログイベントをフィルタ処理することができます。フィルタボタン (図 1-31 ④)をクリックすると、次のフィルタウィンドウが表示されます。

		* *t-9	売金一款 [
No 에 제품 에 문화 Yes (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		+t-J	9
2 か7 2 次テム 2 次テム 2 次行時初 1 の 2 第 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	×	☆セー ジ	
システム ダ 学 学 学 学 学 学			2
		184時刻 ○日灯 ○時間 ④雨方	
2007/07/03 💌 135738 😂 🔭 2007/07/03 💌 135738	2001	1/07/03 💌 135738 😋 🔭	2007/07/03 💌 136738 😂
「「「「ないって」」「「「ないって」」「「「ないって」」	12	スポート インボート	OK #45/12/6
読む 目 や 日 助 タイプ	3	ッセージ 受信時期	」 開始時期
No 🤄 All 🕎 Yes ジステム		2007/07/03 1367	38 * 20. 2007/07/68 13:5738 * 20.

🗷 1-33

フィルタ

- 読む: イベントリストで開いたイベントで、CenterV2 ウィンドウの底部にあるイベントを検索します。
- クリップボード: アラームレポート付のイベントを検索します。
 アイコンは、レポートが完成していることを示します。
 アイコンは、レポートが完成していない、または終了していないことを示します。
 All アイコンは、上記2種類のレポートを示します。
- **フラグ:** フラグ付きのイベントを検索します。
- **クリップ**: ビデオ添付ファイルを含むイベントを検索します。
- ID: 特定の加入者のイベントを検索します。
- **タイプ**: イベントの特性に基づくイベントを検索します。
- メッセージ: キーワードによりイベントを検索します。
- 受信時刻: CenterV2への到着時刻や日付によりイベントを検索します。
- 開始時刻: 加入者サイトで発生したイベントの開始時刻により検索します。



複数のフィルタを適用する

このオプションにより、検索する複数のフィルターコマンドを設定します。新しいコマンドを 追加ボタンをクリックして新規フィルターコマンドを追加します。[OK]をクリックすると、 定義されたコマンドに一致するすべてのイベントがイベントログブラウザに一覧表示され ます。

フィルタを削除する

フィルターリストから削除するフィルターコマンドを選択し、既存コマンドの削除ボタンをク リックして削除します。

イベントログのバックアップを作成する

ローカルドライブにログのバックアップを作成したり、CD や DVD にエクスポートすることが できます。

 イベントリストブラウザで、バックアップボタンをクリックします(図 1-31 ⑥)。次のダ イアログボックスが表示されます。

バックアップ		
設定		
° 🖃	バックアップ パス	C:1Center V2
۰ 🕸	一時フォルダ:	C:WVINDOW/S\Temp
		空き容量: 31308.75 MB
オプション		
☑ 発報レポー	-トファイルのバックス	Py7
🗹 AVIファイ)	レのバックアップ	
🗹 バックアップ	の前に空き領域を	確認してください
注こより多くの	時間を有効にでき	\$
		OK ++>t2/1

🗷 1-34

- ローカル ドライブにログのバックアップを作成するには、バックアップパスを選択して
 [...] ボタンをクリックし、ファイルを保存する場所を指定します。
- ログを CD や DVD にエクスポートするには、一時フォルダを選択して [...] ボタン をクリックし、バックアップデータの一時保存先を指定します。



- 4. 発報レポートや AVI ファイルをログと一緒にバックアップさせるかどうかを選択しま す。
- 5. [OK] をクリックします。
- 一時フォルダを選択した場合、次のダイアログボックスが表示されて、次の手順に 進みます。

Backup to CD / DVD
Media
O Using CD / DVD
G:\[AOPEN CD-RW/CRW5232 : 650 MB]
CD / DVD Burning Software :
CD Using OS-Burning
Media Information
Used Size : 190.48 MB
Free Size : 459.51 MB
Total Size : 650.00 MB
Erase Rewritable Disc OK Cancel

🛛 1-35

- CD/DVD の使用: サードパーティ製ソフトウェアを使用して CD や DVD にファ イルをバックアップします。[...] ボタンをクリックし、目的のライティングソフトウェア (.exe ファイル)を設定します。
- OS ライティングの使用: このオプションは、Windows XP、Server 2003、 Vista 使用時のみ利用可能です。OS 内蔵ソフトウェアを使って CD や DVD に ファイルを書き込みます。



イベントログを設定する

CenterV2 ウィンドウで、お好み設定ボタン(No. 8、図 1-1)をクリックし、イベントログ 設定を選択して次のダイアログボックスを表示します。

イベントログ設定
ログパス: C:(Center V2\EventLog)
[]) 空き領域: 30.57 GB
OKキャンセル

🗷 1-36

[イベントリスト]

 自動入力: 表示されるイベントリストに読み込むデータの日数を、Center V2 画面(図 1-1)とイベントログブラウザ(Event Log Browser)(図 1-31)の下部の 日数欄に入力します。

[イベントログ]

- 保持日数: このオプションは、ログファイルを保存する日数を指定する際に選択して、その値を入力します。指定しない場合、このオプションをオフにして、リサイクル開始または保存領域がいっぱいになるまでログが保存されるようにします。
- リサイクル: 格納スペースが 500MB 以下になると、もっとも古い日付のファイル を削除します。
- ログパス: [...] ボタンをクリックして格納パスを割り当てます。



イベントログを印刷する

フィルタ処理を行ったログイベントは、フッターやヘッダーを設定し、データログにアラーム レポートの添付の有無を設定して印刷することができます。

- イベントログブラウザで、ページ レイアウト設定ボタン(図 1-31 ⑦)をクリックして 次のダイアログボックスを表示します。
- 2. プリントアウトする情報のアイテムとタイプをチェックします。
- 3. [OK] をクリックして設定を適用します。
- 4. 印刷ボタン(図 1-31 ⑧)をクリックして、印刷を開始します。



図 1-37



1.12 システム設定

CenterV2 ウィンドウで、**お好み設定**ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、**システム設定**を 選択して次の詳細ウィンドウを表示します。このウィンドウには以下のタブ、(1)全般、 (2)レイアウト、(3)ネットワーク、(4)録画、(5)ディスパッチサーバーが含まれていま す。

[全般]

システム設定
全般 レイアウト ネットワーク 録画
「監視オブション」
○ チャンネルを手動で閉じる
⊙ 動作権出使止時に自動的にチャンネルを閉じる。
ポスト録画: 5 秒
I/O 検知時のカメラ画像を送信します: 10 秒 ▶
GV-Wiegand キャプチャ: 10 秒
イメージ品質: 一〇一一 通常
☑ Directdraw 使用 ▶
28-1797
□ Windows 起動時に自動稼動
□サービス開始時に SMS サーバーへ自動ログイン
_ カメラ名
フォントと色: 設定
□アカウント背景色設定
OK

🗷 1-38



[監視オプション]

- チャンネルを手動で閉じる: 表示されているカメラ映像画面を手動で閉じます。
- 動作検出停止時に自動的にチャンネルを閉じる: 動作検出により表示された カメラ映像画面を動作検出停止後、自動的に閉じます。
- ポスト録画: 動作検出が停止した後にモニタリングウィンドウに残っているカメラ
 映像画面の表示時間を設定します。
- I/O 検知時のカメラ映像を送信します: I/O によるアラーム警告取得時に表示 されたカメラ映像画面の表示時間を設定します。 アラーム終了後もカメラ映像画面をモニタリングウィンドウに残す場合は、右矢印 ボタンをクリックし、ラッチトリガの欄のチェックをはずします。すると、指定した時間 の間、カメラ映像画面がモニタリングウィンドウに残されることになります。すると、 指定した時間の間、カメラ表示がモニタリングウィンドウに表示されたままになりま す。例えば、アラームは 5 分間トリガーされ、10 分を設定すると、実際の表示 時間は 15 分になります。
- GV-Wiegand キャプチャ: GV-Video サーバーに接続されているアクセスコント ロールシステムがトリガーされたときに、モニタリングウィンドウに残っているカメラ映 像画面の表示時間を指定します。詳細については、GV-Video サーバーユーザ ーマニュアル の第8章、CMS 設定を参照してください。
- イメージ品質: ビデオ品質を調整します。スライドバーを右側に移動すると品 質が向上し、映像容量も大きくなります。
- Directdraw 使用: 有効にすることにより、監視映像の品質が向上します。より美しい色合いを採用するには、右矢印ボタンをクリックしてカラフルモードを使用するを選択して、CenterV2 プログラムを再起動して変更を有効にします。

[スタートアップ]

- Windows 起動時に自動稼動: Windows が起動するときに CenterV2 を 自動的に実行します。
- サービス開始時に SMS サーバーへ自動ログイン: Center V2 を起動するとき に SMS サーバーに自動的にログインします。 SMS サーバーの IP アドレス、ポー ト、ID およびパスワードを入力するように求められます。

[カメラ名]

- フォントと色: 設定...ボタンをクリックしてカメラ名称のフォントと色を変更します。
- アカウント背景色設定: カメラ名称 設定に適用するオプションとして利用します。
- 詳細については、この章で前述の*チャンネル名 文字色*を参照してください。

レイアウトの設定

この機能を利用することにより、モニタリングウィンドウを現在のモニタディスプレイに表示 し、別のモニタディスプレイにイベントリストウィンドウを表示することが可能となります。こ の機能をご利用いただくには、CenterV2 を導入したコンピュータが複数のモニタディス プレイ出力に対応している必要があります。また、Windows 上で2台のモニタディスプ レイが正しく使用できるように設定されている必要があります。

システム設定
全般 レイアウト ネットワーク 録画 Dispatch Server
画面解像度: 1024 × 768
メインパネル解像度: 1024 × 768 🗸
□イベントリスト位置設定
イベントリスト 位置: ③下 〇右
注このプロパティの変更内容は次回起動時に反映されます。
OK キャンセル

🗷 1-39



- **画面解像度**: 現在の画面解像度を検知します。
- メインパネル解像度: CenterV2 パネル解像度を 1024 x768, 1280 x1024, 1600 x 1200, 1680 x 1050, 1920 x 1200, 1920 x 1080, 1280 x 800 また は 1440 x 900 に設定します。新しい解像度は次回ログインから有効になりま す。
- イベントリスト位置設定: イベントリストウィンドウを下部または右側の別のモニ タディスプレイに配置します。

ネットワークの設定

システム設定
全般 レイアウト ネットワーク 録画 Dispatch Server
CenterV2 情報
位置名: TEST224-PC
□ 指定 IP: 192.168.2.11
- ネットワーク設定
□ ネットワークセキュリティ拡張
Center ポート: 5547 デフォルト ▶
✓ ビデオサーバからの接続
ポート 2: 5551 デフォルト
注 このプロパティの変更内容は次回起動時に反映されます。
OK キャンセル

🗷 1-40



- 位置名: CenterV2 がインストールされている PC の名前を示しています。
- 指定 IP: お使いのルータまたはシステムが複数の IP アドレスを所持している場合、DVR と CenterV2 間のコミュニケーション用に IP アドレスを設定できます。
- ネットワークセキュリティ拡張: インターネットに対して強化されたセキュリティを適用します。機能が有効になっているとき、7.0以前のバージョンを使用しているすべての加入者は CenterV2 にアクセスできません。
- Center ポート: CenterV2 で使用する通信ポートを示します。
- ポートは、図 1-7 のものと一致する必要があります。
- UPnP テクノロジでルータにポートを自動的に設定するには、 矢印ボタンをクリックします。
- 詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアルの第8章、 UPnP 設定を参照してください。

Accept the Connection of GV-Compact DVR, Video Server & IP Cam(GV-コンパクト DVR、ビデオサーバー、IP カメラからの接続を許可する): GV-IP デバイスへの接続を許可します。 GV-IP デバイスへの接続のデフォルトポート は 5551 ですが、GV-IP デバイス上の Center V2 ポートに合わせて変更することもで きます。詳細については、それぞれのユーザーマニュアルを参照してください。

録画設定

この機能により、ビデオファイルを保存するパスを割り当てることができます。

新規パスの追加ボタン 💌 をクリックしてパスを割り当てます。[X]ボタンをクリックして パスを削除します。

リサイクルアイテムがチェックされている場合、格納スペースが 800MB 以下になるとシス テムは古いファイルを削除し、格納スペースが 800MB 以下になると Center V2 は録画 を停止します。



デフォルトのリサイクルしきい値を大きくしたい場合、リサイクル開始空き容量を選択し てサイズを指定します。

システム設定	
全般 レイアウト ネットワーク 録画	
	☑ リサイクル
182	
☑ C:¥Center V2¥Data	
▼リサイクル開始空き容量	800 MB
	OK キャンセル

🗷 1-41

注: 毎回、デフォルトの限界値に到達する度に、古いファイルが 400MB が削除されます。

ディスパッチサーバーの設定

[2.6 ディスパッチサーバーに Center V2 を接続する]を参照してください。



1.13 通知設定

CenterV2 は割り当てられたコンピュータとアウトプットアラームを自動的にアクティブにし、 警告状態が発生すると、SMS と電子メールメッセージが加入者に送信されている間 にオペレータに通知します。このアプリケーションの場合、CenterV2 ウィンドウで**お好み** 設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし通報設定を選択して次のウィンドウを表示します。

\3±0>+
 ● 画像ロス I/O モージュル異常 I/O ドリガー (通常モード) I/O ドリガー (第急モード) 接続異常 Dダイン Dダイン Dダアウト カメラ動作 監視システム異常 侵入者警告 重要物移動検出 不審物検出 ASCII OK ASCII OK Fャンセル

🗷 1-42

[リストボックス] 左のリストボックスから構成する警告状態を選択します。 [通報方法]

- 著告音通報: ドロップダウンリストからアラーム音を選択します。または、リストからユーザー定義を選択して目的のサウンド.wavを1つインポートします。右側の矢印ボタンをクリックして割り当てられたアラームをテストします。
- 出力モジュール: インストールされたアウトプットモデルとピン番号を選択 CenterV2 オペレータに警告します。
- 電子メール通報送信: 電子メール警告を有効にして電子メールを加入者 に送信します。編集ボタンをクリックしてメッセージを編集します。電子メールの 設定については、本章で後述する電子メール通報を参照してください。
- SMSでアラームを送信: SMS 警告を有効にして SMS メッセージを加入者 に送信します。編集ボタンをクリックしてメッセージを編集します。 SMS サーバー 設定については、本章で後述する SMS 通報 を参照してください。



[SMS のテキスト形式] 英語テキストの場合は ASCII、最大 160 文字。その他の 言語の場合は Unicode(ユニコード)、最大 70 文字。

注: 電子メールとSMS 警告の場合、加入者アドレス帳の各加入者に対して電子 メールアドレスと携帯電話番号を必ず設定してください(図 1-3)。


1.14 アウトプット通報

警告状態が発生したとき、CenterV2 サイトや加入者サイトに実装されたアウトプット デバイスをアクティブにできます。

CenterV2の接点出力を操作する

CenterV2 サイトでアウトプットデバイスを設定するには、CenterV2 ウィンドウのお好 み設定(図 1-1 ⑧)をクリックし、I/O デバイスを選択します。

現在、アプリケーションのみ GV-IO モジュールをサポートします。セットアップの詳細については、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザーマニュアル*の第6章、*I/O デバイスを セットアップする*を参照してください。

警告状態発生時に自動的にアウトプットを発動するには、本章で前述の*通知設定*を 参照してください。

アウトプットを手動で行うには、CenterV2 ウィンドウの**ツール**ボタン(図 1-1 ⑤)ボタンを クリックし、**接点出力**を選択してローカル I/O デバイスウィンドウの接点出力ウィンドウを 表示します。目的のモジュールを選択し、指ボタンをクリックしてアウトプットをアクティブ にします。

加入者の接点出力を制御する

本章で前述した I/O ステータスを表示する を参照してください。



1.15 SMS通報

警告状態が発生したとき、SMS メッセージを加入者に送信できます。

SMSサーバーを設定する

SMS メッセージを個別加入者に送信する前に、SMS サーバーを正しく設定する必要 があります。

 CenterV2 ウィンドウで、ツール(図 1-1 ⑤)をクリックし、SMS サーバーに接続を 選択して、次のダイアログボックスを表示します。

SMS 設定		
接続設定	携帯電	話設定
接続 サーバ IP: サーバ ポート: ログイン ID: パスワード:	127.0.0.1 5886 (デフォルレ 1 *	© <u>□-ли</u> Г) Оуस-ト
		OK キャンセル

团 1-43

- 2. SMS サーバーの IP アドレス、通信ポート、ログイン ID、パスワードを入力します。
- SMS サーバーが CenterV2 と同じコンピュータにインストールされている場合、ロ ーカルを選択します。それ以外の場合は、リモートを選択します。
- CenterV2 が SMS サーバーへの接続を失ったとき CenterV2 オペレータの 3 つの携帯電話番号をセットアップして通知するには、携帯電話設定タブをクリックして次のウィンドウを表示します。



GV-Center V2

SMS 設定		
1	続設定	携帯電話設定
	イン リスト ✓ SMSリストへ注 国番号: 携帯電話番号:	自力 12345678 123456789
携帯電	話番号の通報設定	官の編集/閲覧を選択してください
		OK キャンセル
		欧 1-44

- 5. モバイルアイコンを1つ選択し、SMS リストへ追加をチェックして、国番号と携帯 電話番号を入力します。
- 6. 警告状態が発生した場合に送られる各 SMS メッセージの通報間隔を設定す る場合は、SMS オプションタブをクリックして次のウィンドウを表示させます。

SMS 設定		
接続設定	携帯電話設定	SMS オプション
- SMS 通報服設定 SMS 通報服問題:	〕 分	
	0	(キャンセル

🗷 1-45

7. SMS 通報間隔で、0分から1440分の間で通報間隔を設定します。

SMS サーバーの詳細については、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザーマニュア* ル、第 10 章を参照してください。



SMSサーバーに接続する

CenterV2 ウィンドウで、**ツール**(図 1-1 ⑤)をクリックし、SMS Server に接続を選択 して接続します。

SMSを送信する

SMS サーバーと CenterV2 の接続が確立されると、複数の方法で SMS メッセージを 加入者に送信できます。次の選択の場合、CenterV2 ウィンドウを参照してください。

- ツールボタン(図 1-1 ⑤)をクリックし、ショートメッセージ送信を選択します。これにより、SMS は個別加入者に手動で送信されます。
- 加入者リスト(図 1-1 ④)で、1つのオンライン加入者を右クリックし、ショートメッセージ送信を選択します。これにより、SMSは個別加入者に手動で送信されます。
- イベントリストで、添付ファイル以外のイベントタイプをダブルクリックし、メッセージ ウィンドウを表示します。ウィンドウで、ショートメッセージ送信アイコンクリックします。 これにより、SMS は個別加入者に手動で送信されます。
- ディスプレイチャンネルを右クリックし、ショートメッセージ送信を選択します。これに より、SMS は個別加入者に手動で送信されます。
- 5. お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、通報設定を選択して通報設定ウィンドウを表示します。SMS でアラームを送信アイテムをチェックします。これにより、警告状態が発生した場合、SMS が加入者に自動的に送信されます。詳細については、本章で前述した通知設定を参照してください。



1.16 電子メール通報

警告状態が発生したとき、電子メールを加入者に送信できます。

メールボックスを設定する

電子メールを個別の電子メールアカウントに送信する前に、メールボックスを正しく設定 する必要があります。

メールボックスを設定するには、次の手順に従います

 CenterV2 ウィンドウで、お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、電子メール 設定を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

電子メール設定	
設定	送信テスト
エンコード: 日本語 (シフト JIS) ・	宛先
差出人:	件名:
SMTPサーバー:	1#(277 b)
SMTPポート: 25 デフォルト	メッセージ内容:ジ内容:
■このサーバーはSSL接続が必要です。	*
■ SMTPサーバー認証が必要	
アカウントID:	
//2 7 -8:	
	*
通車幅設定	
電子メール通報問題。 0 分	OK キャンセル

図 1-46

- 2. エンコード項目で、電子メールで使用する文字コードを選択します。
- 3. 差出人項目に、電子メールアドレスを入力します。
- 4. SMTP サーバー項目に、SMTP サーバーアドレスを入力します。
- お使いの電子メールサーバーが認証のために SSL 認証を要求する場合、このサ ーバーは SSL 接続ガ必要ですを選択します。
- 電子メールサービスプロバイダが電子メールを送信するための認証を必要とする 場合、SMTP サーバー認証が必要のチェックボックスをオンにして、SMTP のアカ ウント ID とパスワードを入力します。



- ぎ告状態が発生したときに送られる各電子メールの通報間隔を設定したい場合は、電子メール通報間隔アイテムで、0分から60分の間で通報間隔を設定してください。
- 8. [OK] をクリックします。

テスト電子メールを送信するには、次の手順に従います

メールボックスを設定した後に、送信テスト欄を使用しメッセージを電子メールアカウン トに送信してテストを行います。

- 1. 宛先項目に自分の電子メールアドレスを入力します。
- 2. 件名項目に送信メールの件名を入力します。
- 3. メッセージ内容項目に送信メールの内容を入力します。
- 4. 送信テストボタンをクリックします。

電子メールを送信する

電子メール警告の送信方法には、複数の方法があります。次の選択の場合、 CenterV2 ウィンドウを参照してください。

- 加入者リスト(図 1-1 ④)で、1つのオンライン加入者を右クリックし、電子メール 送信を選択します。これにより、電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- ディスプレイチャンネルを右クリックし、電子メール送信を選択します。これにより、 電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- イベントリストで、添付ファイル以外のイベントタイプをダブルクリックし、メッセージ ウィンドウを表示します。ウィンドウで、電子メール送信アイコンクリックします。これ により、電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- 4. お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、通報設定を選択して通報設定ウィンドウを表示します。電子メール通報送信をチェックします。これにより、警告状態が発生した場合、電子メールが加入者に自動的に送信されます。本章の通知設定を参照してください。



1.17 E-Map警告

インスタント E-Map 警告を設定すると、見取図内にトリガーされたカメラ、センサー、ア ラームの場所をレイアウトできます。

このアプリケーションの場合、加入者は E-Map エディタを使用して専用の E-Map を作成し WebCam サーバーをアクティブにする必要があります。

CenterV2 で E-Map 警告を設定するには、加入者リスト(図 1-1 ④)で1つのオ ンライン加入者を右クリックし、E-Map を選択します。

E-Map の詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアル、第9 章、*E-Map アプリケーション* を参照してください。



1.18 バックアップサーバー

CenterV2 のメインサーバーの障害に備えて、バックアップサーバーを2つまで設定する ことができます。メインサーバーに障害が発生した場合、バックアップサーバーが加入者 との接続を引き継ぐため、継続的なモニタリングサービスを確保することができます。

- 加入者アカウントをメインサーバーからバックアップサーバーにインポートするには、 アドレス帳ツールバー上のアドレス帳 インポート/エクスポートボタン(図 1-2 ⑥) をクリックし、インポートを選択してアドレス帳のデータを取り込みます。
- CenterV2 ウィンドウで、お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、自動冗長 化 有効を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

🤹 自動冗長化 有効 🛛 🔀						
# サーバーIP	接続ポート	ビデオサーバ				
追加 編集 削除	ОК	キャンセル				
	バーが停止した場合 を設定できます。	の回避先とし				

🗷 1-47



3. 追加ボタンをクリックし、サーバーを追加します。次のダイアログボックスが表示されます。

自動冗長化 有効	
サーバーIP:	
接続ボート: デフォルト	
ビデオサーバー ポート:	ОК
5551 デフォルト	キャンセル

🗷 1-48

- バックアップサーバーの IP アドレスを入力します。ポート設定はデフォルトをお勧め しますが、必要に応じて変更してください。
- [OK] をクリックします。プライマリ Center V2 サーバーが機能不全に陥ったとき、 加入者からの全接続がバックアップサーバーに方向転換されます。

注: 主要サーバーのサービスが復帰できる状態になったとき、バックアップサーバー との接続を終了する必要があります。この終了によって、接続はもとのメインサーバーとの接続に戻ることができます。



1.19 別のCenterV2 に加入者を割り当てる

現在の接続を有効にしなくても、別の CenterV2 に 1 人の加入者を割り当てることが できます。この機能を有効にするには、加入者も GV-System V8.3 以降を使用して いる必要があります。

注: この機能は、GVビデオサーバー, GV コンパクト DVR、そして GV-IP カメラの加入 者に対して使用することはできません。

 加入者リストで、必要な加入者を右クリックして他の CenterV2 へ接続させる CenterV2 を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

サーバー	情報	
IP:	192.168.1.117	
ポート	5547	
		OK キャンセル

🗷 1-49

- 別の CenterV2の IP アドレスを入力します。デフォルトのポート値は 5547 です。 必要に応じて変更します。
- [OK] をクリックします。加入者は、これにより指定先の CenterV2 に割り当てられています。ローカルの CenterV2 の加入者リストで、この加入者のアイコンはオフラインになっています。

第2章 GV-DispatchServer

GV-Center V2 サーバーの可用性はネットワーク負荷によります。 GV-DispatchServer を通して、加入者の要求を整理し、もっとも使用率の少ない GV-Center V2 サーバーに配信することにより、この問題を解決できます。 GV-DispatchServer では、中央のモニターステーションが複数の GV-Center V2 サー バーを実行し、最高速度の応答時間を持つ加入者の最大数を処理できます。 GV-Center V2 サーバーがメンテナンスを必要とする場合、GV-DispatchServer は加 入者の要求を他の GV-Center V2 サーバー、または別の場所の GV-Center V2 サー



2.1 システム要件

インストールする前に、お使いのコンピュータが次の最低条件を満たしていることを確認 してください。

標準バージョン

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista			
CPU	Pentium Dual-Core 2.4 GHz 対応				
メモリ	2 × 512 MB デュアルチャンネル 2 × 512 MB デュアルチャンネル				
ハードディフク	GV-DispatchServer(標準バージョン)を導入するには 1GB 以上のス				
	ペースが必要です				
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650				
ネットワーク	9.0c				

拡張バージョン(100 個以上の DVR 加入者に接続する場合)

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista				
CPU	Core 2 Duo, 2.4 GHz					
メモリ	2 × 1 GB デュアルチャンネル					
ハードニノフク	GV-DispatchServer(拡張バージョン)を導入するには 1GB 以上のス					
7-67129	ペースが必要です					
VGA	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650					
ネットワーク	9.0c					

注:現在、64 ビット Windows OS はサポートしていません。



2.2 GV-DispatchServerをインストールする

- CMS ソフトウェア CD をコンピュータに挿入します。自動的に実行され、ウィンドウ が表示されます。
- 2. V 8.3.2.0 集中監視システムインストールのアイテムを選択します。
- 3. GV-DispatchServer システムをクリックし、画面の指示に従います。

注: GV-DispatchServer プリケーションには USB ドングルが付属しています。ドン グルがコンピュータにしっかり接続されていることを確認してください。



2.3 GV-DispatchServerウィンドウ

y y 0 82	🛃 💁 🔟					
Address Book	Server Type	Server Name	Server IP	Server Port	Client	Statu
01 02						

团 2-1

GV-DispatchServer ウィンドウのコントロール:

番号	名前	説明
1	サーバーの起動	GV-DispatchServer を起動します。
2	サーバーの停止	GV-DispatchServer を停止します。
3	設定	GV-DispatchServerの各種設定をします。
1	マカウント	GV-Center V2 サーバーと加入者のアカウントを追
4	7.7.7.7	加、編集、削除します。
5	通報設定	警告状況と通報方法を設定します。
6	クエリーGV-Center V2	イベント昭今たドウレキオ
0	イベントの起動/停止	イベント照去を相定しより。
7	リアルタイム GV-Center	GV-Center V2 サーバーで発生しているリアルタイムイ
/	V2 イベント表示	ベントを表示します。
8	終了	GV-DispatchServer ウィンドウを閉じます。
		GV-Center V2 サーバーのステータスを表示します。チ
0	GV-Center V2 ステータ	ェックボックスがオンになっている場合、Center V2 から
9	ス	加入者に情報が配信されることを示します。チェックを
		外すと、配信サービスを無効にします。
10		表示一覧はすべての作成されたグループフォルダ、サー
	ション キー キー ション	バー、加入者を表示します。任意のオンライン加入者
10	20	を右クリックして、加入者のアドレス帳とカメラ/オーディ
		オコントロールパネルを呼び出すことができます。

2.4 加入者アカウントを作成する

GV-DispatchServer は最大 50 の GV-Center V2 サーバーと 25,000 の加入者を 同時に処理できます。サービスを開始する前に、GV-DispatchServer に少なくとも 1 つの加入者を作成します。アカウントを作成するには、アカウントボタン(図 2-1④)をクリ ックしてアドレス帳ウィンドウを表示します。

0000000000

Address Book									
🥵 📑 💁 🗾	B		×	ᡷ 👏					
💵 Address Book	^	ID		Name	Telephone (H)	Telephone (O)	Mobile Phone	E-mail	Addres
🛓 💑 Taipei		1		GeoVision		2-87978377		geo@geovision.c	Neihu,
	_	2							
L	~	<							>
Statistics: [Group: 1]	[Serv	er: 0]	[Subs	criber: 2/2	5000]				

🗷 2-2

アドレス帳ウィンドウのツールバー:

番号	名前	説明
1	新規グループの追加	グループフォルダを追加します。
2	新規サーバーの追加	サーバーを追加します。
3	新規加入者の追加	加入者を追加します。
4	加入者アドレス帳閲覧 /編集	加入者のアドレス帳を開いて表示したり編集します。
5	加入者設定	1 つの加入者をハイライトしこのボタンをクリックすると、 ビデオの設定と警告形式を設定できます。
6	加入者スケジュール設 定	加入スケジュールを設定します
7	グループ/サーバー/ 加入者の削除	グループ、サーバーまたは加入者をハイライトし、このボ タンをクリックして削除します。
8	アドレス帳インポート/ エクスポート	アドレス帳をインポートまたはエクスポートします。
9	加入者検索	加入者アカウントを検索します。
10	サーバー検索	サーバーアカウントを検索します。

C GeoUision

加入者アカウントの作成は GV-Center V2 での作成と類似しています。1.4 加入者ア カウントを作成する を参照してください。

注:

- グループの下にサブグループを作成できます。すべてのサブグループは1つのサー バーのみを含めることができます。すべてのサーバーは加入者を500まで含める ことができます。
- 2. 1つのサーバーが作動を停止すると、それ自身の加入者は階層ファイルシステム の同じレベルかそれ以上のレベルの使用可能なサーバーに分散されます。
- 3. サーバーと加入者をグループに配置しない場合、もっとも負荷の少ないサーバー に分散されます。

2.5 GV-DispatchServerを起動する

加入者アカウントが作成された後、GV-DispatchServer はいつでもサービスを提供で きます。ディスパッチウィンドウの**サービス起動**ボタン(図 2-1 ①)をクリックして、サービス を開始します。



2.6 GV-DispatchServerにGV-Center V2 を接続する

以下のステップに従って、GV-Center V2をGV-DispatchServer に接続します。

- 1. GV-DispatchServer のサービスを起動します。
- GV-Center V2 で、お好み設定ボタン(図 1-1 ⑧)をクリックし、システム設定を 選択して詳細ウィンドウを表示し、GV-DispatchServer タブをクリックして次の ウィンドウを表示します。

CenterV2 情報				
位置名	GEOVISION			
✓割り当て IP:	192.168.0.131			
Dispatch Server				
V Dispatch Serv	er 使用			
識別コード:	Taipei			
アドレス:	192.168.0.7			
ポート: 21112 デフォルト				
接続できません				
☑ 接続されるまで再試行。再試行間隔: 10 秒				
このブロパティの変更内容は次回起動時に反映されます。				

🗷 2-3

[DispatchServer] Dispatch Server 使用項目をチェックすると他のサーバーが使用できるようになります。GV-DispatchServer の識別コード、IP アドレス、 ポートを入力します。図 2-8 を参照してください。

[接続できません] 再接続までの間隔を設定して有効にします。

- GV-Center V2 サーバーと加入者を GV-DispatchServer のグループに配置し た場合、図 2-3 のネットワークタブをクリックし、GV-Center V2 の場所名をチェッ クします。場所名は GV-DispatchServer で作成したサーバー名に一致する必 要があります。
- 4. 上の設定の後で、[OK]をクリックし GV-Center V2 を起動します。



2.7 GV-SystemをGV-DispatchServerに接続する

デフォルトで、GV-System は GV-Center V2 に接続するように設定されています。 GV-DispatchServer に接続できるように、GV-System をリセットする必要があります。 以下のステップに従って、GV-System を GV-DispatchServer に接続します。

- GV-System のメイン画面で、ネットワークボタンをクリックし、GV-Center V2 へ 伝送を選択します。[ログイン情報] ダイアログボックスが表示されます。図 1-7 を 参照してください。
- 2. Center IP フィールドに、GV-DispatchServer の IP アドレスを入力します。
- GV-DispatchServer で作成された有効なユーザーID とパスワードを入力します。
- ポート番号を5547 (GV-Center V2 ポート)から 21112 (GV-DispatchServer ポート)へ変更します。
- 5. **[OK]** ボタンをクリックします。 [GV-Center V2 への接続]ダイアログ ボックスが 表示されます。
- 6. [接続]ボタンをクリックし、GV-DispatchServerへの接続を有効にします。

注: GV-Center V2 のログイン情報を変更したい場合、[GV-Center V2 への接続]ダイアログボックスで、[変更]を選択します。



2.8 イベント照会

この機能では、GV-Center V2 サーバーに照会を配置することによって目的のイベント を探し出すことができます。**クエリーGV-Center V2 イベントの起動/停止**ボタン(図 2-1 ⑥)をクリックして次のダイアログボックスを表示します。目的の検索項目(タイプ、ID、日 付と時刻)をチェックし、検索状態を設定します。[OK] をクリックして照会結果を表示 します。

€ Center V2イベント検索	×
~ 検索状態─────	
マタイプ	
୬ステム 💌	
DI	
pc01	
日付	
2005/03/15	
☑ 時刻	
00:00:00 🗢 ~ 23:59:59 📚	
OK キャンセル	

团 2-4

GV-Center V2 サーバーのファイル共有が有効になっているとき、検索機能はリモート 再生をサポートします。ビデオ添付ファイルで見つかったイベントをダブルクリックすると、 GV-DispatchServer で再生できます。



2.9 イベントリスト

この機能により、GV-Center V2 サーバーで発生したリアルタイムイベントを表示できま す。アプリケーションの場合、**リアルタイム GV-Center V2 イベントを有効にする**オプショ ンが有効になっていることを確認してください。図 2-8 を参照してください。次に、ツール バーの**リアルタイム GV-Center V2 イベント表示**ボタン(図 2-1 ⑦)をクリックすると、次 のウィンドウが表示されます。

*177#34/LCenterV24ペント							
P	0	ID	タイプ	メッセージ	受信時刻	開始的自己	<u>^</u>
		pc01	60.03	カメラ 1 動作検知	2005/03/15 18:12:25	2005/03/15 18:12:23	
		pc01	6017	カメラ 2 動作検知	2005/03/15 18:12:31	2005/03/15 18:12:29	
		pc01	動作	カメラ 7 動作検知	2005/03/15 18:12:33	2005/03/15 18:12:32	
		pc01	40 Fi	カメラ 4 動作検知	2005/03/15 18:12:39	2005/03/15 18:12:37	
		pc01	MOT	カメラ 3 動作検知	2005/03/15 18:12:48	2005/03/15 18:12:47	
		pc01	8017	カメラ8動作夜知	2005/03/15 18:12:50	2005/03/15 18:12:49	
		pc01	2011	カメラ 1 の時間ノア1か。[547]	2005/03/15 18:12:53	2005/03/15 18:12:51	
		pc01	添付	カメラ 3 の録画ファイル。[5イブ]	2005/03/15 18:12:57	2005/03/15 18:12:55	
		pc01	添付	カメラ 4 の録画ファイル。[ライブ]	2005/03/15 18:12:57	2005/03/15 18:12:55	
		pc01	添付	カメラ 5 の録画ファイル。[ライブ]	2005/03/15 18:12:50	2005/03/15 18:12:56	

図 2-5

リアルタイム GV-Center V2 イベントウィンドウのコントロール:

- GV-Center V2 サーバーのファイル共有が有効になっているとき、ウィンドウはリモ ート再生をサポートします。ビデオ添付ファイルのイベントをダブルクリックすると、 GV-DispatchServerで再生できます。
- 後で参照するために、イベントにフラグを立てることができます。フラグの列をクリック してイベントにフラグを立てます。フラグアイコンをクリックしてそれを削除します。



GV-Center V2 のタイプとメッセージのリストが表示されます:

動作 カメラ xx モーション検知。 トリガー I/O モジュール xx 作動検出、I/O モジュール xx 作動復帰、カメラ xx の 画像 (x-インプット x モジュール) カメラ xx 画像ロス、モジュール xx I/O 異常、ネットワーク接続が切断さ れました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールでき ません、接続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュ ール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーへログイン失敗、ショートメッ セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 アラーム ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報 メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全力xう録画停止、全力xう録画開始)/(O モータリング開始 /(フケジョ)	タイプ	メッセージ
トリガー I/O モジュール xx 作動検出、I/O モジュール xx 作動復帰、カメラ xx の 画像(x-インプット x モジュール) カメラ xx 画像ロス、モジュール xx I/O 異常、ネットワーク接続が切断されました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールできません、技続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーへログイン失敗、ショートメッセージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 アラーム ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報メッセージ。 添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx, 非録画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画開始」/(クモータリング開始 /(スケジュー)	動作	カメラ xx モーション検知。
 アウルー 画像(x-インプット x モジュール) カメラ xx 画像ロス、モジュール xx I/O 異常、ネットワーク接続が切断されました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールできません、技続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッセージ送信失敗、SMS サーバーイフライン。 アラーム ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POSの警報メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全力 x う録画停止、全力 x う録画 開始) /(O 手 ついが間始) /(スケジュー) 	L 11+1	I/Oモジュール xx 作動検出、I/Oモジュール xx 作動復帰、カメラ xxの
カメラ xx 画像ロス、モジュール xx I/O 異常、ネットワーク接続が切断さ れました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールでき ません、接続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュ ール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッ セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報 メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(O 手 ついが間始)/(スケジュ	FUN-	画像(x-インプット x モジュール)
おました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールできません、接続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッセージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 アラーム アラーム ボイスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報メッセージ。 添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(クモータリング間始)/(スケジュー)		カメラ xx 画像ロス、モジュール xx I/O 異常、ネットワーク接続が切断さ
 接続 ません、接続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュ ール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッ セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POSの警報 メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(クモータリング開始)/(スケジュー) 		れました、(クライアント xx)の接続が異常です、カメラをコントロールでき
ール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッ セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報 メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(OF=ないが問始)/(スケジュ	接続	ません、接続を確立できませんでした、カメラ xx ビデオ信号復帰、モジュ
セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。 ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラxx 不審物検出、カメラxx 重要物移動検出; POS の警報 メッセージ。 添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画傳作、全カメラ録画開始)/(〇王=々い,/グ開始、/(スケジュ		ール xx は稼動状態に復帰、SMS サーバーヘログイン失敗、ショートメッ
アラーム ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラxx 不審物検出、カメラxx 重要物移動検出; POSの警報 メッセージ。 添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(のモータリング開始)/(スケジュ		セージ送信失敗、SMS サーバーオフライン。
 アラーム 存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者 発見、カメラ xx 不審物検出、カメラ xx 重要物移動検出; POS の警報 メッセージ。 添付ファイル カメラ xx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 面: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(スケジュール 		ディスクがいっぱいです、録画用の空き容量がありません、イベントログ保
 発見、カメラxx 不審物検出、カメラxx 重要物移動検出; POSの警報 メッセージ。 添付ファイル カメラxx の録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止、全カメラ録画開始)/(スケジュール録画をして、 	75-1	存領域不足、予想外エラー発生。(エラーコード: 1 または 2)、侵入者
メッセージ。 添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止 全カメラ録画開始 //〇王 ⁻ 々いング開始 //(スケジュ))-Δ	発見、カメラxx不審物検出、カメラxx重要物移動検出; POSの警報
添付ファイル カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。 リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止 全カメラ録画開始 //Oモニタリング開始 /(スケジュ)		メッセージ。
リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録 画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止 全カメラ録画開始 1/0 モニタリング開始 /(スケジュ	添付ファイル	カメラxxの録画ファイル。[ライブ、添付ファイル、またはオフライン、手動]。
画: xx)/(スケジュール録画モード)、 全カメラ録画停止 全カメラ録画開始 1/0モニタリング開始 /(スケジュ		リサイクル開始、イベントログリサイクル、カメラ録画開始(録画: xx、非録
全力メー5録画停止、全力メー5録画開始、1/0 モーなリンノヷ開始_/(スケジュ		画: xx)/(スケジュール録画モード)、
		全カメラ録画停止、全カメラ録画開始、I/Oモニタリング開始。/(スケジュ
システム ール録画モード)、I/O モニタリング停止。/(スケジュール録画モード); ス	システム	ール録画モード)、I/O モニタリング停止。/(スケジュール録画モード); ス
ケジュール監視開始; スケジュール監視停止。すべてのモニタリング停		ケジュール監視開始; スケジュール監視停止。すべてのモニタリング停
止;接続セッション確立失敗。タイムアウト; 接続セッション確立される前		止;接続セッション確立失敗。タイムアウト; 接続セッション確立される前
に異常ログアウト		に異常ログアウト

注: エラーコード1はコーデックエラーを示しています。エラーコード2は、ユーザーがHD 障害またはユーザー権限によりデータを書き込んだり録画できないことを示しています。

C GeoUision

フラグの色

さまざまなイベントを識別するため、カラフルなフラグをご用意しています。このようなフラグ は、リアルタイム GV-Center V2 イベント表示ウィンドウを参照するときや、必要なイベン トを検索するときにフィルター機能を利用する際に、とても便利です。

マ 日 D 947 メッセージ マ 2075 1 2,72.4 Step U/O Monitorius マ 2075 9,72.4 Step U/O Monitorius マ 2075 9,72.4 Step U/O Monitorius マ 2075 9,72.4 Step U/O Monitorius マ 2078 1.0% Hodubi 1 Equit 1.Trisser マ 2078 1.0% Hodubi 1 Equit 3.Trisser マ 2078 1.0% Hodubi 1 Equit 3.Trisser マ 2078 1.0% Camera 2. Video Lost マ 2073 総数 Camera 3. Video Lost ジェ 1.0% Camera 4.Vidoo Lost 総式 Camera 4.Vidoo Lost	3代目4日日 2007/07/07 1727/6 2007/07/07 1727/6 2007/07/07 1737/6 2007/07/07 1737/6 2007/07/07 1737/6 2007/07/07 1737/6 2007/07/07 1737/6 2007/07/1737/6 2007/07/1737/6 2007/07/1737/6	間知道中部語 2015/05/11 1922-43 2015/05/11 1932-43 2015/05/11 2014 2015/05/11 2014 2015/05/11 2014	I

团 2-6

この機能は GV-Center V2 の機能と同じです。詳細は、1.10 フラグの色 をご参照く ださい。



2.10 加入者スケジュール

GV-DispatchServer オペレータは加入者ステータスをモニターするスケジュールを作成 します。加入者が設定された時間に GV-DispatchServer にログインされないとき、オ ペレータと加入者に通知が送信されます。

- スケジュールをセットアップするには、1.8 加入者スケジュールを参照してください。
- 加入者が時間通りに GV-DispatchServer にログインされないとき、次のメッセージがイベントリストに表示されます。サービス時間が開始しました。加入者のログインを待機中です。

サービス時間の間に加入者が突然ログアウトすると、次のメッセージが表示されま す。接続セッションが確立される前に、異常ログアウト。

 SMS と電子メールにより加入者に通知するには、2.14 SMS 警告 および 2.15 電子メール警告 を参照してください。

2.11 ライブ表示

加入者からのライブ映像を表示させることができます。ライブ表示にアクセスするには、ウ ィンドウのツリービューからオンライン加入者を選択して右クリックし、Camera/Audio Control (カメラ/音声コントロール)を選択します。ライブ表示画面の詳細については、 4.6 ライブ表示を参照してください。

ライブビデオの色合いを改善し、明度や彩度豊かなイメージにすることができます。メニュ ーバーの設定をクリックして DirectDraw モードを選択し、カラフルモード使用を選択し た後、このモードが有効になるように GV-DispatchServer を再起動します。任意のオ ンライン加入者を右クリックしてカメラ/音声 コントロールを選択し、画質が改善された ライブビデオを表示します。



2.12 ログブラウザ

次の2つのログブラウザにより、GV-DispatchServerとGV-Center V2サーバーのイベントを容易に探し出すことができます。

ディスパッチログブラウザ

ブラウザにより、GV-DispatchServer のシステムステータス、GV-Center V2 サーバー のログイン/ログアウトステータスを表示、または検索することができます。ビューメニューか ら**ディスパッチログ**を選択し、次のログブラウザを表示します。ログブラウザの詳細について は、1.11 ベントログブラウザ を参照してください。

■ E-¥Dispatch Server¥Le ファイル ウール ピュー	g¥Dispatch20070707.m	db - DispatchLog 参照		
🗎 🔁 📍 🖗	4 🍦 🖸			
受信時列	アプリケーションタイプ	ID	ステータス	メッセージ
2007/07/07 171513 2007/07/07 171549 2007/07/07 171549 2007/07/07 171549 2007/07/07 171522 2007/07/07 171649 2007/07/07 171649 2007/07/07 171654 2007/07/07 172025 2007/07/07 172025 2007/07/07 172025 2007/07/07 172025 2007/07/07 172025	Dispatch Server Dispatch Server Center V2 15-15 Center V2 15-15 Dispatch Server Dispatch Server Dispatch Server Center V2 15-15 Center V2 15-15	GEOVESION GEOVESION TESTTIQ TESTTIQ GEOVESION GEOVESION TESTTIQ TESTTIQ TESTTIQ TESTTIQ TESTTIQ GEOVESION GEOVESION GEOVESION 1 1	アオケント シンラム ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト ログイン(05)アウト	
孝儀完了			金(心)	07.15 NUM



ステータスとメッセージのリストが表示されます:

ステータス	メッセージ
システム	GV-DispatchServer の起動、GV-DispatchServer を起動できま せんでした、GV-DispatchServer の停止、KeyPro が見つかりませ んでした、GV-DispatchServer のリサイクル開始、GV-Center V2 イベントログのリサイクル開始。
ログイン/ログア ウト	GV-Center V2 サーバー(IP:CS_IP)がGV-DispatchServer に接 続します、GV-Center V2 サーバー(IP:CS_IP) が GV-DispatchServer から切断されます、GV-Center V2 サーバー (IP:CS_IP) がGV-DispatchServer から異常切断されました、 GV-Center V2 クライアントログイン、GV-Center V2 クライアントログ アウト



	GV-Center V2サーバー(IP:CS_IP)がGV-DispatchServer によ り切断されます、GV-Center V2 サーバーが(CS_old_IP)から
接続	(CS_new_IP)に IP を変更します; GV-Center V2 サーバー
	(IP:CS_IP)が別の GV-DispatchServer(DS_IP:DS_Port)に転
	送されます。
	GV-Center V2 サーバー[CS_Name]は有効です、; GV-Center
1761-10	V2 サーバー[CS_Name]は無効です。
	ID: login_ID は[CS_Name] (IP:CS_IP)にディスパッチされます;
	無効なログイン ID; 無効なログインパスワード、このアカウントはすで
ディスパッチ	にログインされています、GV-Center V2 クライアント用のオンラインサ
	ーバーはありません、すべてのオンラインGV-Center V2サーバーは最
	大限のサービスを提供します。

イベントログブラウザ

このブラウザにより、GV-Center V2 サーバーからリアルタイムイベントを表示したり探し 出すことができます。ビューメニューのイベントログを選択し、イベントログブラウザを表示 します。ログブラウザの詳細については、1.11 イベントログプラウザ を参照してください。



2.13 システム設定

GV-DispatchServerを設定するには、ツールバーの設定ボタン(図 2-1③)をクリックして次のダイアログボックスを表示します。

f Dispatch Server 設定 🛛 🔀				
ネットワーク設定				
サーバポート 21112 デフォルト 🕟 🧿 グループ優先				
記動後にサーバーを自動起動 バランス優先				
□自動フェイルオーバー有効 設定。				
- ว ี-イスパッチログ				
✔保持日数 30 ! 空き容量: 15.15 GB ?				
ログパス C1Dispatch Server/Log\				
- CenterV2イベントログ				
✓リアルタイムCenterV2イベントを有効にする				
▽保持日数 30 県 空ぎ容量: 15.15 GB				
ログパス C:\Dispatch Server\CenterV2Log\				
🧭 🔍 ປປປາຊາຍເຊັ 🗓				
CenterV2 識別設定				
□ 未確認 CenterV2 サーバーのログインを許可する				
□ IPデバイス用の加入者、ポートを確認してからログインして下さい: 5551 デフォルト				
<u> </u>				

🗷 2-8

[ネットワーク設定]

- サーバポート: ポートは加入者(図 1-7)とGV-Center V2の GV-DispatchServer ポート(図 2-3)の Center Port に一致する必要があります(3 つのポートは互いに一致する必要があります)。または、ポート設定をデフォ ルトのままにしておきます。
- 起動後にサーバーを自動起動: プログラムが起動するときに、ディスパッチサービスを自動的に起動します。
- 自動フェイルオーバー有効: 稼働している GV-DispatchServer が故障すると GV-Center V2 サーバーを別の GV-DispatchServer が処理を引き継ぎます。 この設定を有効にすると、別の GV-DispatchServer の IP アドレスとポートを入 力するように求められます。
 詳細については、2.15 / バックアップサーバーを参照してください。

[クライアント分配設定]

- グループ優先: 割り当てられたグループとサーバーに従って、加入者を GV-Center V2 に分散します。
- バランス優先: 加入者を加入者の少ない GV-Center V2 サーバーヘランダム に分散します。

[ディスパッチログ]

- 保持日数: ディスパッチ ログを保存する日数を指定するには、このオプションを 選択します。指定しない場合、このオプションをオフにして、リサイクル開始または 保存領域がいっぱいになるまでログが保存されるようにします。
- ログパス: ログパス項目右側のボタンをクリックしてストレージパスを割り当てます。

[Center V2 イベントログ]

- リアルタイム GV-Center V2 イベントを有効にする: GV-Center V2 サーバー からもたらされたリアルタイムのイベントメッセージを許可します。
- 保存日数: GV-Center V2 イベントログを保存する日数を指定するには、この オブションを選択します。指定しない場合、このオプションをオフにして、リサイクル 開始または保存領域がいっぱいになるまでログが保存されるようにします。
- ログパス: ログパス項目右側ボタンをクリックしてストレージパスを割り当てます。

C GeoUision

[リサイクルログ] 格納スペースが 500MB 以下になると、もっとも古い日付のファイルを 削除します。

[Center V2 識別設定]

- 識別コード: 識別コードは権限のないインターネットアクセスから
 GV-DispatchServer を保護します。GV-DispatchServer にログインするには
 GV-Center V2 が必要となります。
- 未確認 GV-Center V2 サーバーのログインを許可する: GV-Center V2 が 識別コードを入力しなくても GV-DispatchServer へのアクセスを許可します。
- ビデオサーバから接続するために有効なポート番号: GV-ビデオサーバー、
 GV-IP カメラ、および GV コンパクト DVR への接続を有効にします。 デフォルトポートは 5551 ですが、GV IP デバイス上で GV-Center V2 ポートに対応するように変更できます。
 詳細については、GV-ビデオサーバーユーザーマニュアル、GV-IP カメラユーザーマニュアル、または GV コンパクト DVR ユーザーマニュアル を参照してください。



2.14 SMS警告

この機能は、加入者がスケジュールされた時間にログインされないとき、SMS メッセージ を加入者に自動的に送信します。この場合、加入者のアドレス帳にそれぞれの加入者 の携帯電話番号を必ず入力してください(図 2-2)。

SMS サーバーをセットアップするには、設定メニューの SMS 設定を選択します。詳細に ついては、1.15 SMS 警告 を参照してください。

警告状況を設定して SMS メッセージを送信するには、**ツールバーの通報設定**ボタン (図 2-1 ⑤)をクリックして[通報設定]ダイアログボックスを表示します。セットアップの詳 細については、1.13 通知設定 を参照してください。

2.15 電子メール通報

この機能は、加入者が設定された時間にログインされないとき、電子メールを加入者に 自動的に送信します。この場合、加入者のアドレス帳にそれぞれの加入者の電子メー ルアドレスを必ず入力してください(図 2-2)。

メールボックスをセットアップするには、設定メニューの電子メール設定を選択します。詳 細については、1.16 電子メール警告 を参照してください。

警告状況を設定して電子メールを送信するには、**ツールバーの通報設定**ボタン(図 2-1 ⑤)をクリックして[通報設定]ダイアログボックスを表示します。セットアップの詳細に ついては、1.13 通知設定 を参照してください。



2.16 バックアップサーバー(自動冗長化)

メインサーバーの障害に備えて、バックアップサーバーを2つまで設定することが可能です。 メインサーバーに障害が発生した場合、バックアップサーバーが加入者との接続を引き 継ぐため、継続的なサービスを確保することができます。

- 加入者アカウントをメインサーバーからバックアップサーバーにインポートするには、 アドレス帳ツールバー上のアドレス帳インポート/エクスポートボタン(図 2-2 ⑧) をクリックし、インポートを選択してアドレス帳のデータを取り込みます。
- GV-DispatchServer ウィンドウで、サーバー設定ボタンをクリックします(図 2-1 ③)。GV-DispatchServer 設定ダイアログボックス(図 2-8 参照)が表示されます。
- 自動冗長化 有効機能にチェックを入れます。自動冗長化 有効ダイアログボッ クスが表示されます。

œĝ	自動冗長化 有効			
#	サーバーIP	接続ポート	ビデオサーバ	
	追加 編集 削除	ОК	キャンセル	
	元長化の為の設定。このサーバーが停止した場合の回避先とし て、他の CenterV2 サーバーを設定できます。			

团 2-9

- 追加ボタンをクリックします。設定ダイアログボックス(図 2-10 参照)が表示されます。
- バックアップサーバーのIPアドレスを入力します。必要に応じて、デフォルトのポート 設定を変更します。
- GV-Center V2 識別設定に一致する識別コードを入力します。情報に一貫性 がない場合、バックアップサーバーへの接続を確立できません。





🗷 2-10

注: メインサーバーのサービスが復帰できる状態になったとき、バックアップサーバーとの接続を終了する必要があります。この終了によって、接続はもとのメインサーバーとの接続に戻ることができます。



第3章 GV-VSM(Vital Sign Monitor)

GV-VSM(は複数の GV-System を管理する中央監視室に最適なソリューションです。 GV-Systemで警告すべきイベントが発生したとき、GV-VSM は警告の内容をテキスト メッセージや音声アラーム・出力接点に接続したデバイスによる発報・電子メールによる 送信などにより、管理者へ警告状態であることを通報し、迅速な対応を促します。



3.1 システム要件

GV-VSM をインストール前に、ご利用予定の PC は次の最低条件を満たしていること を確認してください。

標準バージョン

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista	
CPU	Pentium Dual-Core 2.4 GHz		
メモリ	2 × 256 MB デュアルチャンネル 2 × 512 MB デュアルチャンネル		
ハードディスク	GV-VSM(標準バージョン)を導入するには 1GB 以上のスペースが必須		
	で す		
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650		
ネットワーク	9.0c		

拡張バージョン(100 個以上の DVR 加入者に接続する場合)

OS	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista
CPU	Core 2 Duo, 2.4 GHz / 加入者数 300 以上 Core 2 Quad 2.6GHz	
メモリ	2 × 1 GB デュアルチャンネル	
ハードディスク	GV-VSM(拡張バージョン)を導入するには 1GB 以上のスペースが必要	
	です	
VGA	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650	
ネットワーク	9.0c	

注:現在、64 ビット Windows OS はサポートしていません。

ダウンロードの品質を確実にするため、複数の GV システムが GV-VSM に接続されている場合の推奨帯域は以下のリストをご参照下さい。

加入者数	推奨帯域
100	512 Kbps
500	2 Mbps
1000	4 Mbps

3.2 GV-VSMのインストール

- 1. CMS ソフトウェア CD をコンピュータに挿入します。セットアップメニューが自動起動 します。
- 2. V 8.3.2.0 集中監視システムのインストールを選択します。
- 3. GeoVision GV-GV-VSM システムをクリックし、画面の指示に従います。

注: GV-VSM アプリケーションには USB ドングルが付属しています。ドングルがコンピュータにしっかり接続されていることを確認してください。



3.3 GV-VSM ウィンドウ



团 3-1

番号	名前	説明
1	サービス開始/停止	GV-VSM サービスを開始または停止します。
2	アドレス帳	加入者アカウントを追加、削除、変更します。
3	加入者リスト表示/ 非表示	加入者リストの状態を表示/非表示にします。
4	イベントログ	イベントログブラウザを起動します。
5	接点出力	出力デバイスを手動でアクティブにして、GV-VSM オペレ ータに警告を出します。

GV-VSM ウィンドウの機能:
3 GV-VSM

6	加入者情報	加入者の記録容量とモニタリング情報を表示します。
7	加入者 ID	IDを入力して詳細な検索を行います。
8	加入者アドレス帳表示	IDを入力し、加入者のアドレス帳を表示します。
9	加入者状態表示	ID を入力し、加入者の状態を表示します。
40	雨フィードに	電子メールを加入者アカウントに登録されたアドレス宛に
10	電士メール送信	送信します。
11	ショートメッセージ送信	SMS を加入者に送信します。
12	フラグ	後で参照できるようにイベントにフラグを立てます。
13	クリップボード	アラームレポートダイアログボックスを表示します。
14	ID	加入者 ID を表示します。
45		システム、接続、ログイン/ログアウト、動作、トリガー、アラ
15	917	ームなどのイベントタイプを表示します。
16	メッセージ	各イベントタイプに関連付けられた情報を表示します。
47	メッセージ時刻	GV-VSM がイベントメッセージを受信した GV-VSM 時刻
17		を表示します。
10		加入者がイベントメッセージから送信した時刻を表示しま
10	用炬吁剡	す。
		作成されたすべてのグループと加入者を表示します。加入
		者を右クリックすると、本項目 8、9、10、11 番を選択する
19	加入者リスト	ことができます。
		隣のインジケータは、全体の加入者数と現在のオンライン
		加入者数を示します。
		イベントは次のカテゴリで保存できます。 システム、動作、
		トリガー、接続、通報、ログイン/ログアウト、Wiegand 情
20	イベントカテゴリ	報、デバイスが見つかりません および オフラインイベント 。
		イベントを並べ替えるには、メニューバーの ビュー をクリックし
		て お気に入りのイベント を選択します。
21	イベントリスト	発生したイベントのリストを表示します。

GeoUision

タイプとメッセージのリストは、GV-VSM に表示されます。

タイプ	メッセージ
動作	xx 動作検知。
トリガー	I/O モジュール xxーインプット xx 作動検知。I/O モジュール xx ーイ ンプット xx 作動復帰。
接続	カメラ xx ビデオ信号異常; カメラ xx ビデオ信号復帰。; xx モジュー ル異常; I/O モジュール xx は稼働状態に復帰。
録画用の空き容量がありません、ネットワーク接続が切割 た、監視システム終了、カメラ録画開始(録画: xx、非録 ビデオ保存日数(XX)が設定された保存期間[XX 日]より ました、スケジュール監視開始/停止、予想外エラー発生(ド:1または2);侵入者発見:重要物移動検出;不審 POSの通報メッセージ;撮影位置変化; グループ検知:拡張重要物移動検出;拡張不審物検	
ログイン/ログアウト	一般ユーザログイン、一般ユーザログアウト
システム	サービスの開始/停止、サービス開始失敗 、全カメラ録画停止、全カメラ録画開始、I/O モニタリング開始、I/O モニタリング停止、加入者セッションが確立していません。接続セッシ ョン確立失敗。タイムアウト: 接続セッション確立される前に異常ロ グアウト: サービス時間が開始しました。加入者のログインを待機中です:接続 セッション確立前のログアウト; USB プロテクトキーが見つかりません; ディスクエラー。

注: エラーコード1はコーデックエラーを示しています。エラーコード2は、ユーザーがHD 障害またはユーザー権限によりデータを書き込んだり録画できないことを示しています。

3.4 加入者アカウントを作成する

GV-VSMは一度に1,000までの加入者を処理できます。GV-VSMサービスを起動す る前に加入者を少なくとも1つ作成する必要があります。加入者を作成するには、以 下のステップに従ってください。

 GV-VSM ウィンドウで、アドレス帳ボタン(図 3-1 ②)をクリックしてアドレス帳ウィン ドウを表示します。

E PFL2M						66	×
94 9+ 🏭 🗙	ءَ 🖒 🥵						
1 PFL2#	10	20	電話番号 0-0	電話番号 (0)	携带電話	電子メール	
■ 2 5h-7	1	Test/VSM01		(02) 87978377			
1000	¢			-			3
孝儀完了					5	ルーブ1 加入者1	

团 3-2

- 2. 新規グループの追加ボタン シー をクリックしてグループフォルダを作成します。
- 新規加入者の追加ボタン をクリックして[加入者アドレス帳]ダイアログボ ックスを表示します。
- ログイン ID とパスワードを入力します(必須)。これらは加入者が GV-VSM にログ インするための ID とパスワードです。図 3-3 を参照してください。
- 5. 残りの入力欄に加入者の連絡先を入力してください(オプション)。
 - この加入者に電子メールで警告を送信する場合、その電子メールアドレス を入力します。電子メールの設定については、本章で後述する電子メール 通報を参照してください。
 - この加入者に SMS 警告を送信する場合、その国コードと携帯電話番号 を入力します。 SMS サーバー設定については、本章で後述する SMS 警 告 を参照してください。
- [OK] をクリックします。グループフォルダに新規加入者が追加されます。
 GV-VSM ウィンドウに戻ると、メッセージが表示されます。xxx 加入者追加。



3.5 GV-VSMを起動する

加入者アカウントが作成された後、GV-VSM はいつでもサービスを提供できます。 GV-VSM ウィンドウのサービス開始/停止ボタン(図 3-1①)をクリックすると、加入者 からの信号を受信します。

3.6 GV-VSMに接続する

GV-System を設定しネットワーク接続にて GV-VSM にアクセスするには、以下のステ ップに従ってください。

ネットワークボタンをクリックし、GV-VSM へ伝送を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

Vital Sign Monitor へ接続				
IP: 127.0.0.1				
ユーザー ID: 1				
パスワード: 💌				
▶ パスワード保存				
「 30 秒後にログイン 「 全イベンド監視」				
後了 高度な設定…				

🗷 3-3

- 2. GV-VSMのIP アドレス、GV-VSMで作成されたユーザーIDとパスワードを入力 します。本章で前述した*加入者アカウントを作成する*を参照してください。
- 接続ボタンをクリックします。 接続先の GV-VSM が起動していることも確認してく ださい。

詳細設定

加入者と GV-VSM 間の通信状態を設定するには、[Vital Sign Monitor へ接続]ダ イアログボックス(図 3-3)の**高度な設定**...ボタンをクリックして[詳細設定]ダイアログボッ クスを表示します。このダイアログボックスには、以下のタブが含まれます: (1)全般、 (2)カメラ、(3)システム情報および (4)I/O デバイス。

[全般]

この設定は GV-System と GV-VSM 間の再試行モードと通信ポートを定義します。

Vital Sign Monitor 詳細設定	×
全般 カメラ レO デバイス システム情報 接続ポート ポート: 2010 デフォルト	
- 再接続設定 - 最大リトライ回動:	
起動 「 Remote ViewLog サーバ記動	
	ОК * #>±ил

团 3-4

[接続ポート] GV-VSM で利用する 通信ポートを設定します。

[再接続設定] 接続が直ちにできない場合、リトライ回数と再試行間隔を設定します。

- 接続されるまで再試行: 接続が確立されるまで、GV-VSMへの接続を何度 も試行します。
- バックグランドでリトライ: バックグラウンドでのリトライを非表示にします。
- RemoteViewLogサーバ起動: 再生のために GV-VSM が録画記録を 読み出すことを許可します。詳細については、3.10 リモート再生 を参照して ください。

GeoUision

[カメラ]

この設定は、GV-VSM に通知するカメラの状態を定義します。これを設定するには、まず図 3-3 で全イベント監視オプションを無効にします。

Vital Sign Monitor 詳細設定		X
全般 カメラ 1/0 デバイス システム情報		
		-
✓ Vital Sign Monitor ヘモニタリング状態を通知する		
Tty51		
ACA 小務生時 Vital Size Monitor A 通報する		
And the set of the origination of the set of	4 65 ikb/11	
ロモーション	1701-01-01-0 緊急モード	
☑侵入者	緊急モード	
☑ 重要物移動検出	緊急モード	
☑ 不審物検出	「緊急モード	
▶ 撮影10直波11	緊急モート 認為す。 に	
■ガ理工業物検出	緊急モード	
☑ 拉張攝影環境変化検出	ド ド	
☑ 拡張重要物移動検出	緊急モード	
	OK ++>>t	94

図 3-5

 Vital Sign Monitor へモニタリング状態を通知する: GV-VSM を通じたライ ブモニタリングを有効にする際は、このオプションを選択します。カメラを1 台選 択し、発生の際に GV-VSM に通知したい警告イベントを選択します。指ボタ ンをクリックすると、すべてのカメラに同じ設定を適用できます。

イベントタイプ: 加入者が GV-VSM でこれらの警告イベントを常に通知したい 場合、緊急モードを選択します。加入者が GV-VSM で、インプットがトリガーさ れたときにのみこれらの警告イベントの通知したい場合、通常モードを選択しま す。

注: 通常モードイベントの通知に対してインプットトリガーを設定するには、以下の *I/O* デバイスの[セキュリティサービス] を参照してください。



[システム情報]

Vital Sign Monitor 詳細設定	×
全般 カバラ レO デバイス システム情報 。画像/音声ログ	. 1
▼ 画像/音声ログの保存日数が 30 日を	
下回った場合 Vital Sign Monitor へ通報する	
┌─ストレージ情報	
▶ ストレージ情報の取得を許可する	
▼ Vital Sign Monitor (こ空き容量を通報する	
)通報問問語: 2 。 B時間	
✓ 空き容量が 1 GB を下回った場合、Vital Sign Monitor へ通知	
☞ 空き容量が不足した場合、Vital Sign Monitor へ通知	
- - その他	
└── Vital Sign Monitor の時間と同期する	
🦵 Vital Sign Monitor (こ POS 損害防止メッセージを送信します	
☞ Multicam へのログインが失敗した場合、Vital Sign Monitor へ通知	
🔽 USB プロテクトキーが取り外された際に、Vital Sign Monitor へ通知	

🗷 3-6

[画像/音声ログ] ビデオ/オーディオログの期間が指定された日数より少ないとき、 GV-VSM に通知します。

[ストレージ情報]

- ストレージ情報の取得を許可する: GV-VSM による加入者のストレージ情報 取得を許可します。
- Vital Sign Monitor に空き容量を通報する: 加入者の保存領域の空き容量を報告します。
- 空き容量が xx GBを下回った場合、Vital Sign Monitor へ通知: 加入者の保存領域が不十分なとき、GV-VSM に通知させることができます。スペースは 最低 1GB 必要です。
- 空き容量が不足した場合、Vital Sign Monitor へ通知: 加入者の保存領 域が十分でない場合に、GV-VSM に通知させることができます。

C GeoUision

[その他]

- Vital Sign Monitor の時間と同期する: Vital Sign Monitor の時刻と同期 させることができます。
- Vital Sign Monitor に POS 損害防止メッセージを送信します: 異常な POS トランザクションが発生した場合、GV-VSM に通知します。
- Multicam へのログインが失敗した場合、Vital Sign Monitor へ通知: GV システムユーザーが間違った ID やパスワードを入力してログインに失敗した場合、 GV-VSM に通知する。
- USB プロテクトキーが取り外された際に、Vital Sign Monitor へ通知: USB 保護キーが GV システムから取り除かれた場合、GV-VSM に通知する。

注: GV-VSM(Vital Sign Monitor)での時間同期オプションがチェックされている とき、GV-VSM が起動すると直ちに時間同期の機能がアクティブになり、12 時間ご とに再びアクティブになります。

[1/0 デバイス]

GV-VSM に通知する I/O 状態を設定します。これらを設定するには、まず図 3-3 で全 イベント監視オプションを無効にします。

Vital Sign Monitor 詳編	設定	×				
全般 カメラ システム情報	報 ゼロ デバイス	1				
🔽 Vital Sign Monitor (2	▼ Vital Sign Monitor による I/O 操作の有効・無効					
Vital Sign Monitor 🔨	モニタリング状態を通知する					
モジュール 1	VO 検知時 Vital Sign Monitor へ通報					
	イベントタイプ: 緊急モード 💌					
	▼ アウトプットモジュール: Mod. 1 ▼ Pin. 1 ▼] [
	イベントタイプ: 緊急モード 👤					
	✓ Vital Sign Monitor からの出力操作を許可する					
- セキュリティサービス						
 入力信号非持続型制 	御モード					
▶ 指定したビンがトリナ	げーされた場合に監視起動: Mod. 1 ▼ Pin. 1	-				
☑ 指定したピンがトリナ	げーされた場合に監視停止: Mod. 1 ▼ Pin. 1	-				
 入力信号持続型制御 						
L 指定したピンがONC 指定したピンがOFF	17時音~監視停止。 Mod.1 ▼ Pin.1 ▼					
	OK ++>t	zıl				

図 3-7

[**I/O デバイス**] I/O デバイスがトリガーされたときに GV-VSM に通知します。**矢印**ボタ ンを使用してそれぞれの I/O デバイスを設定するか、指ボタンをクリックしてすべての I/O デバイスに適用します。

 Vital Sign Monitor による I/O 操作の有効・無効: GV-VSM がモニタリング を中断せずに、加入者のサイトですべての I/O デバイスを手動で有効/無効でき るようにします。 例えば、アラームが加入者のサイトでトリガーされたとき、GV-VSM オペレータは サイトに到達する前にリモートで無効にできます。一方、GV-System は引き続 き監視を続けます。

C GeoUision

- VO 検知時 Vital Sign Monitor へ通報: 選択されたインプットが検知された とき GV-VSM に通知します。
 イベントタイプ: GV-VSM ヘ、アラーム入力の通知を常に行う場合、緊急モー ドを選択します。GV-VSM で I/O 有効設定を行った接点に対してのみアラーム 入力の通知を行う場合、通常モードを選択します。
 右矢印ボタン: アラーム入力を GV-VSM に通知する遅延時間を設定します。
 この機能は、イベントタイプに通常モードが選択されているときにのみ選択できま す。
 - 運延終了: このインプットに対して GV-VSM 側が有効としたときに、 GV-System 側の I/O 検知の開始を遅延させます。設定した期間このイ ンプットに関して検知の通報を行わなくなります。遅延終了の期間が終 了すると、このインプットは通常の検知動作を開始します。この機能は、 業務終了時など出ロ/入りロドアのアラームなどの検知を遅らせたい場 合などにご利用いただけます。。
 - 運延開始: このインプットに対して GV-VSM 側が有効としたときに、 GV-System 側の I/O 検知の通報を遅延させます。この機能は加入者 が施設に入るまでの時間間隔を設定します。設定した期間このインプット に関して検知の通報を行わなくなります。遅延開始の期間内に 警戒 状態を解除しない場合、GV-VSM へ通報します。この機能は、業務開 始時など出口/入りロドアのアラームなどの検知通報を遅らせたい場合に ご利用いただけます。。

アウトプットモジュール: 選択されたインプットモジュールが検知したとき、設定したアウトプットモジュールを有効にします。
 図 3-7 の場合 I/O デバイス(モジュール 1、インプット 1)で検知したとき、アウトプット(モジュール 1、ピン 1)へ出力します。
 イベントタイプ: GV-VSM ヘアウトプットの状態を常に通知する場合、緊急モードを選択します。GV-VSM で有効にしたインプットが検知され、アウトプットの状態を通知する場合、通常モードを選択します。
 右矢印ボタン: 設定したアウトプットモジュールへ出力する遅延時間をします。
 この機能は、通常モードが選択されているときにのみ選択できます。 遅延 終了

と遅延 開始オプションはインプットトリガーで説明したオプションと同様です。



注: 通常モードイベントの通知に対してインプット検知を設定するには、以下の[セ キュリティサービス] を参照してください。

 Vital Sign Monitor からの出力操作を許可する: GV-VSM オペレータが加 入者側にあるアウトプットデバイスを強制的に手動で操作できるようにします。

[セキュリティサービス] 2 つのタイプのアクセスコントロールシステムをサポートします:入 力信号非持続型制御モードと入力信号持続型制御モード。

詳細については、1.5 Center V2への接続の、[I/O デバイス] を参照してください。

インプットステータスを検出する

この機能は、加入者が GV-VSM を通じてライブモニタリングを開始すると、すべてのイン プットの状態の変更を監視するように設計されています。 先に定義した状態 (N/O から N/C または N/C から N/O)の変化によりは、検知状態となります。

[GV-VSM への接続]ダイアログボックスの Web をクリックします(図 3-3 を参照してく ださい)。詳細については、監視システムソフトウェア CD のユーザーマニュアル、第6章、 インプットステータスを検出する を参照してください。



3.7 加入者のモニタリング

加入者ステータスを表示する

加入者のステータスを表示するには、GV-VSMウィンドウで1つのオンライン加入者をハ イライトし、ツールバーで**加入者状態表示**アイコン(図 3-1⑨)をクリックします。 次のウィ ンドウが表示されます。

Subscriber Status	
- 加入者 現在の ID: 1	I/O デバイス - 有効/無効 I/O 接点出力 リセット
ビデオイベト容量 リサイクル・有効 最新のリサイクル時間: (保存日数:1 (保存日数:200 GB (伊用福紙:290 GB (合計容量:371 GB ()	カメラ ✓ ゆ カメラ 1 ✓ ゆ カメラ 2 ✓ ゆ カメラ 3 ✓ ゆ カメラ 1 ○ 位 モジュール 1 ○ 位 アウトフット 1 ○ 位 アウトフット 1
状態	
😂 🦉 通常 🎽 🎉 検知 🍪 ビデオロスト	
😰 モジュールロスト 🛛 モニタリング 🛛 🥯 🙆 ON / OFF	

🗷 3-8

[加入者] 加入者の ID を示します。[...]ボタンをクリックすることで加入者を変更できます。

[ビデオイベント容量] ビデオログとハードディスクスペースの情報を示します。加入者の複数のストレージグループに関する詳細情報を表示するには、[...]ボタンをクリックします。

この場合、加入者側でこの機能を有効にする必要があります。

図 3-6 のストレージ情報の取得を許可するオプションを参照してください。



[状態] アイコンの意味を示します。

[1/0 デバイス]

- 接点出力: このタブを有効にするには、ツリーリストから1つのアウトプットをハイ ライトし、このタブをクリックして加入者サイトでアウトプットを制御します。 この場合、加入者側でこの機能を有効にする必要があります。図3-7の GV-VSMに強制アウトプットを許可するオプションを参照してください。
- 有効/無効 I/O: GV-VSM がモニタリングを中断せずに、加入者のサイトですべての I/O デバイスを有効/無効できるようにします。 この場合、加入者側でこの機能を有効にする必要があります。図 3-7 の GV-VSM に強制アウトプットを許可するオプションを参照してください。

注: この機能は、以下のファームウェアバージョンの GV IP デバイスもサポートしています。
 GV コンパクト DVR: ファームウェア V1.43 以降
 GV-IP カメラ: ファームウェア V1.05 以降
 GV ビデオサーバー: ファームウェア V1.45 以降

ストレージ情報を表示する

GV-VSM ウィンドウで、1 つの加入者のストレージ情報を表示できます。GV-VSM が 多くの加入者をモニタリングしているとき、次のウィンドウは加入者のストレージ情報と監 視状況の概要を示します。

GV-VSM ウィンドウで、加入者情報 ボタン(図 3-1⑥)をクリックして次のウィンドウを表示します。



[監視]

カメラと I/O 監視が加入者側で有効になっているかどうかを示します。

🗢 加入者情報				
ストレージ 監視	ページ1			
⇒ 加入者リスト □ → グリーブ → □ 1 →	1 ▼カメラ監視 ▼I/O監視	Chins つカメラ監視 つ1/0監視	France 力Xう監視 1/O監視	German
	India	Japan Dカメラ監視 DI/O監視	Taiwan DX5監視 I/O監視	TPE カメラ監視 ロノの監視

🗷 3-9

[ストレージ]

加入者側の合計サイズと空き領域を示します。この場合、加入者側でこの機能を有効にする必要があります。図 3-6の[システム情報]を参照してください。

🍲 加入者情報		
ストレージ 監視 → 加入者リスト □ え ヴループ	ページ1 1 1 104 GB 合計:- 空老領域:11 33 GB 合計:- 空老領域:- 2 古領域:-	en 合計:- 空き領域:-
France German India Japan Taiwan	India 合計:- Calipan Taiman 堂老绣裙:- 堂老绣裙:- 堂老绣裙:- 堂老绣裙:-	

🗷 3-10

加入者コントロール

加入者の期限が切れたとき、GV-VSM オペレータは個別加入者に対しサービスを無効にできます。

アドレス帳(図 3-2)で、1つの加入者を右クリックし無効を選択します。加入者を復元 するには、再び右クリックし有効を選択します。

3.8 加入者スケジュール

GV-VSMオペレータは加入者ステータスをモニターするスケジュールを作成します。加入 者が設定された時間に GV-VSM にログインしない場合、オペレータと加入者に対して 通知します。

- スケジュールを設定するには、1.8 加入者スケジュール を参照してください。
- 加入者が時間通りに GV-VSM にログインしない場合、次のメッセージがイベント リストに表示されます。
- サービス時間が開始しました。加入者のログインを待機中です。
 サービス時間の間に加入者が突然ログアウトすると、次のメッセージが表示されます。

接続セッションが確立される前に異常ログアウト。

コンピュータと出力アラームをアクティブにして、SMSと電子メールメッセージが加入者に送信されている間オペレータに通知するには、通知機能を使用します。詳細については、本章で後述する通知設定を参照してください。

3.9 通報レポート編集

各イベントに対して、GV-VSM オペレータは特定の状態を評価するためのレポートを作 成することができます。

この機能は Center V2 の機能と同じです。詳細は、1.9 通報レポート をご参照ください。



3.10 リモート再生

GV-System、GV ビデオサーバー、または GV コンパクト DVR から、再生のための録 画記録を読み出すことができます。

リモートアクセスを利用するには、先に次の機能を有効にしておく必要があります:

- GV-System: 図 3-4 の Remote ViewLogサーバ起動を有効にして、録画 を開始します。
- GV ビデオサーバー、GV コンパクト DVR: ViewLog (録画再生)機能を有効にして、録画を開始します。
- イベントリストで、1つの動作イベントをダブルクリックします。次のウィンドウが表示 されます。

Vital Si	gn Monitor		
٩	ID: Time: Message:	3 6/6/2005 1:04:21 AM Camera2 detected motion	
	E 🐼		<u>o</u> k

🗷 3-11

- 2. 遠隔再生アイコンをクリックします。設定ダイアログボックスが表示されます。
- 表示させたいカメラを選択し、IDとパスワードをに入力して[OK]をクリックします。
 [遠隔再生] ウィンドウが表示されます。
- 遠隔再生ウィンドウでのコントロールに関しては、4.13 インスタント再生 をご参照下さい。

3.11 イベントログブラウザ

イベントログブラウザを起動するには、ツールメニューをクリックしイベントログを選択します。 この機能は Center V2 の機能と同じです。1.11 イベントログブラウザ を参照してください。

本章で前述したイベントログ設定もご参照下さい。



3.12 システム設定

設定メニューをクリックすると以下のオプションが表示されます。(1)システム設定、(2)パ スワード設定、(3)イベントログ設定、(4)通報設定、(5)警告間隔設定。このセクショ ンでは、これらのオプションについて説明します。

システム設定

設定メニューをクリックし、システム設定を選択して次のダイアログボックスを開きます。

システム設定	
スタートアップ	
Windows 起動時に自動稼動	
🥅 Vital Sign Monitor 起動時にサービス自動開始	
🔲 サービス開始時に SMS Server へ自動ログイン	
接続ボート: 5610 デフォルト	
ポート 2: 5609 デフォルト 🕟	
(ポート 2 は GV-IP デバイス用のポートです)	
セキュリティ	
□ ネットワークセキュリティ拡張	
OK キャンセル	

🗷 3-12

[スタートアップ]

- Windows 起動時に自動稼動: Windows 起動時に GV-VSM を自動的に 実行します。
- Vital Sign Monitor 起動時にサービス自動開始: GV-VSM が起動すると きにサービスを自動的に開始します。
- サービス開始時に SMS Server へ自動ログイン: GV-VSM サービスが開始 されるとき SMS サーバーに自動的にログインします。 SMS サーバーの関連情報 を入力するように求められます。

[接続ポート]

- 接続ポート: 通信ポートが加入者の通信ポートに一致するように設定するか、 デフォルト値を使用します。
- ポート 2: GV-Video サーバー、GV-IP カメラ、GV コンパクト DVR への接続に 最適なポートを設定するために、デフォルトポート 5609 を使用するか、または GV-IP デバイスの GV-VSM ポートに一致するように変更します。詳細について は、GV-Video サーバーユーザーマニュアル、GV-IP カメラユーザーマニュアル、ま たは GV コンパクト DVR ユーザーマニュアル を参照してください。

[ネットワークセキュリティ拡張] インターネットセキュリティの強化を有効にします。この 機能が有効になっているとき、7.0以前のバージョンを使用しているすべての加入者は GV-VSM にアクセスできないことにご注意ください。

[矢印ボタン]

接続ポートセクションの矢印ボタンは、ルーターのポートを自動的に設定するための UPnP 機能を提供します。詳細については、監視システムソフトウェア CD の*ユーザーマ ニュアル* の第 8 章、UPnP 設定 を参照してください。

GeoUision

パスワード設定

他人が間違って設定を変更しないように、管理者パスワードを設定できます。設定メニ ューをクリックし、パスワード設定を選択します。

パスワード機能を開始するには、サービスをクリックし、管理者のログアウトを選択します。 ユーザーはモニタリングを開始できますが、設定を変更したりモニタリングを停止すること は許可されません。設定を変更するには、サービスメニューをクリックし、管理者でログイ ンを選択します。

イベントログ設定

設定メニューをクリックし、イベントログ設定を選択して[イベントログ設定]ダイアログボッ クスを表示します。設定は Center V2 の設定と同じです。1.11 イベントログブラウザの イベントログを設定するを参照してください。

3.11 イベントログブラウザ も参照してください。

通報設定

警告状態が発生したとき、GV-VSM は自動的に割り当て済みのコンピュータとアウトプ ット警告をアクティブにし、同時に SMSと電子メールメッセージを加入者に送信してオペ レータに通知します。

この機能を設定するには、ウィンドウメニューの**設定** をクリックし、通報設定 を選択 して次のウィンドウを表示します。設定は Center V2 の設定と同じです。1.13 通報設 定 を参照してください。

3.13 アウトプット警告、3.14 SMS 警告、3.15 電子メール警告 も参照してください。

警告間隔設定

動作検出やビデオロスト警告メッセージの頻度を定義できます。ウィンドウのメニューで Configure (設定)をクリックし、警告間隔を選択すると次のダイアログボックスが表示さ れます。

警告間隔	
─カメラ動作────	
ポスト: 10 秒	
イベント	間隔(分)
📃 カメラ動作	30
🔲 画像ロス	30
	OK キャンセル

🗷 3-13

- ポスト: 動作検出の警告メッセージ受信を、イベントリスト(図 3-1 No.21)上に 赤でハイライト表示する時間の長さを指定します。
- イベントおよび警告間隔: 動作検出またはビデオロスト時にメッセージを表示する時間間隔を指定します。イベントタイプを選択してから間隔欄をクリックして時間を変更します。

注: 2 つのタイプのイベントに対する警告メッセージは、選択しない場合でもイベントリ ストに表示されます。ここで行う設定は、警告メッセージを表示する頻度だけに影響 を与えます。



3.13 アウトプット警告

警告状態が発生したとき、GV-VSM サイトや加入者側に実装されたアウトプットデバイ スをアクティブにできます。

GV-VSMの接点出力を制御する

GV-VSM 側でアウトプットデバイスを設定するには、設定をクリックし、ローカル I/O デバ イスを選択します。現在、アプリケーションのみが GV-IO モジュールをサポートします。セ ットアップの詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアルの第6 章、I/O デバイスをセットアップする を参照してください。

警告状態が発生したときに自動的にアウトプット出力するには、本章で前述した*通報* 設定を参照してください。

アウトプットを手動で操作するには、GV-VSM ウィンドウで接点出力ボタン(図 3-1⑤) をクリックし接点出力を選択してローカルウィンドウ **I/O デバイス**の強制アウトプットウィン ドウを表示します。目的のモジュールを選択し、指ボタンをクリックしてアウトプットをアクテ ィブにします。

加入者の接点出力を制御する

本章で前述した加入者ステータスを表示するを参照してください。

3.14 SMS警告

この機能により、警告状態が発生したとき、SMS メッセージを加入者に送信できます。

SMSサーバーを設定する

SMS メッセージを個別加入者に送信する前に、SMS サーバーを正しく設定する 必要があります。

設定メニューをクリックし、SMS 設定を選択します。セットアップの詳細については、1.15 SMS *警告* を参照してください。

SMSを送信する

SMS サーバーと GV-VSM 間の接続が確立されると、複数の方法で SMS メッセージ を加入者に送信できます。次の選択の場合、GV-VSM ウィンドウを参照してください。

- ショートメッセージ送信ボタン(図 3-1①)をクリックします。これにより、SMS は個別加入者に手動で送信されます。
- イベントリストで、任意のイベントタイプをダブルクリックしてメッセージウィンドウを呼び出し、ショートメッセージ送信アイコンをクリックします。これにより、SMSは個別加入者に手動で送信されます。
- 加入者リスト(図 3-1 (1))で、1つのオンライン加入者を右クリックし、ショートメッセ ージ送信を選択します。これにより、SMS は個別加入者に手動で送信されま す。
- 4. 設定メニューをクリックし、通報設定を選択して通報設定ウィンドウを表示します。 SMS でアラームを送信を選択します。これにより、警告状態が発生した場合、 SMS が加入者に自動的に送信されます。本章で前述した*通知設定*を参照してください。



警告メッセージにIDとカメラ名を挿入する

加入者の ID、カメラ名は、送信時に自動的に SMS メッセージに挿入させることができます。

- ウィンドウメニューの設定をクリックし、通報を選択します。通報設定ダイアログボックスが表示されます。
- 左の列にある警告状態を選択し、SMS でアラームを送信を選択してから、編集 をクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

ショートメッセージサービス 🛛 🗙	
本文内容	
入力された文字数: 0 / 160	
OK キャンセル マクロ >>	

🗷 3-14

メッセージテキストを入力して、マクロをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

ショートメッセージサービス	X
本文内容 Video lost from subscriber ?1 and camera ?2	シンボル テキスト ?1 ID ?2 カメラ名
入力された文字数: 44 / 160	
OK キャンセル マクロ <<	挿入

🗷 3-15

4. テキスト内のIDおよびカメラ名を挿入したい位置にカーソルを置き、右の列から対 応シンボルを選択して、**挿入**をクリックします。

受信した SMS メッセージは、シンボルは本来の情報に置き換えられて表示されます。



3.15 電子メール通報

警告状態が発生したとき、電子メールを加入者に送信できます。

メールボックスを設定する

電子メールを個別の電子メールアカウントに送信する前に、メールボックスを正しく設定 する必要があります。

ウィンドウメニューの設定をクリックし、電子メール設定を選択します。セットアップの詳細 については、1.15 電子メール通報 を参照してください。

電子メールを送信する

電子メール警告を送信する方法は複数あります。

- 電子メールボタン(図 3-1 ⑩)をクリックします。これにより、電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- 加入者リスト(図 3-1 (18))で、1 つのオンライン加入者を右クリックし、電子メール 送信を選択します。これにより、電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- イベントリストで、任意のイベントタイプをダブルクリックしてメッセージウィンドウを呼び出し、電子メールアイコンをクリックします。これにより、電子メールは個別加入者に手動で送信されます。
- 4. 設定メニューをクリックし、通報設定を選択して通報設定ウィンドウを表示します。 電子メール通報送信を選択します。これにより、警告状態が発生した場合、電子メールが加入者に自動的に送信されます。本章で前述した通知設定を参照してください。

警告メッセージにIDとカメラ名を挿入する

加入者の ID、カメラ名は、送信時に自動的に電子メールメッセージに挿入させることが できます。3.14 SMS 警告 を参照してください。

3.16 バックアップサーバー

メイン GV-VSM サーバーの障害に備えて、バックアップサーバーを2つまで設定すること が可能です。メインサーバーに障害が発生した場合、バックアップサーバーが加入者との 接続を引き継ぐため、継続的な監視サービスを確保することができます。

この機能に有効にするには、サービスメニューから自動冗長化 有効(図 3-1 参照)を 選択します。この機能は、Center V2 の機能と同じです。詳細は、1.18 バックアップサ ーバー・冗長化 をご参照ください。



第4章 Control Center

Control Center は CMS(セントラル モニタリング ステーション ソリューション)で、 CMS オペレータは以下の機能を使用することができます。

- クライアント DVR ヘリモートアクセス(*リモート DVR* を参照)
- クライアント DVR のデスクトップにリモートアクセス(*リモートデスクトップ*を参照)
- 複数のDVRから一つの画面に最大96の映像を表示(マトリックス表示を参照)
- クライアント DVR の録画データを遠隔再生(*リモート ViewLog*を参照)
- 複数の DVR の I/O デバイスを管理(I/O 操作/パネルを参照)
- ローカルの Control Center 本体からのモニター8 台とネットワーク上の 4224 台の カメラを含む、最大 44 モニターを監視(*IP マトリックス*を参照してください)
- ビデオ動作検知(VMD システム 参照)
- 簡易再生(*簡易再生*参照)
- ピクチャーインピクチャーとピクチャーアンドピクチャー表示(PIPとPAP 表示 参照)
- パノラマ表示(パノラマ表示 参照)



4.1 システム要件

標準仕様

OS	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista	
CPU	Pentium Dual-Core 2.4 GHz		
RAM	2 × 512 MB デュアルチャンネル		
ハードディスク	1GB 以上のスペースが必要です		
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT / ATI Radeon X1650		
ネットワーク	9.0c		

拡張仕様

Control Center は 4 つのマトリックス実行また 150 以上のチャンネルに接続します。

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003 / Vista	
CPU	Core2 Duo, 2.4 GHz		
RAM	2 × 512 MB デュアルチャンネル 2 × 1 GB デュアルチャンネル		
ハードディスク	1GB 以上のスペースが必要です		
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT x 2 / ATI Radeon X1650 x 2		
ネットワーク	9.0c		

プロフェッショナル仕様

Control Center は 6 つのマトリックス実行し、250 以上のチャンネルに接続します。

os	Windows 2000 / XP	Windows Server 2003
CPU	Core2 Quad, 2.4 GHz	
RAM	2×1 GB デュアルチャンネル	
ハードディスク	1GB 以上のスペースが必要です	
ディスプレイ	NVIDIA GeForce 8600 GT x 3 / ATI Radeon X1650 x 3	
ネットワーク	9.0c	

注:現在、64 ビット Windows OS はサポートしていません。



4.2 Control Centerをインストール

- CMS ソフトウェア DVD をコンピュータに挿入します。自動的に実行され、ウィンド ウが表示されます。
- 2. V 8.3.2.0 集中監視システムのインストールを選択します。
- 3. Control Center システム をクリックし、画面の指示に従います。

注:

- 1. Control Center プリケーションには USB ドングルが付属しています。ドング ルがコンピュータにしっかり接続されていることを確認してください。
- NVIDIA グラフィックカードを使用している環境でバージョン 8.3.2.0 の Control Center を実行するには、、NVIDIA ドライバをバージョン 6.14.11.6371 またはそれ以降にアップグレードしなければなりません。



4.3 Control Centerツールバー



团 4-1

Control Center ツールバーのボタン:

番号	名前	説明
1	ホスト一覧	ホストー覧を開いて、ホストを作成/編集します。
2	グループ一覧	グループ化されたさまざまな DVR カメラー覧を表示します。
3	IP マトリックス一覧	4.11 IP マトリックス 参照
4	編集	編集ツールバーを開いて以下のボタンを表示します: DVR検索、設定、保存、削除。ホストの追加ボタンは、 ホストリストが開いた後にのみ表示されます。
5	サービス	サービスツールバーの章をご参照下さい。

編集ツールバー

編集ツールバーは、ホストー覧またはグループー覧を開く場合によって変わります。

ホスト一覧を開いているとき:



团 4-2

グループ一覧を開いているとき:



团 4-3

編集ツールバーのボタン(ホストー覧):

1 DVR 検索 ホスト検索ウィンドウを開き、同一 LAN 上のホストを検索し す。また、検索されたホストをホストー覧に追加できます。 2 設定 次のオプションが表示されます: システム設定、E-Map エディタ、IP マトリックスサーバ、データンポート、データエクスポート、パスワード変更、DirectDraw	番号	名前	説明
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1		ホスト検索ウィンドウを開き、同一 LAN 上のホストを検索しま
次のオプションが表示されます: システム設定、E-Map エディタ、IP マトリックスサーバ、データ ンポート、データエクスポート、パスワード変更、DirectDraw	1	DVR 快系	す。また、検索されたホストをホスト一覧に追加できます。
2 設定 システム設定、E-Map エディタ、IP マトリックスサーバ、データンポート、データエクスポート、パスワード変更、DirectDraw			次のオプションが表示されます:
2 設定 ンポート、データエクスポート、パスワード変更、DirectDraw	2	机中	システム設定、E-Map エディタ、IP マトリックスサーバ、データイ
	Z	設定	ンポート、データエクスポート、パスワード変更、DirectDraw モ
ード、バージョン情報			ード、バージョン情報
3 保存 ホストー覧とグループー覧の変更を保存します。	3	保存	ホストー覧とグループー覧の変更を保存します。
4 削除 選択されたホストまたはグループを削除します。	4	削除	選択されたホストまたはグループを削除します。
5 ホスト追加 ホストを追加します。	5	ホスト追加	ホストを追加します。
6 名称変更 選択されたグループの名前を変更します。	6	名称変更	選択されたグループの名前を変更します。
7 グループ追加 グループを追加します。	7	グループ追加	グループを追加します。

注: ホストー覧とグループー覧の両方に表示される小さなツールバーは、編集ツール バーと同様です。



サービスツールバー

サービスツールバーは、ホストー覧またはグループー覧を開いたときに変わります。

• ホストー覧が開いているとき:



🗷 4-4

グループー覧が開いているとき:



团 4-5

ホストー覧ツールバーのボタン:

番号	名前	説明
1	遠隔操作	4.7 <i>リモートDVRと4.8 リモートデスクトップ</i> をご参照下さい。
2	遠隔再生	<i>4.9 リモート ViewLog</i> をご参照下さい。
3	VMD システム	<i>4.12 VMD システム</i> をご参照下さい。
4	リモート E-Map	4.17 リモート E-Map をご参照下さい。
5	I/O 操作パネル	4.16 I/O 操作パネル をご参照下さい。
6	マトリックス	4.10 マトリックス表示 をご参照下さい。

注: ホストー覧とグループー覧の両方に表示される小さなツールバーは、サービスツール バーと同様です。



4.4 ホストとグループを作成

サービスを開始する前に、ホストとグループを作成する必要があります。ホストを作成するために、**DVR 検索**機能(図 4-2 ①)を使って同一 LAN 上の任意の GV デバイスを検出し、それをホスト一覧に追加できます。または、以下のステップに従います。

注:

- DVR 検索機能を使用して GV デバイスを検出するには、クライアント DVR の TCP ポート 5201、ビデオサーバーとコンパクト DVR の TCP ポート 5202、 Control Center の UDP ポート 5200を開く必要があります。
- DVR 検索機能を使用してサードパーティー製 IP カメラを検出するには、 Windows ファイアウォールで例外タブをクリックし、UPnP フレームワークを選 択します。



🗷 4-6



ホストを作成

DVR、コンパクト DVR、ビデオサーバー、IP カメラのホストを作成することが可能です。 ホスト設定ダイアログボックスは、デバイスごとに異なって表示されます。

 ホストー覧ボタン(図 4-1 ①)をクリックし、ホストー覧ウィンドウを右クリックして例 として IP カメラ追加 を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

ホスト設定	
ホスト名:	IPCAM
アドレス:	192.168.1.21
- 🗹 アカウント保存	
ID:	admin
パスワード	****
コマンドポート:	10000 デフォルト
HTTP ポート:	80 デフォルト 設定
GeoVision IP Ca	mera 🔽 🚺
∠デバイス情報──	
カメラ番号:	1 💠 更新情報
モジュール番号:	1 🗘
- モジュール1 🛛	< >
インプット番号:	4 🗢
アウトプット番号:	4
	OK キャンセル

团 4-7

- ホスト名、IPアドレス、ログイン ID、パスワードを入力します。特に必要がない限り、 デフォルト値を通信ポートとして使用します。
- 3. 更新情報ボタンをクリックしてホストに接続されているカメラと I/O の数を取得しま す。更新が完了すると、次のメッセージが表示されます:「システム情報更新完 了」。


DVR ホストを追加する場合、DVR で **Control Center サーバー**を有効にして おく必要があります。有効にしていない場合、「*接続失敗」*という旨のメッセージが 表示されます。4.5 Control Center に接続する を参照してください。

4. [OK] をクリックしてホストを追加します。

ヒント: IP デバイスの設定用インターフェイスにアクセスするには、ホスト設定ウィンドウ内にある設定をクリックします。

グループを作成

さまざまなホストからカメラを分類できます。

- グループ一覧ボタン(図 4-1 ②)をクリックし、グループ一覧ウィンドウを右クリックしてグループ追加を選択します。
- 2. 作成されたグループの名前を入力します。
- 3. ホストー覧から作成されたグループまで目的のカメラをドラッグ&ドロップします。
- 4. 保存をクリックして設定を保存します。

ヒント:

- 目的のカメラからライブ表示を行うには、ホストー覧またはグループー覧のカメラを 右クリックし、ライブ監視を選択します。
- グループー覧の単一カメラの情報を表示するには、任意のカメラを右クリックし、デ バイス情報を選択します。



4.5 Control Centerに接続する

ネットワーク接続を通して Control Center にリモートでアクセスするためには、クライアン ト DVR を次のように設定します。メイン画面のネットワークボタンをクリックし、Control Center 接続をポイントし、テフォルトのサービスを起動または全てのサービスを起動を 選択して接続を行います。

Control Center Serverウィンドウ

上で説明したようにクライアント DVR が CCS(Control Center サービス)を開始すると、 サーバーはシステムトレイに最小化されます。サーバーのアイコン でのクインドウをデスクトップ上に表示させます。

時間	ID	イベント	サービス	IPアドレス	_
2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16 2006/03/16 16	39 123 39 123 39 123 39 123 40 123 41 1 41 1 41 1 41 1 41 1 41 1	ログイン失敗 ログイン失敗 ログイン失敗 ログイン失敗 ログイン ログアウト ログアウト ログアウト ログアウト	Control Center Control Center I/O Central Panel RemoteDVR Control Center Control Center Control Center Control Center RemoteDVR RemoteDVR	127001 127001 127001 127001 127001 127001 127001 127001 127001 127001	

团 4-8

CMS サーバーのコントロール:

番号	名前	説明
1	全てサービス停止	Control Center サーバーのすべてのサービスを停 止します。
2	Control Center サーバ	以下のサービスを開始または停止します: マトリック
2	起動/停止	ス、I/O 操作パネルとリモート DVR。
	Remote Viewl og #-1	リモート DVR の ViewLog に Control Center がア
3	たました viewLog リーハ	クセスするための Remote ViewLog サーバの起動
		/停止をおこないます。
	Bomoto Dockton #- 1	リモート DVR の Windows デスクトップに Control
4	Remote Desktop リーハ お動/向止	Center がアクセスするための Remote Desktop サ
	起到们宁止	ーバの起動/停止をおこないます。
		帯域幅制御サービスの開始および停止を行いま
	世は 価判 御井 ニビフ	す。詳細については、監視システムソフトウェア
5	市政幅制御サービス	DVD の <i>ユーザーマニュアルユーザーマニュアル</i> の第
	用始。伊正	8 章、 <i>バンドウィドスコントロールアプリケーション</i> を
		ご参照ください。
6		ログインIDとIPアドレス、サービス内容と接続時間
6	117777	を示します。



CCSサーバーを設定する

CCS サーバーを設定するには、ウィンドウメニューの設定をクリックします。

[ネットワーク設定] 特に必要がない限り、3 つの通信ポートはデフォルトのままにしておいてください。

ネットワーク設定				
コマンド ポート: 3388 デフォルト				
データボート: 5611 デフォルト				
Log ポート: 5552 デフォルト ▶				
 アクセス制限 編集 				
コーデック: Geo Mpeg4 (ASP) 🕑 🛄				
Remote ViewLog				
最大使用者: 16				
接続 30 分以内に、アクセスされてなければ接続中止				
OK キャンセル				

团 4-9

- アクセス制限: IP アドレスの範囲を割り当てることによって、Control Center サー パーへのアクセスを制限します。詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアルユーザーマニュアルの第11章、ブロックリスト設定を参照し てください。
- コーデック: ビデオ圧縮を Geo Mpeg4、Geo Mpeg4 (ASP) または Geo H.264 に設定します。リモートデスクトップが Geo H.264 V2コーデックをサポート していないことにご注意ください。
- UPnP: ルータで3つの通信ポートを自動的に設定するには、Log ポート右側の矢印ボタンをクリックして UPnP 設定を行います。UPnP の詳細については、 監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアルユーザーマニュアルの第8章、 UPnP 設定 を参照してください。
- Remote ViewLog: 1から16までの数値内で、ビデオファイルの再生にアクセスする最大ユーザー数を設定します。また、一定時間がたった後リモート ViewLog アプリケーションを終了させるアイドル時間も設定できます。

[イベントログ設定] 設定は Center V2 の設定と同じです。1.11 イベントログブラウザ をご参照ください。

[サービス設定] デフォルトのサービス起動で動作させるサービスを選択します。



🗷 4-10

[接続許可] Control Center が GV-System のリモート DVR サービスまたはリモート デスクトップサービスへのアクセスを試みると、クライアントは接続を受け入れるか拒否す るかを求められます。

IJモートDVRD	গ্রনস 🔀
ID: From: コメント:	1 (受け付けました) 1270.0.1 (担告しました) 1が監視システムに接続しようとしていますが、接続許可であれば、ログア ウトしてください。
再問合せ()	行わないでください。

図 4-11

[Windows 起動と同時にサービス起動] 起動時にデフォルトサービス起動で設定した サービスを自動的に起動させます。

[最小化の時に隠す] 最小化した Control Center サーバーウィンドウを通知領域に隠します。

注: Windows 起動時にデフォルトサービスを自動開始するオプションを有効にする までに DVR ユーザーアカウントが変更された場合、新しいアカウント設定が有効にな る前にいったんオプションを無効にし、再度有効にする必要があります。



4.6 ライブ表示

ライブ表示ウィンドウは、ライブビデオを管理するために設計されています。

ホストー覧またはグループー覧上のカメラを右クリックし、ライブ監視を選択します。また は、ホスト/グループー覧ツールバーのデバイス情報ボタン 📴 をクリックし、ライブ監視 を選択します。ライブ表示ウィンドウが表示されます。



図 4-12

ライブ表示ウィンドウのコントロール:

番号	名前	説明		
1	カメラ変更	同じホストの別のカメラに切替えます。		
2	サイズ変更	 サイズ: ライブ映像のサイズを変更します。サイズは、ホストで設定されているビデオ解像度に対応します。 画像サイズの選択は、画面解像度が 320 x 240 以上のときにのみ有効です。 フォグ除去: 画像の可視性を高めます。 振動補正: 安定的なライブ映像に調整します。 PIP 表示: ピクチャーインピクチャーを意味します。映像を拡大表示できます。 		

PAP表示: ピクチャーアンドピクチャーを意味します。 映像について複数の拡大表示を見るために、映像を 分割表示します。

3	音声	ホストからの音声を出力します。
	7/5	ホストに話しかけられるようにします。コンピュータにマイクが
4	210	正しくインストールされている必要があります。
5	設定	音声とビデオの設定を変更します。フォグ除去設定は画像
		の色を調整し(正規化)、画像のくもり具合を改善します(サ
		ンプリングレート)。
6		PTZパネルまたはPTZ操作を選択して、PTZ制御を有効
0	FIZ	にします。
	ビジュマル ハヘ ギャ	映像に直接クリックして、電気製品(例:照明を点ける)の
7		現在の状態を変更できるようにします。 この機能は、同じ
)	機能がホスト上で設定されている場合に利用可能です。
8	スナップショット	表示されたライブビデオのスナップショットを保存できます。
9	拡大	1.0x、2.0x、3.0xを選択し、画像を拡大します。

注:

- 以下のオプションは、GV-Control Center が AVP 機能を持つドングルを使用 している場合にのみ利用可能です。 サイズ変更ボタン内のフォグ除去および振動補正オプション、設定ボタン内で のフォグ除去設定
 IP カメラのビデオ解像度が Control Center の画面解像度よりも高い場合、 キーズキスティブルデーの見たせんではたち、JP キルに知道の中のツレノにたわた
- え ま示できるライブビデオの最大サイズはおよそ、IPカメラ解像度の半分になります。



4.7 リモートDVR

リモート DVR サービスにより、Control Center はクライアント GV-Systems にアクセス しその設定をリモートで設定できます。

リモート DVR を実行する

- クライアント DVR は Control Center サービス(図 4-8 ②)を有効にする必要 があります。
- 2. Control Center で、ホスト一覧の DVR をハイライトします。

```
遠隔操作ボタン をクリックし、リモート DVR を選択します。
```

接続が確立されると、クライアント DVR のメイン画面が Control Center デスクトップに 表示されます。 同時に、 クライアント DVR は、 GV-System が使用中でありロックされて いることを表すメッセージを表示します。



🗷 4-13

クライアントが接続を中断したい場合、右下の 💽 ボタンをクリックすることができます。 接続を停止するには、有効な ID とパスワードが必要です。

ヒント: クライアント DVR のすべてのカメラを表示することによって帯域幅に負荷を掛けたくない場合、一部のカメラの表示を制限することができます。カメラを有効または無効にする方法は、2通りあります。



- (1) クライアント DVR に接続する前に、設定ボタン タクリックし、システム設定 を選択し、遠隔監視タブをクリックします。リモートカメラ操作項目で、目的のカメ ラにチェックを入れるかチェックを外します。[OK]をクリックして設定を保存します。
- (2) クライアント DVR に接続しているとき、クライアント DVR のメイン画面で、終了ボ タンをクリックし、リモートカメラ操作を選択します。表示された画面より目的のカメ ラのチェックボックスにチェックを入れるかチェックを外します。

注:

- 1 リモートDVR は現在オーディオアウトプット、PTZ、I/O コントロールをサポートして いません。
- version 8.2 以前のリモート DVR は、version 8.3 の GV-System に接続できません。
- 4.20 システム設定 のリモート DVR 設定 も併せて参照してください。



4.8 リモートデスクトップ

リモートデスクトップはクライアント GV-Systems で作動するリモート DVR 機能を提供 するだけでなく、Windows の操作も可能にしています。 クライアントデスクトップを表示 することにより、 センターオペレータはクライアント GV-System とそのオペレーティングシス テムを完全にコントロールできます。

リモートデスクトップを実行する

- クライアント DVR は**リモートデスクトップサービス**(図 4-8 ④)をまず有効にする必要があります。
- Control Center でホストー覧の DVR を選択します。 遠隔操作ボタン を クリックし、リモートデスクトップを選択します。

接続が確立されると、クライアントデスクトップは Control Center デスクトップに表示されます。

ファイル転送

ファイル転送機能とは、Control Center とクライアント DVR との間でファイルを簡単に 転送できるようにするための機能です。

- 1. リモートデスクトップを実行する。
- リモートデスクトップ左上隅のファイル転送ボタン
 をクリックします。ファイル転
 送サービス (FTP) ダイアログボックスが表示されます。
- 3. **ローカル**または**リモート**(クライアント DVR)に転送するファイルを選択します。



😺 77fji	転送サービス(FTP))								
学協定で	,					JE−F (19216	8.0.7)			
Da			<u> </u>	<u>65</u>		C#				× 🛃
名称		サイズ 時	勤修正	^	-	名称		サイズ	時間修正	^
Alar Alar Com Com Com Com Com Com Com	m BLVRes ImRes ImRes1024 ImRes1020 ImRes1680 ImRes1680 ImRes1690 Prol Center Penter Res	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	7/01/23 141344 1/12/15 85910 7/01/23 141356 7/01/23 141354 7/01/23 141354 7/01/23 141350 7/01/23 141356 7/01/23 141356 7/01/23 141356 7/01/23 141354	×		Documents Program Fi Recycled System Vo WMD/VO MVD/VO Doot ini bootfontbi bootfontbi bootfontbi CONFIGSY	and Settines lies Nume Information D.BAT T.DOS IS	214.21 KB 0.00 KB 0.25 KB 208.82 KB 0.50 KB 0.00 KB	2007/04/15 2015/04/15 2015/04/15 2007/04/15 2007/04/15 2015/04/15 2014/12/14 2001/09/05 2007/04/15	1612 1625 1535 1615 1612 1431 1627 1910 2000 1627 ¥
2	名称		サイズ	統	9	ローカル	++	リモート		
Ø 1	BOOTSECT.DOS		0.50 KB	100	86	D.¥		C#BOOTS	ECT.DOS	
										8

🗷 4-14

注: 転送するファイルサイズは、1 ファイル4GB を超えてはいけませんが、複数の選択されたファイルのサイズについては限界はありません。

4.20 システム設定 のリモートデスクトップ 設定 も併せて参照してください。



4.9 リモートViewLog

リモート ViewLog サービスにより、Control Center からクライアント DVR のファイルにア クセスして、これらを ViewLog プレーヤーで再生させることができます。

リモートViewLogを実行する

- クライアント DVR は**リモート ViewLog サービス**(図 4-8 ③)をまず有効にする必要があります。

接続が確立されると、クライアント DVR の ViewLog は Control Center デスクトップに 表示されます。ViewLogの詳細については、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザー マニュアル、*第4章を参照してください。

リモート ViewLog サービスのグループを選択している場合、最大 96 のカメラのイベント ファイルにアクセスできます。ただし、ViewLog のマルチ表示は最大 16 のカメラしか表示 できません。従って、マルチ表示モードでは目的のカメラを選択する必要があります。 ViewLog 機能パネルで、設定ボタンをクリックしてシステム設定ダイアログボックスを表 示し、マルチビュータブを選択します。

4.20 システム設定 のリモート ViewLog 設定 も併せて参照してください。

注: バージョン 8.3 の Control Center がパージョン 8.2 以前の GV-System に 接続しても、遠隔再生は可能ですが、パージョン 8.2 以前の Control Center がパ ージョン 8.3 の GV-System に接続すると、再生不可となります。

4.10 マトリックス表示

マトリックス表示により、センターオペレータは同じ画面に異なるクライアント DVR から最 大 96 のカメラをモニターできます。さらに、オペレータはカメラの監視状態と設定を遠隔 で変更できます。マトリックス表示には、以下の機能が用意されています。

- 画面解像度 1024 x 768、1280 x 1024、1600 x 1200、1680 x 1050、 1920 x 1200、1280 x 800、1920 x 1080、1440 x 900 をサポート。
- 同時に表示できるカメラ数は最高 96 個。
- 1 つのモニターにまたは 8 つの個々のモニターに一度に 8 つのマトリックスウィンドウ を表示
- カメラ監視状態と設定の遠隔設定をサポート
- カメラスキャン、PTZ コントロール、POS ライブ表示機能をサポート。
- クライアント ViewLog にアクセスして再生

マトリックス表示を実行する

- クライアント DVR は Control Center サービス(図 4-8 ②)をまず有効にする必要があります。
- 2. Control Center で、グループをハイライトしマトリックスボタン

ヒント: マトリックス表示内でカメラ表示を追加または置き換える場合は、単にカメラを グループリストからドラッグして、必要なチャンネル位置にドロップします。

^{■■■} を選択します。マトリックスウィンドウが表示されます。





团 4-15

マトリックスウィンドウのコントロール:

番号	名前	説明
1	終了	マトリックスウィンドウを閉じるか、最小化します。
S	両五八割	1、4、6、8、9、12、16、20、24、32、36、48、64、80ま
2	回面刀刮	たは 96 チャンネルから画面分割を選択します。
3	日付/時刻	現在の日付と時刻を示します。
4	録画の起動/停止	録画を開始または停止します。
5	システム設定	マトリックス設定とカメラ設定にアクセスします。
6	録画再生	ViewLogを開きます。
7	カメラの切り替え	分割された画面を順番に表示します。
		PTZ コントロールパネルを表示します。 PTZ コントロールパ
8	PTZ	ネルは、接続のあるチャンネルを右クリックし、PTZ を選択す
		ることによっても表示させることが可能です。



注:

- 8 台の別々のモニタでマトリックス表示を利用する場合、コンピュータに VGA カ ードが 4 枚実装されていることを確認してください。複数のモニターの位置と解 像度をセットアップするには、4.20 システム設定のマトリックス設定を参照し てください。
- マトリックスによるメガピクセル解像度のをサポートは、単一画面でのみ利用できます。単一画面の左上隅で ボタンをクリックすると、メガピクセル映像を表示します クライアント GV-System については、ハードウェア圧縮FIFO有効機能をオンにして、マトリックスがメガピクセルデータを受信できるようにしておく必要があります。機能を有効にするには、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアルの第2章、高度な設定を参照してください。
- 画面分割に従って、マトリックスは分割サイズに少しでも近づけるように受信解 像度を減少させます。GV IP デバイスについては、720 x 480 サイズ以下の JPEG ストリームは、より小さいサイズの MPEG ストリームに変更されます。 720 x 480 よりも高い JPEG ストリームは、JPEG ストリームのまま維持されま す。これは、CPU の使用率と帯域幅節約のために設計されているメカニズムで す。



マトリックス表示を設定する

マトリックスウィンドウで、システム設定ボタンをクリックします(図 4-15 ⑤)。

[システム設定]

システム設定	X
字幕設定	カメラの切り替え
ID ID	切替間隔: 3秒 🗸 🕨
🗹 スタートアップ	□ カメラの切り替え
☑カメラ名称	DirectX
	✓ DirectDraw モードを有効にする
CPTZ	
⊙ PTZ パネル	✓ ビデオロストまたは接続切れによりフレー ムが破損した可能性があります
○ PTZ 操作	保持時間: 10 秒
	OK キャンセル

团 4-16

- 字幕設定: 画面に ID、場所、またはカメラ名を表示します。
- カメラの切り替え: カメラの切替間隔を設定します。矢印ボタンをクリックして 1、 4、6、9、16 または 24 画面の回転モードを設定します。マトリックススタートアッ プで、自動スキャン機能を有効にすることもできます。
- **DirectX**: DirectDraw 機能を有効にします。
- PTZ: PTZ コントロールパネルを選択します。 PTZ オートメーションの詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュアル、第6章の PTZ オ ートメーション を参照してください。
- 表示:ビデオソースまたは接続に度々障害が起きた場合、またはオペレータに 接続が不安定な状態になっていることを知られたく内場合、このチェックボックス をオンにして画面上に最後のフレームを表示する時間を入力します。これにより、 「ビデオロスト」や「接続切断」メッセージが頻繁に表示されにくくなります。

[カメラ設定] カメラ録画設定を調整します。

[ビデオ画質調整] カメラのビデオ画質を調整します。

[イメージ品質] ビデオ品質を高、中、低の選択で調整します。品質を高くすればそれ だけ画像も大きくなり、より大きな帯域幅が必要となります。

[QView] 別のモニターでチャンネルを表示できるようになります。詳細については、本 章で後述の Qview を使って別モニターでチャンネルを表示する を参照してください。

[接続が切れた場合、自動再接続] マトリックス表示とカメラ間の接続が失われたとき、 自動的に再接続します。

2 方向音声

オペレーターはマトリックス表示を使ってセキュリティサイトを監視しているとき、疑わしいイ ベントが発生したときに2方向音声通信を、任意のホストと即座に有効にできます。こ の機能にアクセスするには、ホストと通信させたいカメラ表示を右クリックして、**音声出力** 切り替えを選択してホストからの音声にアクセスし、ホストに対して話しかけるために Talk Back 応答トグルを選択します。



团 4-17



POS ライブ表示

POS ライブ表示は、POS 取引データまたはアクセスコントロールのカード所有者情報を 別ウィンドウで表示させることが可能です。

この機能を有効にするには、まず DVR が WebCam サーバーを有効にし、リモートアク セスを許可する必要があります。

- POSライブ表示ウィンドウを開くため、遠隔再生ボタン(図4-15 ⑥)をクリックし、 POS ライブ表示を選択します。
- 簡易再生を可能にするため、POS ライブ表示ウィンドウにある希望の取引項目 またはカード所有者データをダブルクリックします。

	TEST140 Ca	amera 1-192.168.0.232	Ø	3
				•
CALYPSO				
DEMO VERSION O	ALYPSO 3.2			
Coke	1,00			
Coffee	1,50			
Orange Joice	3,00			
Oreo Cookie	2,50			
Hot Dog	1,80			
Milk	2,50			
ITEM VOID				
Coke	1,00-			
Orange Joice	3,00			
Hot Dog	1,80			
Jelly	1,20			1
				•

🗷 4-18

POS ライブ表示の詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザーマニュア ル、第7章の POS ライブ表示 を参照してください。

簡易再生

マトリックス表示を通じたモニタリング中では、不審なビデオ映像を一定時間、即座に 再生させることが可能です。時間の長さは 10 秒、30 秒、1 分、5 分から選択できます。 詳細は、4.13 簡易再生 をご参照下さい。

- 1つの信号チャンネルのイベントを直ちに再生するには、カメラ名をクリックして簡易 再生を選択し、時間の長さを選択します。
- すべてのチャンネルのイベントを直ちに再生するには、録画再生ボタン(図 4-15
 ⑥)をクリックし、簡易再生を選択して、再生時間の長さを選択します。

4.20 システム設定のマトリックス設定 も併せて参照してください。



Qviewを使って別モニターでチャンネルを表示する

Control Center が複数のモニタを接続している場合、QView 機能を使って、別のモニ タ画面上に、希望のチャンネルを表示させることができます。

 マトリックスウィンドウを開き、システム設定ボタン(図 4-15 ⑤)をクリックし、 QView を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

QView 🔀
モニターを選択してください:
無効なモニターです 🔹
OK キャンセル

🗷 4-19

- 2. ドロップダウンリストを使用して必要なモニタを選択します。
- 3. 指定したモニタ上で表示するチャンネルを1つクリックします。



別のモニタ画面に表示させるチャンネルを クリックします。

別のモニタ画面に選択されたチャンネルが 表示されました。

図 4-20

4. 別のチャンネルに切り替えるには、マトリックス内で別のチャンネルをクリックします。

4.11 IP マトリックス

IPマトリックスはリモートモニター設定の手間を削減するようデザインされています。オペレ ーターは表示するカメラをリモートで登録でき、画面分割の設定やカメラスキャンの開始 なども可能です。この機能は TV ウォールコントロールに便利です。

IP マトリックスを使用すると、オペレータは、それぞれが1つのマトリックス表示を利用する リモートモニターを最大で36 台管理できます。ローカルの Control Center 本体からの モニター8 台を含み、オペレーターはネットワーク上の4224 台のカメラ((96 x 8)+ (96 x 36))を含む、最大44 モニター(マトリックス表示)を監視できます。IP マトリックスアプリケ ーションは下図のとおりです。

マトリックス表示に関する詳細は、4.10 マトリックス表示をご参照下さい。



図 4-21 IP マトリックスは最高 36 のマトリックス表示をコントロールします。

GeoUision

IPマトリックスの実行

IP マトリックスを実行するには、クライアントと Control Center の両方を設定しなければなりません。

注: それぞれのクライアントに適切な USB ドングルが必要となります。

クライアントサーバーでの設定:

- CMS ソフトウェア DVD をコンピュータに挿入します。自動的に実行されます。ウィンドウが表示されます。
- 2. V8.3.2.0 集中監視システムのインストールを選択します。
- 3. GeoVision IP Matrix をクリックし、画面の指示に従います。
- コンピューターを再起動した後、Windowsのスタートをクリックしてプログラムをポイントし、IP Matrix を選択して IP Matrix をクリックします。このダイアログボックスが表示されます。



团 4-22

Control Center の IP アドレスを入力し、必要に応じて通信ポートを変更します。

高度な設定をクリックします。このダイアログボックスが表示されます。

設定		×
~		
TEST-52		
15. L7.57		
□ ワインドワス起動時し	こコントロールセンター/	、目動接続
□最後の設定を自動	売み込み	
モニター	オリジナル	解像度
モニター 1	(0,0)	1024 x 768
✓ モニター 2	(0,768)	1024 x 768
✓ モニター 3	(1024,0)	1024 x 768
	C	K キャンセル

🗷 4-23

[スタートアップ] クライアントに名前をつけます。 [スタートアップ] プログラム開始時に、Control Center へ自動接続します。 [モニター] この項目には、クライアントサーバーに接続されているモニターの数、 位置、解像度が表示されます。任意のモニターのリモートコントロールを有効にし ます。

7. OK をクリックし、接続をクリックして Control Center と接続します。

Control Center での設定:

- Control Center ツールバーの IP マトリックスリスト(図 4-1 ③)をクリックします。 IP マトリックスウィンドウが表示されます。
- 左端上部のボタンをクリックしてサービスを開始します。接続されたモニターのアイ コンが画面下に表示されます。
- モニターを表示させるには、下からモニターアイコンをドラッグし、IP マトリックス画面 上の任意の場所でドロップします。





团 4-24

 特定のモニターに表示させるカメラを登録するには、グループ一覧からグループをド ラッグし、モニタースクエアにドロップします。または、モニタースクエアを右クリックし、 チャンネル設定を選択してグループを選びます。



🗷 4-25

 一つのモニター表示を拡大して管理するには、モニタースクエアをダブルクリックし、 ツールバーを使ってコントロールします。ツールバーの詳細に関しては、下記の*ウィンドウのコントロール*をご参照下さい。



ウィンドウのコントロール



团 4-26

No.	名前	説明	
1	サービス	クライアントサーバーへの接続を開始または停止しま	
	開始·停止	す。	
2	リスト	画面下部のモニターリストを開く、または閉じます。	
	表示·非表示		
3	レイアウト設定	以下の設定が含まれます:	
		 ● 画面分割:最大分割数は36です。(例:9×4) 	
		または 4 × 9)	
		 画面更新レート:モニタースクエアのすべてのカメ 	
		ラ表示のアップデート頻度を設定します。	
		• モニター表示位置を全てリセット: 画面分割を変	
		更するたびに IP マトリックス表示を消去します。	

GeoUision

4	チャンネル設定	一つのモニター表示を選択し、このアイコンをクリックし、
		表示するグループを選択します。
5	マトリックス設定	一つのモニター表示を選択し、このアイコンをクリックし、
		字幕設定、カメラの切り替え、DirectX、PTZ などを設
		定します。
6	スキャン 開始・停止	一つのモニター表示を選択し、このアイコンをクリックし、
		カメラの切り替え機能の開始または停止を選択しま
		す。
-	分割設定	一つのモニター表示を選択し、このアイコンをクリックし、
1		画面分割を選択します。
0	ページアップ&	一つのモニター表示を選択し、これらのアイコンの一つを
8	ページダウン	クリックし、ページを上下にスクロールします。
	モニタースクエア	モニターを表示します。モニターの一つを右クリックする
		と、これらの設定が表示されます:
		• チャンネル設定:表示するグループを選択します。
9		 拡張制御:拡張制御を行うためにモニターを拡大
		表示します。
		表示します。 • モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を
		表示します。 モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を 削除します。
		表示します。 モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を 削除します。 接続されたモニターのアイコン。アイコンの一つを右クリッ
		表示します。 モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を 削除します。 接続されたモニターのアイコン。アイコンの一つを右クリッ クすると、設定できます:
10	モニターアイコン	表示します。 モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を 削除します。 接続されたモニターのアイコン。アイコンの一つを右クリッ クすると、設定できます: 確認用モニター: モニタースクエアに大きな番号を
10	モニターアイコン	表示します。 モニター削除: モニタースクエアからモニター表示を 削除します。 接続されたモニターのアイコン。アイコンの一つを右クリッ クすると、設定できます: 確認用モニター: モニタースクエアに大きな番号を 表示し、どのモニタースクエアがどのモニターアイコン

4.20 システム設定 の IP マトリックス設定 も併せて参照してください。

4.12 VMD システム

Control Center は VMD(ビデオ動作検知)機能を備えています。 以下のイベントが発生したとき、ライブビデオのポップアップ表示によりオペレータに警告し ます。動作検知、グループ検知、拡張不審物検出、拡張撮影環境変化検出、およ び拡張重要物移動検出があります。

注: VMD 機能はサードパーティーの IP カメラをサポートしていません。

VMDを実行する

- 1. ホストー覧から目的のカメラをグループー覧の VMD グループにします。
- ポップアップ警告を行うイベントを選択するには、カメラを右クリックして映像処理オ プションを選択し、クライアントGV-Systemでこのカメラに対して設定されているイ ベントのタイプを選択します。デフォルトは動作検出 が選択されていますのでご注 意ください。
- VMD ウィンドウを開くには、VMD システムアイコンをクリックします。カメラ表示内で 動作が検知された場合、VMD ウィンドウにライブビデオがポップアップします。



図 4-27



ウィンドウのコントロール



🗷 4-28

番号	名前	説明
1	ページアップ&ダウン	ページを左右にスクロールします。
2	更新	カメラ表示を更新します。 ユーザー定義位置ヘカメ ラポップアップ オプションが有効になっている場合、こ
		の機能は利用できません。
		(図 4-61 を参照してください。)
3	分割選択	画面分割を設定します。
	システムメニュー表示	以下の設定が含まれます:
		• イメージ品質:選択肢の高、中、低から一つ
		選択します。
4		 ホストリスト:ホストリストを表示します。
		 ポップアップビューア:別のモニターにポップアップ
		イベントを表示します。
		• システム設定: DirectX の設定とポスト録画の



		設定を行います。 • イベントポップアップ:ポップアップを画面上に残 す時間の長さを変更します。デフォルトは、60 秒です。
		• Sound Scheme (音声スキーム): 異なるイベ
		ノトに対して、アフーム音を変更します。
5	最小化	ウィンドウを最小化します。
6	閉じる	ウィンドウを閉じます。
7	ポップアップカメラ	ポップアップカメラを右クリックすると、これらの設定が 表示されます: 拡張ライブ表示: 詳細設定を行うためにモニタ ー表示ウィンドウを開きます。 簡易再生(3分):下記の <i>簡易再生</i> をご参 照下さい。

4.20 システム設定 の VMD システム設定 も併せて参照してさい。



別の画面にカメラをポップアップ表示させる

Control Centerに複数のモニターが接続されている場合、別のモニターに発生したイベントを表示するようにマッピングすることができます。この機能は、別のモニターへの表示を実現することによって、最近起きたイベントを確認する際に役立ちます。

 VMD 画面のツールバーにある Show System Menu (システムメニュー表示)ボ タンをクリックして、ポップアップビューアを選択します。次のダイアログボックスが表 示されます。

ポップアップ ビューア	
モニターを選択してくたさい。	
(#X)%t_%=09	•
再生時間:	
1 秒	
	3

図 4-29

- 2. ドロップダウンリストを使用して必要なモニタを選択します。
- ポップアップ表示するカメラ画像が別のモニター上に留まる時間の長さを再生時間の欄に入力します。時間は1~10秒の間で指定します。

ポップアップカメラ表示による最後の画像は、新しいイベントのポップアップがない限りその まま画面上に残ります。画像を消去するには、画面上で右クリックして Clear (消去)を 選択します。



4.13 簡易再生

DVR や GV IP デバイスから録画映像を読み込んで、再生することができます。

Control Center からリモートアクセスを利用するには、まず次の機能を有効にしておく 必要があります:

- DVR: Control Center サーバーの録画とリモート ViewLog サービスを有効に します。
- ビデオサーバー/コンパクト DVR:録画と ViewLog サーバーを有効にします。

ビデオを再生する場所:

- グループー覧で、1つのカメラを右クリックし、簡易再生を選択します。
- VMD ウィンドウで、ポップアップカメラを右クリックし、簡易再生を選択します。
- マトリックス表示で、カメラ名をクリックし、簡易再生を選択します。



🗷 4-30





再生ウィンドウを右クリックすると、これらの機能が表示されます:

名前	機能
	次のオプションが含まれます:
	• コマ送り再生:ビデオフレームごとに再生します。
	 リアルタイム: リアルタイムでビデオを再生します。このモード
再生モード	はレンダリング用の待ち時間を節約しますが、フレームを落と
	してリアルタイム再生を行います。
	• 録画音声: ビデオサウンドのオン/オフを切り替えます。
	• 次の5分を自動再生:5分間、ビデオを再生します。
	• インタレース消去機能の使用: インターレースビデオを非イ
	ンターレースビデオに変更します。
	• 画像スムージング機能の使用 :再生ビデオを拡大したとき
	の画質をスムーズにします。また、色彩を鮮やかにするための
	カラフルモードを適用します。
	• ブロックノイズ除去機能 :低品質や高圧縮ビデオからブロッ
しいがいいが	クのようなアーチファクトを削除します。
レンテリンソ	• 霧除去:画像の視感度を高めます。
	• 振動補正: カメラのブレを減少させます。
	• カメラ名・時間情報の画面表示: ビデオにカメラ名と時間を
	オーバーレイします。
	 POS/GV-Wiegand テキスト情報の画面表示: ビデオに
	POS または GV-Wiegand キャプチャーデータをオーバーレイ
	します。

フルスクリーンモード:フルスクリーン表示に切り替えます。



• BMP イメージとして保存: ビデオ映像を BMP 形式で保存 します。

ツール

- AVI ファイルとして保存: ビデオを avi 形式で保存します。
- ダウンロード: DVR または IP ビデオデバイスからローカルコン ピューターヘビデオクリップをダウンロードします。

注: フォグ除去機能と振動補正機能は、DVR からの録画にこれらの機能が適用 されている場合にのみ作動します。

4.14 PIPとPAP表示

PIP (ピクチャーインピクチャー)では、ビデオの一部を拡大表示することができます。また、 PAP (ピクチャーアンドピクチャー)では、ビデオの複数個所を拡大表示することができま す。

ライブ監視、遠隔再生、マトリックス表示で PIP または PAP 機能を有効にできます。

 ライブ監視: グループ一覧で、1つのカメラを右クリックし、ライブ監視を選択します。ライブ表示ウィンドウで、サイズ変更アイコンをクリックし、PIP 表示または PAP 表示を選択します。



🗷 4-31

GeoUision

- 遠隔再生:ホストー覧またはグループー覧で1つのカメラを右クリックし、遠隔再 生を選択します。リモート ViewLog ウィンドウで、表示モードボタンをクリックし、シ ングル画面を選択し、メガピクセル (PIP) またはメガピクセル (PAP) を選択し ます。
- マトリックス: 一つのカメラ表示を右クリックし、PIP 表示または PAP 表示を選択します。

PIP と PAP 利用に関する詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザー マニュアル の第 1 章、ピクチャーインピクチャー表示 とピクチャーアンドピクチャー表示 をご参照ください。

4.15 パノラマ表示

複数のカメラ画像を継ぎ足し、パノラマ表示はライブ監視において連続したシーンを表 示させます。

パノラマ表示に選択されたそれぞれのカメラは、オリジナルの形式で録画を続けます。パ ノラマ表示は最高 4 セットまで作成できます。

注: この機能は、Control Center が AVP 機能を持つドングルを使用している場合にのみ利用可能です。

この機能にアクセスするには、グループー覧で目的のグループを右クリックし、**パノラマ設** 定を選択します。CMS パノラマプログラムが有効になり、最小化されてシステムトレイに 表示されます。[パノラマセットアップ]ダイアログボックスも表示されます。ダイアログボックス のコントロールについては、監視システムソフトウェア CD の*ユーザーマニュアル*の第3章、 パノラマ表示 をご参照ください。

パノラマ表示を作成する

パノラマ表示を作成するには、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザーマニュアル*の 第3章、パノラマ表示をご参照ください。

パノラマ表示へのアクセス

パノラマ表示へのアクセス方法は2つあります。

- パノラマ表示を設定したグループを右クリックし、パノラマ表示を選択し、リストから 目的のパノラマセットを選択します。
- システムトレイの CMS パノラマアイコンを右クリックし、パノラマ表示を選択し、リストから目的のパノラマセットを選択します。

パノラマ表示コントロール

パノラマ表示をコントロールするには、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザーマニュア* ル の第3章、パノラマ表示 をご参照ください。



4.16 I/O操作パネル

I/O 操作パネルでは、DVR に実装されている I/O デバイスを集中管理するソリューションを提供します。主な機能は以下の通りです。

- DVR のグループ I/O デバイス管理
- カスケードモードで I/O デバイスをトリガー
- 1日のさまざまな時間で I/O カスケード設定をモニター
- クイックリンクウィンドウによりトリガーされた I/O デバイスへのクイックアクセス

注:

- クライアント DVR でのアドバンスド I/O パネルと Control Center での I/O 操作 パネルは、互いに競合することがあります。クライアント DVR がアドバンスド I/O パネルの設定を正しく設定し、I/O コントロールを Control Center に渡すことを お勧めします。
- 2. I/O 操作パネルは GV IP デバイスのみをサポートします。

I/O操作パネルを実行する

- クライアント DVR は Control Center サービス(図 4-8 ②)をまず有効にする必要があります。

接続が確立されると、I/O 操作パネルは Control Center デスクトップに表示されます。


I/O 操作パネル

	0000000	
	🔤 I/O Central Panel	
	× 🖬 🔶 🖬 - 🔄 🗖	
0-	モード デフォルト 💌	
•	1/0 一覧 1/0 →覧	
0-	 □ - 10 □ - 10	
_	ー 🍪 インフット 1 ー 🍪 インプット 2	
9	- 🎨 インプット 3 - 🚱 インプット 4	
	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
]

🗷 4-32

I/O 操作パネルのコントロール:

番号	名前	説明
1	設定	パネル設定とスケジュール設定および I/O 作動選択
<u> </u>		にアクセスします。
2	スケジュールモード	スケジュールモードの開始/停止を行います。
3	トグル クイックリンク	トリガーされた I/O デバイスにクイックアクセスするため
		のクイックリンクウィンドウを表示します。
4	拡張 I/O 一覧表示	次のさまざまなスタイルで拡張 I/O 一覧を表示します:
4		表示/編集、アイコン、詳細。
5	展開	一覧表示を展開します。
6	折畳む	一覧表示を折畳みます。
7	モード	さまざまなカスケードモードを設定します。
8	I/O 一覧	接続された I/O モジュールを表示します。
9	I/O 一覧(拡張)	カスケードモードで I/O デバイスを分類します。



カスケードトリガーに対してグループを作成する

I/O デバイスを分類できます。さらに、グループにより、カスケードトリガーが許可されますが、これは 1 つのトリガーのトリガーアクションが別のトリガーを有効にできることを意味します。

この例の場合、入口に取り付けられたすべての I/O デバイスを含む「入口」というグルー プが与えられています。「入口」 グループには他のサブグループが含まれることがあり、それ ぞれにはさまざまな場所で関連する I/O デバイスが含まれます。



🗷 4-33

インプット 2 がトリガーされるとき、サブグループのアウトプット 1 とアウトプット 3 をトリガー し、アウトプット 1 はカスケードされたアウトプット 2 をトリガーします。

グループを作成する:

1. **I/O 一覧(拡張)**(図 4-32 ⑨)を右クリックし、**グループ追加**を選択します。次の ダイアログボックスが表示されます。

グループ情報		×
「グループ名-		保存
Hallway		1 to b' d7 11
「この」の「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」		44707
「「通報	Buzzer	
★ 7.02±18	002201	

🗷 4-34

[グループ名] グループの名前を付けます。

[グループ通知設定]

- 通報: I/O トリガー時のアラーム音を設定します。ドロップダウンリストから サウンドを選択します。
- 2. 保存をクリックして設定を適用し、パネルに戻ります。
- 3. カスケードされる階層を作成するには、左の **I/O 一覧**から目的のインプット/アウト プットをドラッグ&ドロップします。

注: カスケード階層では、各インプットは一度だけ使用でき、アウトプットは繰り返し 使用できます。



グループを編集する:

グループ設定を変更するには、グループを右クリックし、表示/編集を選択します。次の ダイアログボックスが表示されます。

グループ情報				2
「グループ名一				保存
IO-131				キャンカル
- グループ通知	設定			
☑通報	Buzzer			🔽 🐠
─ ^{Pin} 設定—				
1	ンプット [レ	インブット 1 ベルが定義さ	きれていませ	±ん]
👉 🗹 出ナ	〕連動			
	し -マル	後か トリガー	ア- 初期	(コン変更) 設定アイコン
■	31 ウトブット 1 ウトブット 2 ンブット 1 ンブット 2			

🗷 4-35

[グループ名] 図 4-32 の説明と同様。 [グループ通知設定] 図 4-32 の説明と同様。 [Pin 設定] このオプションを有効にするには、下部のグループリストから I/O デバイスを 選択します。

- 出力連動:カスケードモードでアウトプットをトリガーします。指タブをクリックし、 変更を同じグループのすべての I/O デバイスに適用します。
- アイコン変更: このオプションを有効にするには、表示された次の2つのアイコンから1つを選択します。ノーマルまたはトリガー。アイコン変更ボタンをクリックしてアイコンを変更します。指ボタンをクリックし、変更を同じグループのすべての I/O デバイスに適用します。

I/O デバイスを編集する:

グループを編集するだけでなく、個々の I/O デバイスの設定を編集することもできます。 I/O デバイスを右クリックし、設定を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。

PIN 設定	ミーインプット		×		
一表示影	定				
6 9		Ent. 1	-		
	○ 文字色	● 背景色			
	アラーム レベル	レベルが定義されていません	հ 💌		
こわガー	-設定				
☑出7	力連動				
<u></u> = 5%					
על 🗹	ラ検出	カメラ 1	~		
✔インプットに対応したカメラを起動します					
5	デフォルト	ОК * +>>t	211		

🗷 4-36

C GeoUision

[表示設定] 色で I/O デバイスの特性を定義することができます。設定は拡張 I/O 一 覧表示 (図 4-32 ④)詳細スタイルにのみ反映されますのでご注意ください。

アラームレベル:ドロップダウンリストをクリックし、次の6つのデフォルト色から1つ を選択します。火災、発煙、振動、侵入者、動作検出、非常事態。未定義レベルオプションについては、文字色または背景色を選択し、インプット/アウトプット ドロップダウンリストをクリックしてその色を変更します。

[トリガー設定]

- 出力連動:カスケードモードでアウトプットをトリガーします。
- ラッチトリガー: インプットがカスケードモードでトリガーされた際に、ラッチトリガーオ プションでは、アウトプットアラームを鳴らし続ける代わりに一瞬だけアラームを鳴ら すように設定します。詳細については、監視システムソフトウェア DVD のユーザー マニュアルの第6章、ラッチトリガーを参照してください。
- カメラ検出: ライブ表示カメラをインプットと関連付けます。このオプションを有効にした後、インプットアイコンをクリックして表示カメラ検出を選択すると、ライブビデオをいつでも表示することができます。
- インプットに対応したカメラを起動します: 関連付けられたインプットがトリガーされた際に、ライブビデオポップアップを表示します。本章で後述のインプットトリガーの後にライブビデオをポップアップさせるを参照してください。

I/O操作パネルを設定する

パネルツールバーで、設定ボタン(図 4-32 ①)をクリックし、パネル設定を選択します。 次のダイアログボックスが表示されます。

パネル構成	×
全般 通報 スタートアップ ▽ クイックリンク表示 ▽ スケジュール監視開始	
 配置 ▼ホスト名表示 マユーザー定義文章使用 Let 1 Let 1 	
OK **24	

🗷 4-37

[スタートアップ]

- **クイックリンク表示**: パネル起動時にクイックリンクウィンドウを開きます。
- スケジュール監視開始: パネル起動時にモードスケジュールを開始します。詳細については、以下のモードスケジュールをセットアップするを参照してください。

[配置]

- ホスト名表示: 拡張 I/O 一覧で各 I/O デバイスのホスト名を表示します。
- ユーザー定義文章使用: アラームレベルのテキストを変更できるようにします (図 4-36 を参照)。



接続ログを表示する

ホストの接続ステータスを表示できます。パネルツールバーで、設定ボタン(図 4-32 ①) をクリックして、View Notification (通知を表示)を選択します。次のダイアログボックス が表示されます。最大で、1000 件のメッセージが参照用にログ記録されています。

I/O 操作パネル - 通報 (最大. 1000)			
時間	メッセージ		
2020/01/05 17:11:23 2020/01/05 17:11:28	ホスト <ホスト 2> 切断。 ホスト <ホスト 2> への再接続成功。		

🗷 4-38

- 時間: 接続/切断の時刻を表示します。
- メッセージ:ホストの接続/切断ステータスを表示します。

モードスケジュールを作成する

モードスケジュールにより、異なる時間に異なる I/O カスケード設定をモニターできます。 例えば、営業時間中は A という方法で I/O カスケードをトリガーし、営業時間外は B と いう方法でトリガーしたい場合などに利用できます。モードはスケジュールされた時間に 自動的に切り替えられます。

モードを作成する:

 モードドロップダウンリスト(図 4-32 ⑦)をクリックし、モード編集を選択します。次 のダイアログボックスが表示されます。

拡張I/Oモジュール	
拡張 I/O 設定	保存
新規モード1 新規モード2	キャンセル
	追加
	削除
	名称変更
	2 / 100

🗷 4-39

- 2. 追加をクリックし、作成されたモードに名前を付けます。最大 100 のモードを作成 できます。
- 3. 保存をクリックしてパネルに戻ります。
- モードドロップダウンリストから作成されたモードを選択し、拡張 I/O 一覧にグルー プを作成します。詳細については、本章で前述したカスケードトリガーに対してグ ループを作成する を参照してください。

GeoUision

モードスケジュールを作成する:

パネルのモードを切り替える時刻と日付を定義します。

1. パネルツールバーで、設定ボタン(図4-32 ①)をクリックし、スケジュール設定を選 択します。次のダイアログボックスが表示されます。

スケジュール設定					X
追加	編集	削除	保存	キャンセル	
名称	モード	時間		日数	
システム初期設定モ	ード: デフォル	Þ		~	

🗷 4-40

2. 追加をクリックしてスケジュールを作成します。次のダイアログボックスが表示されます。



🗷 4-41

- 名称:スケジュールの名前を入力します。
- モード:ドロップダウンリストからモードを選択します。
- 時間:モードを実行する時間を定義します。
- **日数**:モードを実行する日付ボックスをチェックします。
- 3. [OK] をクリックして設定を適用し、保存をクリックしてパネルに戻ります。
- モードスケジュールを開始するには、スケジュールモードボタン(図 4-32 ②)をクリックし、スケジュールモード開始を選択します。

クイックリンク

クイックリンクでは、トリガーされた I/O デバイスに素早くアクセスすることができます。これ は、グループアイコンをすべて表示するウィンドウです。組み込まれた I/O デバイスのどれ かがトリガーされると、グループアイコンが点滅します。点滅しているアイコンをクリックする と、拡張 I/O 一覧の I/O 場所が表示されます。

- クイックリンクウィンドウを開くには、トグル クイックリンクボタン(図 4-32 ③)をクリックします。
- パネル起動時にクイックリンクウィンドウを開くには、図 4-37 のクイックリンク表示オプションをチェックします。



🗷 4-42

GeoUision

アウトプットを制御する

アウトプットを手動で制御するには、1 つのアウトプットをクリックし、出力を選択します。 > I/O 一覧で、アウトプットを個別に制御することができます。

I/O 一覧(拡張)で、カスケードトリガーを実行しているとき、最上位レベルでアウト プットを手動で制御できます(例、図 4-43)。下位レベルのアウトプットは手動で 制御することはできません(例、図 4-44)。

ただし、アウトプットがカスケード階層にない場合は、手動で制御することができます(例、図 4-45)。



🗷 4-43

🗷 4-44

図 4-45

背景画像を編集する

背景画像機能では、見取図をインポートしてトリガーされた I/O デバイスの場所をレイア ウトすることができます。この機能は、拡張 I/O 一覧表示の**アイコン**スタイルで作動しま す。

- 1. アイコンスタイルに切り替えるには、**拡張 I/O 一覧表示**ボタン(図 4-32 ④)をクリッ クし、**アイコン**を選択します。
- I/O 一覧(拡張)でグループを選択します。このグループの I/O アイコンが表示されます。
- 3. 右の画面を右クリックし、背景画像を選択して画像ファイルをインポートします。
- 右の画面を右クリックし、自動整列のチェックを外します。これで、I/O アイコンをインポートされたマップの目的の場所に自由にドラッグできるようになります。
- 5. 画像を別のグループに追加するには、ステップ2から4を繰り返します。

注: I/O 一覧(拡張)でI/O 一覧をハイライトすると、別の画像をインポートできます。



🗷 4-46



I/Oデバイスのグループを管理する

I/O一覧(拡張)で設定した I/Oデバイスのグループを使って、グループごとにこれらの I/O デバイスの有効/無効を切り替えることができます。

グループを有効にする

I/O 一覧(拡張)で、目的のグループを右クリックし**監視開始**を選択します。 このグルー プのインプットデバイスがすべて有効になります。インプットがトリガーされると、アウトプット はカスケードモードで有効になります。

グループを無効にする

I/O 一覧(拡張)で、目的のグループを右クリックし**監視停止**を選択します。 このグルー プのインプットデバイスがすべて無効になります。カスケードトリガーは発生しません。

トリガーされたインプットを一時停止する

この機能は、アウトプットのグループをトグルモードに設定します。インプットがアウトプット をカスケードトリガーする場合、このグループを右クリックし、**監視一時停止**を選択します。 グループのインプットはリセットされますが、アウトプットはアラームを出し続けます。



I/Oデバイスを制御する

Control Center のオペレータは監視を中断することなくクライアント DVR の任意の I/O デバイスを手動でアームまたはアーム解除することができます。

注: この機能は、以下のファームウェアバージョンの GP IP デバイスもサポートしています。
 GV コンパクト DVR: ファームウェア V1.43 以降
 GV-IP カメラ: ファームウェア V1.05 以降
 GV ビデオサーバー: ファームウェア V1.45 以降

I/O デバイスをアームまたはアーム解除する

 I/O 一覧で、1 つのホストを右クリックし I/O 作動選択をクリックします。次のダイア ログボックスが表示されます。

1/0作動 → <mark>ホスト1</mark> → ⑦ ⑫ モジュール1 中 ⑦ ② 入力点(4) ⊕ ⑦ ◎ 出力点(4)	×
アウトプットリセット OK キャンセル 適用	

國 4-47

入力点/出力点をチェックしてアームするか、入力点/出力点のチェックを外してデバイスをアーム解除します。次に、適用をクリックして変更を確認します。



インプットトリガーの後にライブビデオをポップアップさせる

インプットデバイスがトリガーされた後に、ライブビデオのポップアップによる警告を受信す ることができます。ライブビデオは、同時に 16 台までアクセス可能です。

1. ツールバーで設定(図 4-32 ①)ボタンをクリックし、パネル設定を選択して通報タ ブをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

パネル構成	×
全般 通報 · 通報	
ライブビュー表示の上限を超えました: 1	
✔インフットに対応したカメラを起動できません。	
	_
UK 4752/	

🗷 4-48

- インプットのトリガーが発動されたときに同時にポップアップさせてもよいカメラの数を、 ライブビュー表示の上限を超えましたで指定します。ただし、ポップアップできるビデ オの最大数は 16 台までです。
- 3. インプットに対応したカメラを起動しますを選択して、この機能を有効にします。

 インプットデバイスにカメラをマッピングするには、I/O 一覧(拡張)内のインプットデバ イスを右クリックして、設定をクリックします。次のダイアログボックスが表示されま す。

PIN 設定	ミーインプット	δ	3	
一表示影	定			
6 9		Ent. 1 🗾 💌		
	○文字色	● 背景色		
	アラーム レベル	レベルが定義されていません 💌		
ートリガー	-設定			
	力連動			
	チトリガー			
לת 🗹	ラ検出	カメラ 1 💌		
▼インフットに対応したカメラを起動します				
5	デフォルト	OK キャンセル)	

🗷 4-49

- 5. **カメラ検出**のチェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから関連付けるカメラ を選択します。そして、インプットに対応したカメラを起動しますを選択します。
- [OK] をクリックします。インプットがトリガーされたときに、関連するカメラのライブビデオがポップアップします。



4.17 リモートE-Map

Control Center は、クライアント DVR を E-Map 上でモニターできるように、E-Map を 作成することができます。

- 1. まず最初に、クライアント DVR のための E-Map を作成します。
 - 編集ツールバーの設定ボタン(図 4-2 ②)をクリックし、E-Map エディタを選択します。または、
 - ウィンドウズスタートメニューの Control Center フォルダ内で E-Map Editor を選択します。

E-Map 作成の詳細については、監視システムソフトウェア DVD の*ユーザーマニュ* アル、第9章、*E-Map ファイルの作成*を参照してください。

 ホストー覧で、Jモート E-Map ボタンをクリックし、DVR に接続します。接続が確 立されると、リモート E-Map が Control Center デスクトップに表示されます。



🗷 4-50

4.18 ライブビデオのカラフルモード

ライブビデオの色合いを改善し、明度や彩度豊かなイメージにすることができます。設定 (図 4-2 ②)をクリックして DirectDraw モードを選択し、カラフルモードを使用にチェッ クを入れた後、[OK]をクリックし、このモードを有効にするために Control Center プロ グラムを再起動します。

このモードはライブ表示またはマトリックス表示のみに適用されます。



4.19 インターフェーススタイルの変更

Control Center はツールバー形式で起動され、オペレーターは様々なウィンドウを開き、 ホストー覧、グループー覧、遠隔監視、遠隔再生、IP マトリックスなどのクライアントを 管理することができます。オペレーターは一つの画面にこれらすべての管理ウィンドウを開 くこともできます。

- 設定ボタンをクリックしてシステム設定を選択します。システム設定(図 4-52)ダイ アログボックスが表示されます。
- ユーザーインターフェースを変更するには、Control Center V2 スタイルドロップダ ウンリストをクリックし、これらのオプションから一つ選択します:
 - **拡張スタイル**: ツールバー形式
 - 標準スタイル: ウィンドウ形式
- 3. OK をクリックし、Control Center を再起動し、新しいスタイルを有効にします。

標準ウィンドウ

管理ウィンドウは自由に動かしたり、サイズ変更できます。



ホストー覧からカメラをこの ライブ表示ウィンドウにドラッ グ&ドロップします。

図 4-51



4.20 システム設定

Control Center サービスの起動モードと画面位置を設定できます。設定ボタン(図 4-2 ②)をクリックし、システム設定を選択して次のダイアログボックスを表示します。

[全般]

🕞 システム設定	X
遠隔監視 遠隔再生 I/O 操作パネル 全般 ネットワーク IPマトリックス V	マトリックス リモート E-Map /MD システム リモートデスクトップ
スタートアップ Windows起動時に自動実行 起動時に最小化 I/O 操作パネル マトリックス UL コート 5-Mon	! 設定
■ ソビード E map ■ VMD システム レイアウト ■ グループリストにホスト名を表示	<u>u</u>)
 □ グルーブー覧を並べ替えてください □ 現在の位置・サイズを保存 □ 常に手前に表示 ○ かに手前に表示 	Q
Control Center V2 スタイル 孤張入タイル	

🗷 4-52

[スタートアップ]

- Windows 起動時に自動実行: Windows 起動時に、Control Center を自 動起動します。
- **起動時に最小化**: Control Center が起動したとき、自動的に Control Center を最小化してタスクバーに表示します。
- I/O 操作パネル: Windows 起動時に、I/O 操作パネルを自動実行します。

- マトリックス: 起動時に自動的にマトリックス表示を実行し、6 つまでの選択されたカメラグループを表示します。設定ボタンをクリックし、表示させるグループを選択します。
- **リモート E-Map**: Windows 起動時に、リモート E-Map を自動実行します。
- VMD システム: Windows 起動時に、VMD 機能を自動実行します。

[レイアウト]

- グループリストにホスト名を表示: グループリストにカメラのホスト名を表示します。
- グループ一覧を並べ替えてください: グループ一覧をグループ名のアルファベット 順に自動的に並べ替えます。この機能を有効にしている場合、グループを移動 するために使用される矢印ボタンは利用できなくなります。
- 現在の位置・サイズを保存: Control Center ツールバーの位置、およびホスト 一覧とグループー覧のサイズを保存します。位置とサイズは、Control Center が起動するときに復元されます。
- 常に手前に表示: Control Center ツールバーを常に他のウィンドウより手前に 表示させます。
- Control Center V2 スタイル: 4.19 インターフェーススタイルの変更 をご参照 ください。



ネットワーク設定

5200 デフォルト
192.168.2.11
5202 デフォルト
Realtek RTL8168C(P)/8111C(P) Family PCI-E Gigabi 🚽

🗷 4-53

このダイアログボックスは DVR とビデオサーバーのポート番号を表示します。(ビデオサー バーポートは IP カメラとコンパクト DVR 通信にも使われます)**ホスト検索**機能を有効に するには(図 4-2 ①)、クライアント DVR の TCP ポート 5201、ビデオサーバーとコンパ クト DVR の TCP ポート 5202、Control Center の UDP ポート 5200 を開く必要が あります。



リモートDVR(遠隔監視)設定

e 3	システム	設定							X
1 1	全般 遠隔監視	اري ر	-ワーク 초隔再生	IP국ト 1/C	/ックス ・ 操作パオ	VMD	システム マトリックス	リモートラ	デスクトップ ト E-Map
	パネル解(1024 x 7	象度 768							
-1	位置								
	X = 📃	0 報便度	: († 1290	Y =	0 ਨਾਰ]		—
			-	X 1024	. 30	~~			<u> </u>
	VE-r/J V1 V2	>⊃1≆n ▼5 ▼6	F ▼9 ▼10	✓ 13✓ 14	्र	<u>//</u> ぺて選	択		
	√ 3 √ 4	✔ 7 ✔ 8	✓ 11	✓ 15 ✓ 16	;	選択解釋	余 】		
							OK	-	
							UK		

🗷 4-54

[パネル解像度] リモート DVR パネルの解像度を設定します。

[位置]

画面解像度がワイド画面用の高い解像度に設定されている場合、リモート DVR (遠隔監視)ウィンドウの位置を調整します。 位置設定は負の値をサポートし、Windows 画面のプロパティの XY 値に対応しています。図 4-58 をご参照下さい。

[リモートカメラ操作] Control Center で管理するリモート DVR のカメラを設定します。



リモートViewLog (遠隔再生)設定

H	シスラ	テム設定	Ē						
	全般 遠隔翻	「おけん」	マットワーク 遠隔再生	IPマ I/	リックス O 操作パジ	VMI ネル) システム マトリックス	リモート	デスクトップ -ト E-Map
	パネル 1024	解像度 × 768	t		•				
	位置								
	X =		0	Y =	()			
	注: 値	画面解像	陳度 は 1280	× 1024	です。				U,
						(ОК		キャンセル

🗷 4-55

[パネル解像度] リモート ViewLog パネルの解像度を設定します。

[位置]

画面解像度がワイド画面用の高い解像度に設定されている場合、リモート ViewLog (遠隔監視)ウィンドウの位置を調整します。位置設定は負の値をサポートし、 Windows 画面のプロパティの XY 値に対応しています。図 4-58 をご参照下さい。



I/O操作パネル設定

🗐 システム設定			—
全般 ネットワーク 遠隔監視 遠隔再生	IPマトリックス VM I/O 操作パネル	D システム マトリックス	リモートデスクトップ リモート E-Map
-終了オブション ■システム終了時にシャッ	F\$75		
位置			
X = 0	Y = 0		
注: 画面解像度 は 1280	× 1024 です。		U,
		ОК	キャンセル

团 4-56

[終了オプション] Control Center を終了するとき、I/O 操作パネルを自動的に閉じます。

[位置]

画面解像度がワイド画面用の高い解像度に設定されている場合、I/O 操作パネルの 位置を画面に合わせます。位置設定は負の値をサポートし、Windows 画面のプロパ ティの XY 値に対応しています。図 4-58 をご参照下さい。



マトリックス設定

位置						
#	Х	Y	表示解像	度 🐵		-
1	0	0	1024 × 7	68 64		
2	0	0	1024 × 7	68 64		=
3	0	0	1024 × 7	68 64		
4	0	0	1024 × 7	68 64		
5	0	0	1024 × 7	68 64		
6	0	0	1024 × 7	68 64		
7	0	0	1024 × 7	68 64		
注: 画	面解像度	(‡ 1280 ×	: 1024 です。			U.

团 4-57

[位置] 1 つのモニターまたは 6 つのモニターで最大 6 つのマトリックスウィンドウを同時に 開くことができます。

- X/Y:最大で8個のマトリックスウィンドウの位置を画面上に配置します。X列 とY列に画面の値を入力します。位置設定は負の値をサポートし、Windows 画面のプロパティの XY値に対応しています。
- 表示解像度:マトリックス表示で使用する解像度を設定します。
- □: マトリックスウィンドウが表示できる最大チャンネル数を示します。

4 コントロールセンター

とント: XとYの値を設定する際、Windowsの「画面のプロパティ」を参照し、設定したモニターアイコンの位置を確認することができます。図 4-55 を参照してください。

Display Properties 🛛 🔞							
Themes Desktop Screen Saver Appearance Settings							
Drag the monitor icons to match the physical arrangement of your monitors.							
2 3 4							
Display:							
1. Plug and Play Monitor on NVIDIA GeForce 6600 GT							
Screen resolution Color quality							
Less More Highest (32 bit)							
1024 by 768 pixels							
✓ Use this device as the primary monitor. ✓ Extend my Windows desktop onto this monitor. ✓ Identify Troubleshoot Advanced							
OK Cancel Apply							

🗷 4-58



リモートデスクトップ設定

词 システム設	定					×
遠隔監視 全般	│ 遠隔再生 ネットワーク │	I/O 操作パネ IPマトリックス	UL 국년 VMD シス	・リックス 、テム	リモート E・ リモートデスク	-Map トップ
接続速度一						
LAN (10 M	lbps or 以上)				_	
				OK	1	
				UK	キャン	211

团 4-59

[接続速度]

ご利用のインターネット接続スピードを選択します。モデム (56Kbps)、プロードバンド (128Kbps~1.5Mbps)または、LAN(10Mbps以上)。



IPマトリックス設定

図 システム設定 Image: Control of the second
遠隔再生 」び 操作パネル マトリックス リモート E-Map 全般 ネットワーク IPマトリックス VMD システム リモートデスクトップ スタートアップ 2 2 2 2 2
コントロールセンターV2起動時に、IPマトリックスサーバも自動起動
「#10×ハート・ 2020」 ファオルト ビ レイアウト
▼現在の位置・サイズを保存
OK ++>>U/
OK キャンセル

🗷 4-60

[スタートアップ] Control Center 起動時に、IP マトリックスサービスを実行します。 開放ポート設定は、IP マトリックスクライアントダイアログボックスのポート設定に対応し ています。図 4-22 をご参照ください。

[レイアウト] IP マトリックスウィンドウの位置とサイズを保存します。再度ウィンドウを開いた時、保存した位置とサイズで表示されます。すべてのカメラ表示の更新頻度に関し、 **画面更新レート**を設定することも可能です。



VMD システム設定

・ ・
遠隔監視 遠隔再生 I/O 操作パネル マトリックス リモート E-Map 全般 ネットワーク IPマトリックス VMD システム リモートデスクトップ
△位置
E_29-1 ▼
オプション
□ ユーザー定義位置ヘカメラボッブアップ。
[注] VMD システム設定への変更点は、システムの再起動後有効になります。
OK キャンセル

团 4-61

[位置] VMD ウィンドウを表示するモニターを一つ設定します。

[オプション] ユーザー定義位置ヘカメラポップアップ</mark>オプションが有効の場合、VMD ウィ ンドウのポップアップカメラ位置は VMD グループのカメラ順序に基づいています。例えば、 カメラ 1 が VMD グループで 3 番目にリストされている場合、カメラ 1 は VMD ウィンドウ の 3 つ目の四角内にポップアップします。(ポップアップカメラの順番は左から右です。)こ のオプションが無効になっている場合、ポップアップカメラの位置は動作検出の順序に基 づきます。



リモートE-Map

🗒 システム設	定					×
全般 遠隔監視	ネットワーク 遠隔再生	IPマトリックス I/O 操作パン	VMD S れル ・	バステム	リモートデスク リモート E-	トップ ·Map
-位置						
X =		Y = 0)			
注: 画面解:	像度 は 1280 x	1024 です。			. U)
				OK		ยม 🛛

团 4-62

[位置] 画面の解像度が、ワイド画面のより高い解像度に設定されている場合、リモート DVR ウィンドウを画面上に表示する位置を指定します。位置設定は、負の数の座標をサポートし、Windows の画面のプロパティの XY 座標に対応しています。図 4-58を参照してください。



付録

- A. ドングルについて
- B. 高速バックアップと復元
- C. GV-Joystick を使った PTZ コントロール
- D. GV-Keyboard を使ったマトリックスコントロール
- E. サポートされている IP デバイス
- F. 仕様



A. ドングルについて

GeoVision 中央監視ステーション (CMS) では、4 つのモジュール、Center V2 (Pro)、 Dispatch Server、Vital Sign Monitor (VSM)、Control Center を個別に単独でご 利用いただけます。

- 各 CMS モジュールを機能させる際、適切な「黒い」色をした USB ドングルが必要になります。
- 複数の黒ドングルを、同じコンピュータでお使いいただくことも可能です。ただし、 Center V2 と Control Center または Dispatch Server を同時に実行させることはできないという点について留意してください。
- 黒ドングルは、使う前にソフトウェア CD を使ってドライバをインストール必要があります。

Center V2 のドングルオプション

- Center V2 Pro
- Center V2 + VSM

GeoVision IP デバイスの Center V2 への接続 Center V2 は、GeoVision IP ビデオデ バイスからのあらゆるビデオストリームを受け入れます。 追加で他のドングルを使用する必要 はありません。 Center V2 は、現時点でサードパーティ製の IP ビデオデバイスをサポートしま せん。ご了承ください。

Dispatch Serverのドングルオプション

- Dispatch Server
- Dispatch Server + VSM

VSMのドングルオプション

- VSM
- VSM + Control Center
- VSM + Center V2
- VSM + Dispatch Server

Control Centerのドングルオプション

- Control Center または IP マトリックス
- Control Center + 映像処理拡張(AVP)
- Control Center + VSM
- Control Center + VSM +映像処理拡張(AVP)

IP デバイスの Control Center への接続 Control Center は、GeoVision および サードパーティ製のビデオデバイスからのビデオストリームを受け入れます。 個別に追加を要する USB ドングルを必要とせず、チャンネル数の制限は御座い ません。



B. 高速バックアップと復元

高速バックアップと復元 (FBR) ソリューションでは、Center V2 や Control Center のインタ ーフェイス スキンを変更できるだけでなく、CMS アプリケーションで行った構成・設定情報を バックアップおよび復元が行えます。

FBR プログラムのインストール

- CMS ソフトウェア CD を挿入して、V8.3.x.0 中央監視システムのインストールをクリ ックし、高速パックアップと復元システム(FBR)を選択して、画面上の指示に従いま す。
- インストールが完了したら、FBR (Fast Backup and Restore Main System) を Windows のスタートメニューから実行します。次のウィンドウが表示されます。次の ウィンドウが表示されます。




スキンを選択する

シルバー(デフォルト)とコンベンショナルの2つのスキンオプションから選べます。スキンの変更は、Center V2 および Control Center.のメイン画面だけに適用されます。 ダイアログボックスに影響はありません。

スキンのスタイルを変更する

- 監視システムのバックアップ&復元ウィンドウ(図3)で、スキン選択アイコンをクリックします。オプションメニューが表示されます。
- すべてのアプリケーションに対して1つのスキンスタイルを使用するには、オリジナルスタイ ルすべて適用またはシルバースタイルすべて適用を選択します。
 1つのアプリケーションのスキンを変更するには、目的のアプリケーションをポイントし、適用するスキンを選択します。
- 監視システムのバックアップ&復元ウィンドウを閉じ、アプリケーションを起動して変更を 確認してください。

設定のバックアップと復元

CMS アプリケーションで行った設定をバックアップし、バックアップデータを現在のシステムに復 元したり、それを別のサイトにインポート(適用)することができます。



設定をバックアップする

 監視システムのバックアップ&復元ウィンドウ(図3)で、Remote AP 設定のバックアップ アイコンをクリックして、目的のアプリケーションをメニューから選択します。ここでは例え ば、VSM サーバーを選択します。次のダイアログボックスが表示されます。



図 4

- 次のステップ ・ ボタンをクリックします。名前を付けて保存のダイアログボックスが表示されます。
- バックアップファイルの保存先ドライブを選択します。バックアップが完了すると、次の ようなメッセージが表示されます。 VSM サーバー設定のバックアップは正しく終了 しました。

システムを復元する

設定ファイルのバックアップを使って、現在のアプリケーション設定を復元できます。また、この バックアップファイルをコピーして、別ユニットのアプリケーションに現在のアプリケーションと同じ 設定を組み込むことができます

 前に保存したバックアップファイル (*.exe)を開きます。このウィンドウを表示するには 有効な ID とパスワードが必要です。

🚜 監視システムのバックアップ	福元 🔳 🛛 🗙
電 最終システムのハックアップ アカウントシステ ムをパックアップ する。	 (国力) (国力)
	_

図 5

- Remote AP を復元アイコンをクリックし、バックアップ設定を復元させたいアプリケーションを選択します。ここでは例えば、VSM サーバーを選択して復元します。
- 3. 次のステップ → ボタンをクリックすると、復元を開始します。
- 4. 復元が完了すると、次のようなメッセージが表示されます。 VSM サーバー設定の復 元は正しく終了しました。



C. GV-Joystick を使った PTZ コントロール

GV-Joystick を使って PTZ を制御するときは、バックグラウンドで次のプログラムを実行する 必要があります。 GV-Joystick の操作の詳細については、GV-Joystick ユーザーマニュアル を参照してください。

Center V2

カメラ/オーディオコントロールで、GV-Joystick を使って PTZ カメラをコントロールできます(図 1-28 参照)。 PTZ カメラをコントロールするための GV-Joystick は、最高 4 つまで接続で きます

Control Center

ライブ表示とマトリックスで、GV-Joystick を最高で8つまで使って PTZ カメラをコントロール できます。

 プログラムフォルダ内にある mcamctrl.exe を実行します。次のダイアログボックスが 表示されます。

🎇 Keyboard & Joystic	k		
🕨 🔳 F 1 F 2 F 3 F 4	F5 F6 F7 F8 🎒		
DVR ID:	1		*
DVR 名前(N):			
起動タイプ(<u>S</u>):	手動		~
PTZ スピード:			- +
ポート 1:	COM1	~	X
ポート 2:	COM2	~	2
ポート 3:	COM3	~	2
ポート 4:	COM4	~	2
Keyboard & Joystick			

図 6

- デバイス(Device)フィールドで、GV-Joystick に接続されている COM ポートを選択 します。
- 3. サービス開始ボタン ▶ (図 6)をクリックすると、GV-Joystick を使って PTZ カメラをコ ントロールできます。
- 4. GV-Joystick を複数接続している場合、ステップ2を繰り返して他の GV-Joystick を設定して使用できるようにします。

D. GV-Keyboard を使ったマトリックスコントロール

複数モニター環境でマトリックス表示のコントロールを支援するため、GV-Keyboard を単独 で、または GV-Joystick と組み合わせて使用することができます。 Control Center がサポ ートできる GV-Keyboard は最大 8 台です。この際、利用できるアプリケーションモードが 2 つあります。 非モノポリーモード(Non-Monopoly Mode)とモノポリーモード(Monopoly Mode)です。 非モノポリーモードでは、1 台の GV-Keyboard が複数のマトリックス表示をコ ントロールできます。また、複数の GV-Keyboard が複数のマトリックス表示をコ ントロールできます。また、複数の GV-Keyboard が複数のマトリックス表示をコ ントロールできます。 モノポリーモードでは、それぞれの GV-Keyboard がコントロールす ることもできます。 モノポリーモードでは、それぞれの GV-Keyboard がコントロールす ることもできます。 モノポリーモードでは、それぞれの GV-Keyboard を使用するときは、バ ックグラウンドで mcamctrl プログラムを実行しておく必要があります。 詳細については、 *GV-Keyboard ユーザーズマニュアル*を参照してください。

非モノポリーモード(Non-Monopoly mode)で GV-Keyboard がマトリックス表示をコント ロールするように構成するには

- Control Center のプログラムフォルダ内にある mcamctrl.exe を実行します。キー ボード&ジョイスティック(Keyboard & Joystick)ダイアログボックス(図 6)が表示されま す。
- 2. **デバイス**(**Device**)フィールドで、GV-Keyboard に接続されている COM ポートを選択します。
- マトリックスを素早く操作するために GV-Keyboard で 8 つのファンクションキーを定義 する場合は、ファンクションキーをクリックします。次のダイアログボックスが表示されま す。

⊂ なし		ОК
○ アウトブットコントロール	E-9101 Pin 1	
○ 表示レイアウト	1 チャンネル 💌	
C PTZ プリセット点へ	カメラ1 💌 test-01	×.
C PTZ 自動旋翅	カメラ1 ア 自動スキャン	Y
○ カメラ灌択	力メラ1 💌	
○ 起動/停止 カメラ切替		
○ マトリックススイッチ	前のマドリックス 💌	
Digital Metrix	Fr2761 .	
C Spot Monitor	スポット 1 💌	
C TV Quad	TV 1	

図 7

C GeoUision

- 4. 該当するファンクションキーに割り当てる機能を選択します。
- 5. 複数のマトリックス表示をセットアップして、これらに対するクイックアクセスを使用すると きは、マトリックススイッチを選択し、前のマトリックス、次のマトリックス、マトリックス1~ マトリックス8をはじめとする必要な機能を選択します
- 6. 別のファンクションキーを設定する場合は更に手順3と4を繰り返します。
- 7. サービス開始ボタン ▶ をクリックします(図 6)。これで、マトリックス表示をコントロー ルするために GV-Keyboard を使用できるようになりました

モノポリーモード(Monopoly mode)で GV キーボードがマトリックス表示をコントロールする ように構成するには

- 1. 上記の最初の2つのステップを繰り返します。
- モノポリーモード(Monopoly Mode)で設定(Setting)ボタンをクリックします。次の ダイアログボックスが表示されます。

GV-Jo	ystick と GV-Keyboardの設う	Ē			×
デバ	イス1 デバイス 2 デバイス:	3 デバイス 4 デバイス 5	デバイス 6 デバ	イス 7 [デバイス 8]	
	✓ 特定のモニターは使用されて 「ターゲット選択」	<u>[\#4.</u>]			
	○ デジタルマトリックス	รีสุวริปศา 💌	C TV Quad	TV 1	v
	◎ スポットモニター	スポット 1 💌	○ マトリックス	マトリックス 1	7
	- בטאם - א ד- א				
	 GV-KB または GV-KB 	およびGV-Joystickで制御			
	C GV-Joystick で制御				
				ОК	キャンセル

图 8

- モニターに対して割り当てしたい GV-Keyboard または GV-Joystick のデバイス (Device)タブを開きます。
- Used for a specific monitor(特定のモニターのために使用する)のチェックボック スをオンにします。ターゲットを選択(Select Target)の欄で、マトリックス(Matrix)を 選択し、固有のマトリックス番号を選択します。

 Control Mode(コントロールモード)フィールドで、状況に合わせて Control with GV-KB or GV-KB connected with GV-Joystick(GV キーボードまたは GV ジョイスティックを接続した GV キーボードでコントロール)、または Control with GV-Joystick(GV ジョイスティックでコントロール)を選択します。

注:

- 複数の GV-Keyboards が接続されている場合、各 GV-Keyboards に対する ドライバがインストールされているかをデバイスマネージャのポートフィールドで確 認します。いずれかのデバイスのドライバが正しくインストールされていない場 合、ソフトウェアDVDの Install or Remove GeoVision GV-Series Driver(GdoVision GV シリーズドライバのインストールまたは削除)を選択し ます。
- 複数の GV-Keyboard は RS-485 ケーブルを使って接続します。これらの RS-485 ケーブルは GV ハブのような RS-485 コンパータに進み、その後 USB ポートを通じて Control Center に接続します。 詳細については、機能ガイド V8.3.2 を参照してください。
- 非モノポリーモード(Non-monopoly mode)の場合、マトリックスの使用中は GV-Keyboard 上の以下の4つのキーは、全く機能しません。



 モノポリーモード(Monopoly mode)では、Control Center のマトリックス表示で 複数操作が発生することを防止するため、GV-Keyboard 上の以下のキーは 無効になっています。

ファンクションキー: F1-F8



GeoUision

E. サポートされている IP デバイス

このリストは、GeoVision IP デバイスとサポートされるサードパーティ製の IP デバイスを4つの カテゴリに分類して詳しく説明しています。

- 音声: "O" 印は CMS がデバイスとの双方向音声通信をサポートすることを意味しています。その他の場合は "×" 印が付されています。
- コーデック: CMS が対応するビデオコーデックを確認できます。
- **PTZ:** PTZ 機能付きの IP デバイスについては "O" 印、その他の場合は "×" 印が付されています。
- メガピクセル:メガピクセル解像度をサポートしている IP デバイスについては "O" 印、その他の場合は "×" 印が付されています。

Center V2

GeoVision

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
GV-IP CAM1.3M ボックス	0	JPEG/MPEG-4	×	0
GV-IP CAM1.3M	0	JPEG/MPEG-4	×	0
VARIFOCAL				
GV-IP CAM1.3M	0	JPEG/MPEG-4	×	0
VANDAL PROOF DOME				
GV-IP CAM1.3M MINI	0	JPEG/MPEG-4	×	0
固定ドーム				
GV-IP CAM H.264	0	H.264/MJPEG/	×	0
1.3M/VGA		MPEG-4		
GV-IP スピードドーム	0	H.264/MJPEG/	0	×
(GV-SD011)		MPEG-4		
GV コンパクト DVR	0	MPEG-4	0*	×
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS02)				
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS02A)				
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS04A)				
GV ビデオサーバー	0	H264 / MJPEG /	0*	×
(GV-VS12)		MPEG-4		
GV-スマートボックス	×	JPEG	×	×

GV-DSP LRP V1	0	JPEG	×	×	
GV-DSP LRP V2	0	JPEG	×	×	
注: *印の付いたモデルの PTZ 機能は、PTZ カメラが追加で接続されている場合にのみ利用できます。					

Control Center

GeoVision

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
GV-IP CAM1.3M ボックス	0	JPEG/MPEG-4	×	0
GV-IP CAM1.3M	0	JPEG/MPEG-4	×	0
VARIFOCAL				
GV-IP CAM1.3M	0	JPEG/MPEG-4	×	0
VANDAL PROOF DOME				
GV-IP CAM1.3M MINI 固	0	JPEG/MPEG-4	×	0
定ドーム				
GV-IP CAM H.264	0	H.264/MJPEG/	×	0
1.3M/VGA		MPEG-4		
GV-IP スピードドーム	0	H.264/MJPEG/	0	×
(GV-SD011)		MPEG-4		
GV コンパクト DVR	0	MPEG-4	0*	×
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS02)				
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS02A)				
GV ビデオサーバー	0	MPEG-4	0*	×
(GV-VS04A)				
GV ビデオサーバー	0	H264 / MJPEG /	0*	×
(GV-VS12)		MPEG-4		
GV-スマートボックス	×	JPEG	×	×
GV-DSP LRP V1	0	JPEG	×	×
GV-DSP LRP V2	0	JPEG	×	×
注: *印の付いたモデルの PTZ 機能は、PTZ カメラが追加で接続されている場合にのみ利用できます。				

GeoUision

ACTi

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
ACD-2200	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-1011	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-1231	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-1511	0	MJPEG/MPEG-4	×	0
ACM-3001	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-3011	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-3311	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-3401	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-3411	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-3511	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-3601	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-3701	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-4000	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-4200	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-4201	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-5001	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-5601	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-5611	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-5711	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-7411	0	JPEG/MPEG-4	×	0
ACM-1431N	0	JPEG/MPEG-4	×	×
ACM-8511N	0	JPEG/MPEG-4	0	×
CAM-6510N	0	MPEG-4	0	×
CAM-6610	0	MPEG-4	0	×
TCM-4301	0	H.264/MJPEG/MPEG-4	×	0
TCM-5311	0	H.264/MJPEG/MPEG-4	×	0

Arecont Vision

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
AV1300	×	JPEG	×	0
AV1305	×	H.264/JPEG	×	0
AV1355	×	H.264/JPEG	×	0
AV2100	×	JPEG	×	0
AV2105	×	H.264/JPEG	×	0
AV2155	×	H.264/JPEG	×	0
AV3100	×	JPEG	×	0
AV3105	×	H.264/JPEG	×	0
AV3130	×	JPEG	×	0
AV3135	×	H.264/JPEG	×	0
AV5100	×	JPEG	×	0
AV5105	×	H.264/JPEG	×	0
Av8180	×	JPEG	×	0
Av8185	×	H.264/JPEG	×	0
AV8360	×	JPEG	×	0
Av8365	×	H.264/JPEG	×	0

Axis

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
206	×	JPEG	×	×
207	0*	JPEG/MPEG-4	×	×
207MW	0*	JPEG/MPEG-4	×	0
207W	0*	JPEG/MPEG-4	×	×
209FD	×	JPEG/MPEG-4	×	×
209FD-R	×	JPEG/MPEG-4	×	×
209MFD	×	JPEG/MPEG-4	×	0
209MFD-R	×	JPEG/MPEG-4	×	0
210	×	JPEG/MPEG-4	×	×
210A	0	JPEG/MPEG-4	×	×
211	×	JPEG/MPEG-4	×	×
211A	0*	JPEG/MPEG-4	×	×
211M	0	JPEG/MPEG-4	×	0
211W	0	JPEG/MPEG-4	×	×
212	0*	JPEG/MPEG-4	0	×
213	0*	JPEG/MPEG-4	0	×
214	0*	JPEG/MPEG-4	0	×

0	GeoU	ision	
---	------	-------	--

215	0	JPEG/MPEG-4	0	×	
216FD	0*	JPEG/MPEG-4	×	×	
216FD-V	0*	JPEG/MPEG-4	×	×	
216MFD	0	JPEG/MPEG-4	×	0	
216MFD-V	0	JPEG/MPEG-4	×	0	
221	×	JPEG/MPEG-4	×	×	
223M	0*	JPEG/MPEG-4	×	0	
225FD	×	JPEG/MPEG-4	×	×	
231D	×	JPEG/MPEG-4	0	×	
232D	×	JPEG/MPEG-4	0	×	
233D	0*	JPEG/MPEG-4	0	×	
241Q	×	JPEG/MPEG-4	×	×	
241S	×	JPEG/MPEG-4	×	×	
243Q	×	MJPEG/MPEG-4	×	×	
M1031 W/	0	H.264/MJPEG/	×	×	
1011031-00		MPEG-4			
P3301	0	H.264/JPEG	×	×	
Q7401	0	H.264/JPEG	×	×	
Note: * 印のあるモデルの音声機能は、GV-System V8.3.以降でのみサポートされています。					

Bosch

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
VIP X1	×	MPEG-4	×	×
VIP X2	×	MPEG-4	×	×

Canon

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
VB-C50i	×	JPEG	0	×
VB-C300	×	JPEG	0	×

IQinVision

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
301	×	JPEG	×	0
302	×	JPEG	×	0
510	×	JPEG	×	×
511	×	JPEG	×	0
701	×	JPEG	×	0
702	×	JPEG	×	0

703	×	JPEG	×	0
705	×	JPEG	×	0
752	×	JPEG	×	0
753	×	JPEG	×	0
755	×	JPEG	×	0
IQ041SI/IQD41SI	×	JPEG	×	0
IQ042SI/IQD42SI	×	JPEG	×	0
IQ040SI/IQD40SI	×	JPEG	×	×
IQ540SI	×	JPEG	×	×
IQ541SI	×	JPEG	×	0
IQ542SI	×	JPEG	×	0
IQ711/IQ751	×	JPEG	×	0
IQ802/IQ852	×	JPEG	×	0
IQ803/IQ853	×	JPEG	×	0
IQ805/IQ855	×	JPEG	×	0
IQ811/IQ851	×	JPEG	×	0
IQA10S/IQA10N	×	JPEG	×	×
IQA11S/IQA11N	×	JPEG	×	0
IQA12S/IQA12N	×	JPEG	×	0
IQA13S/IQA13N	×	JPEG	×	0
IQA15S/IQA15N	×	JPEG	×	0

JVC

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
VN-C20U	×	JPEG	×	×
VN-C205U	×	JPEG	×	×
VN-C215U	×	JPEG	×	×
VN-C625U	×	JPEG	0	×
VN-C655U	×	JPEG	0	×
VN-V25U	×	JPEG/MPEG-4	×	×
VN-V26	×	JPEG/MPEG-4	×	×
VN-V686U	×	JPEG/MPEG-4	0	×

C GeoUision

Mobotix

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
M12D IT-DNight	0*	JPEG/MxPEG	×	×
M12D Sec	0*	JPEG/MxPEG	×	0
M12D Sec-DNight	0*	JPEG/MxPEG	×	0
M12D Sec-R8	0*	JPEG/MxPEG	×	0
M12D Web	×	JPEG/MxPEG	×	0
 注: 1. MxPEG コーデックは、GV-System V8.3.2.0 以降でのみサポートしています。 2. * 印のあるモデルの音声機能は、GV-System V8.3.2.0 以降でのみサポートされています。 				

Panasonic

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
BB-HCE481A	×	JPEG/MPEG-4	0	×
BB-HCM110	×	JPEG/MPEG-4	0*	×
BB-HCM311	×	JPEG/MPEG-4	0*	×
BB-HCM331	×	JPEG/MPEG-4	0*	×
BB-HCM371	×	JPEG/MPEG-4	0*	×
BB-HCM381	×	JPEG/MPEG-4	0	×
BB-HCM403	×	JPEG/MPEG-4	0*	×
BL-C10	×	JPEG	0*	×
BL-C30	×	JPEG	0*	×
WV-NS202A	0	JPEG/MPEG-4	0	×
WV-NW484	×	JPEG/MPEG-4	×	×
WV-NW964	0	JPEG/MPEG-4	0	×
WV-NF302	0	JPEG/MPEG-4	×	×
WV-NP304	0	JPEG/MPEG-4	×	×
WV-NP1004	×	JPEG/MPEG-4	×	×
WV-NW964	0	JPEG/MPEG-4	0	×
注:*印のあるモデルは、ズーム機能をサポートしません。				

Pelco

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
IP110 Series	×	JPEG/MPEG-4	×	×
IP3701Series	×	JPEG/MPEG-4	×	×

Spectra IV IP シリーズ	×	JPEG/MPEG-4	0	×
IXE20DN	×	H.264/JPEG	×	0

SONY

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
SNC-CM120	0	JPEG/MPEG-4	×	0
SNC-CS10	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-CS11	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-CS20	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-CS50N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-CS50P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF40N	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF40P	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF50N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF50P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF70N	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF70P	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF80N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF85N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DF80P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DM110	0	JPEG/MPEG-4	×	0
SNC-DM160	0	JPEG/MPEG-4	×	0
SNC-DS10	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-DS60	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-P1	0	JPEG/MPEG-4	×	×
SNC-P5	0	JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX530N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX530P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX550N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX550P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX570N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RX570P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RZ25N	0	JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RZ25P	0	JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RZ50N	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×
SNC-RZ50P	0	H.264/JPEG/MPEG-4	0	×

GeoUision

Verint

モデル	音声	コーデック	PTZ	メガピクセル
Nextiva S1950e	×	MPEG-4	0*	×
注: *印のあるモデルの P	TZ 機能は、	Pelco D プロトコルおよび Pelc	o P プロトコル	レのみをサポート
します。 GV-System に PTZ 機能に対応する IP カメラを追加するときは、デバイスリスト(Device				
List)から該当するプロトコルを持つモデルを選択するようにしてください。				

F. 仕様

製品仕様は予告無しに変更される場合があります。

Center V2

機能	۶ŧ
最大加入者数(標準)	5
最大加入者数(プロフェッショナル)	500
最大チャンネル数(標準)	80
最大チャンネル数(プロフェッショナル)	800
GV-Joystick のコントロール	対応
CD/DVD へのバックアップ	対応
イベントのアラームレポート	対応
SMS 警告の通知	対応
E-mail 警告の通知	対応
E-Map 警告の通知	対応
自動接続回復	対応
メガピクセル解像度のサポート	対応
リアルタイムモニタリング	対応
リモート PTZ コントロール	対応
リモート I/O コントロール	对応

C GeoUision

Dispatch Server

機能	۶t
最大チャンネル数	40,000
最大加入者数	25,000
最大 Center V2 数	50
最大センサーアラーム数	3,600,000
リアルタイムオーディオモニタリング	対応
リモート PTZ コントロール	対応
リモート I/O コントロール	なし
自動録画	なし
イベントリストビューアー	対応
イベントリストフィルター	対応
デュアルモニターサポート	なし
ネットワークロードサポート	対応
自動接続回復	対応

VSMとCenter V2 Proの比較

機能	VSM	Center V2 Pro
加入者数	1,000	500
グループ	対応	対応
帯域幅	4Mbps	25Mbps
録画モード	なし	ライブ/添付ファイル/両方
ライブ加入者ステータス	対応	なし
自動ログイン	対応	対応
I/O コントロール	対応	対応
SMS メッセージ	対応	対応
時間同期	対応	対応
保存日数通知	対応	なし
イベントメッセージ	対応	対応
通知設定	対応	対応
イベントログ	対応	対応
接続喪失検知	対応	対応
I/O デバイスサポート	対応	対応
加入者ストレージ情報	対応	なし



Control Center

機能	制限	۶ŧ
DVR ホスト	1000 ホスト	
ビデオサーバーホスト		ビデオサーバー、IP カメラ、コン
IP カメラホスト	- 500 ホスト	パクト DVR ホストの全体数が
コンパクト DVR ホスト	-	500°
リモート DVR	制限なし	
リモートデスクトップ	制限なし	
リモート ViewLog	5	
I/O モジュール	 DVR: 1000 ホスト GV ビデオサーバー + GV-IP カメラ + GV コンパクト DVR: 500 チャンネル 	 1 台のホストが最大で9 セットの16 入力 16 出力 I/O モジュールをサポート。 GV IP 製品のみ
リモート E-Map ホスト	500 ホスト	
リモート E-Map マップ	制限なし	
ライブ表示 (詳細タイプ UI)	1	1 つのアプリケーションで一度に つき 1 つ。
ライブ表示チャンネル (標準タイプ UI)	20 チャンネル	
マトリックス	8 マトリックス表示	
マトリックスグループ	制限なし	
マトリックスチャンネル	576 チャンネル	1920 x 1200、1920 x 1080 解像度向け
IP マトリックス	36 モニター	
	4224 チャンネル(Control	
IP マトリックスチャンネル	Center 本体の 768 個のマト	
	リックスチャンネルを含む)	
VMD グループ	1	

VMD グループチャンネル	 DVR: 1000 チャンネル GV ビデオサーバー + GV コンパクト DVR + GV-IP カメラ: 200 チャ ンネル 	GV IP 製品のみ
パノラマ表示	4 表示	
パノラマチャンネル	32 チャンネル	
- マトリックス -	1024 x 768: 64 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 512 チャンネル
	1280 x 1024: 64 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 512 チャンネル
	1680 x 1050: 80 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 640 チャンネル
	1600 x 1200: 64 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 512 チャンネル
	1920 x 1200: 96 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 768 チャンネル
	1920 x 1080: 96 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 768 チャンネル
	1280 x 800: 48 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 384 チャンネル
	1440 x 900: 48 チャン ネル	全体: 8 マトリックスで 384 チャンネル